

官報

號外

昭和十六年二月二十八日

第七十六回帝國議會貴族院議事速記第二十二號

昭和十六年二月二十七日(木曜日)午前十時三十分開議

議事日程 第二十號

昭和十六年二月二十七日

午前十時開議

- 第一 國防保安法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 蠶絲業統制法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 木材統制法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ

(高山書記官朗讀)

昨二十六日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

關東局、臺灣總督府、樺太廳及南洋廳ノ各特別會計ニ於ケル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ノ取扱ニ關スル經費等ニ關スル法律案

木炭需給調節特別會計法中改正法律案
昭和十二年法律第九十號中改正法律案

國民貯蓄組合法案

國民更生金庫法案

日本勸業銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

農工銀行法中改正法律案

委員等ノ整理等ニ關スル法律案

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル

官報號外

昭和十六年二月二十八日

貴族院議事速記第二十二號

議長ノ報告

國防保安法案 第一讀會 續

南極地域ノ日本帝國領土權確保宣言ノ請願外三十件ノ請願ハ各、意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ
同日大正十二年法律第五十二號中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵西郷吉之助君
副委員長 子爵秋月 種英君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
國防保安法案可決報告書

蠶絲業統制法案可決報告書
木材統制法案可決報告書

請願文書表(第六回報告)

同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
國防保安法案ニ對スル修正案

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、國防保安法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長林伯爵

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)
國防保安法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十六年二月二十六日

委員長 伯爵林 博太郎

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(伯爵林博太郎君演壇ニ登ル)

○伯爵林博太郎君 只今議題ニ上リマシタル國防保安法案ノ特別委員會ノ經過ニ付キマ

シテ御報告ヲ致シマス、此ノ法案ハ、時局ノ上ニ最モ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル上カラ、其ノ必要上カラシテ、去ル二月十三日ヨリ昨午午後ニ至ル迄、極メテ慎重ニシテ極メテ詳細ナル質問應答ヲ致シマシテ、昨日午後更ニ討論ニ入りマシテ漸ク採決ヲ致シタ次第デアリマス、其ノ大要ヲ御報告ヲ申上ゲマス、モウ詳シイ政府ノ説明ナドハ省略ヲ致シマス、今日ノ戰時下國防體制ノ完璧ヲ期スルガ爲メ、國家機密ノ漏洩、其ノ他國防上ノ利益ヲ害スル惡質行爲ニ對シマシテ、嚴重ナル罰則ヲ設ケ、諜報、謀略ニ關係アル犯罪ニ特別ノ刑事手續ヲ定メタモノデアリマス、第一章ハ、第一條ヨリ第十五條ニ互リマシテ、法文ガ罪トシテ述ベテアリマス、第二章ハ、第十六條カラ第四十條迄、刑事手續トシテ特別ノ手續ガ規定サレテアルノデアリマス、只今極ク全體ヲ總メマシテ簡單ニ要領ヲ申上ゲマス、此ノ罪ノ最モ重イモノハドンナモノデアるか、國家機密ヲ業務ニ因リ、即チ自分ノ所屬シテ居ル業務上ノ者ダケニ限リマシテ、業務ニ因リ知り之ヲ外國ニ漏洩シ、又ハ公ニシタル者、外國ニ漏洩シ、又ハ公ニシタル目的ヲ以テ國家機密ヲ探知シ、又ハ收集シタル者ガ、外國ニ漏洩シ、又ハ公ニシタル者ハ死刑、無期、又ハ三年以上ノ懲役、ナカ(是ハ重イノデアリマス、而シテ刑事手續ノ方ニ入ッテ、第三十三條ニ於キマシテ、第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ズト、斯ウ云フ一本勝負デ以テ處刑サレルノデアリマス、ソコデ問題ハデス、國家機密トハ何ゾヤト云フコト、此ノ法案ヲ御讀ミニナルト文字ハ明白デアリマスガ、國家機密ハ國家機密ナリト云フコトニ過ギナイヤウニ見エマス、本法ニ於テ國家機密トハ國防上外國ニ對シ秘密スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル重要ナル國務ニ係ル事項ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ

及之ヲ表示スル圖書物件ヲ謂フト、斯ウ云フ極メテ抽象的ナモノデアリマス、「重要ナル國務」ト云フコトニ過ギナイ、サウシテ一二三ト並ベマシテ、「一 御前會議、樞密院會議、閣議」云々、「二 帝國議會ノ秘密會議ニ付セラレタル事項」云々、「三 前二號ノ會議ニ付スル爲準備シタル事項其ノ他行政各部ノ重要ナル機密事項」ト、斯ウナッテ居リマス、是ハ今日高度國防ト云フコトヲヤカマシク言フダケ、世界ノ世相ガ變ッテ來タノデ、五ニ秘密戰ヲ以テ、各國ガ他國ノ國家機密ヲ探知收集セムトスル現狀デアリマス、ソレデアリマスカラ、茲ニ諷フ所ノ國家機密ト云フコトハ、非常ニ高度ナ秘密事項デアルト云フコトハ明白カニナッテ居ルノデアリマス、ソレヲ漏セバ國家ノ安危ニ係ル底ノモノデナケレバナラナイ、此ノ問答ハ、第一條ダケデモ三日モ掛ッテ居リマス、ドウモ其ノ範圍ガ、何處カラ何處迄ガ國家機密デア、ト、國民ガ知ラナイト云フコト、又矢ラシテ之ヲ犯ス虞ガアリハシナイカ、ソレハ一應尤モナ質問デアリマス、政府ハ國家機密ト云フモノヲドウ決メヨウトシテモ、大キナ枠シカ嵌メラレナイ、其ノ真相ヲ掴ムヤウナ枠ヲ拵ヘタナラバ、モウソレダケデ國家機密ハ漏レテシマス、モノニ依ッテハ、其ノ名稱ダケヲ公ニシテモ、ソレハ非常ナ大事ニナルコトガアル、從ッテ國家機密ト云フモノハ、是ハ明示スルコトハ出來ナイモノデアル、併シナガラ誰ガ見テモ、後カラ考ヘバ成ル程ソレナラ尤モナ處刑デアルト云フコトハ、無論明カデアリマス、サウ云フモノデアリマスガ、同時ニ茲ニ全體ヲ通ジテ新シイ言葉トシテ、自然祕ト云フコトガアル、自然ノ祕密デアリマス、自然祕ト云フノハ、誰ガ見テモ、自然ニ見テ、作爲シナイ前ニ其ノ祕密其ノモノガ客觀的ニ存在シテ居ル、ソレダカラ、是ハ國家ノ機密デアラルカドウカト云フ

明治三十五年二月二十八日

コトヲ大臣ガ告示スルト云フヤウナ、其ノ千續ヲスル前ニ、既ニ國家ノ極メテ秘密ナルモノガ存在シテ居ルノデアアルカラ、之ヲ自然秘ト言フノデアアル、サウシテ時局ノ變化ト共ニ次々ニ新シキモノモ生ジ得ルノデアアル、其ノ一端ガ世間ニ漏レバ全貌ガ探知サレルノデアアリマスカラ、最早國家機密ノ性能ヲ失ツテシマフ、サウ云フ重大ナモノヲ國家機密ト稱スルノデアアル、マア曰ク言フベカラズト云フヤウナモノデアリマスガ、之ニ付テドウ梓ノ嵌メルカト云フコトニ付テハ、隨分長ク質問應答ガアツタノデアリマスルガ、ソレハ後程ニ又加ヘテ置キマス、ソコデ一二三ハ……御前會議、樞密院會議、閣議ナント云フコトガ「一」ニ書イタルガ、畏多クモ是ハ、陛下ノ御親臨ヲ仰イデ最高ナル閣員ガ御前會議ヲ催ス、又樞密院會議ニモ、陛下ノ御親臨ガアルト云フヤウナ、畏多イ會議デアアル、ソレヲ茲ニ越ヘマシテ、大臣デモ何デモ此ノ國家機密ヲ漏シタ以上ハ危イゾ、ト云フヤウナ感ヲ茲ニ與ヘルト云フコトハ、是ハ如何ナモノデアラウカ、ガカラ斯ウ云フ文字ハ成ルベク遠慮シテ貴ヒタイ、忌マハシイコトデアアル、一モ二モ三モサウ云フ風ナコトニナルノデアアルト云フノニ對シマシテハ、政府ハ、是ハ御前會議、樞密院會議トアルケレドモ、御前會議ノ材料ハ屬僚ガ作ルノデアアル、又御前會議ニハ、或ハ「タイピスト」ノ必要ナコトガアツテ入ルカモ知レナイシ、必ズシモ其ノ秘密ハ大臣デカガ知ツテ居ルノデハナクテ、或範圍ノモノハ前以テ知ツテ居ルヤウナモノガ多イノデアアル、ソレヲ外ニ漏レナイヤウニスルト云フ爲デアツテ、必ズシモ是ガアツカラト云ツテ直ニサウ云フ風ナ面目上ノ問題ヤ忌マハシイト云フコトハ起ルマイ、ト云フヤウナ譯デアリマス、マア要スルニ國家機密ト云フノハ、「國防上外國ニ對シ秘匿スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關

スル重要ナル國務ニ係ル事項」ト云フヤウナ譯デアリマス、今日ハ世界ノ世相ガ一變シテ居ル、少クトモ第一次世界大戰ヲ以テ、戰爭ガ立體的トナルト共ニ、此ノ秘密戰ノ方面モ非常ニ有機的ニナツテ來ルノデアツテ、高度國防ト云フコトニ重點ヲ置キヤウニナツタ武力戰デハ、勝ツ者モ敗ケタ者モ國力ガ大イニ消耗サレル、此ノ故ニ秘密戰ニ依ツテ戰ハズシテ勝タウト云フヤウナコトノ必要モ起ツテ來マシタ爲ニ、各國ガ密カニ相手國ノ國家機密ヲ探知セムトスルコトニナツタ、軍事上ハ固ヨリ、外交、經濟、財政ノ方面ニ互リマシテ、國家安危ノ重大機密ヲ探知スル時代ガ來タノデアリマス、而シテ今日ノ文化ハ有機的綜合的ニ一體ヲ成シテ居ルノデアアル、デスカラ此ノ國家機密ト云フコトニハ、謀報、宣傳、謀略ト云フヤウナ手段ヲ以テ、各國ガ之ヲ探知セムトスル時代ガ來タト云フコトニナリマス、ソコデ今次ノ戰爭ハドウデアアルカ、武力戰モヤツテ居リマスガ、「ヨーロッパ」デハ此ノ秘密戰ガ盛ニ行ハレテ居ル、何レモ國家機密ヲ探知セムトスルノデアアル、ガカラ第一條ト云フモノハ、非常ニ是ガ重大ナモノデアリマス、御承知ノ通り「ヒットラー」ガ非常ニ手ヲ伸バシテ居ル第五列強國網ト云フモノガアリマス、今日ハ高度國防ヲナケレバ強國トハナツテ居レナイノデアリマスカラ、此ノ高度國防ノ某國ノ國家機密ト云フモノヲ探知スルコトガ、戰爭ニ勝ツト云フコトノ第一條件ニナツテ來タノデアリマス、從ツテ之ヲ探知收集シテ、而シテ全貌ヲ……國家機密ヲ見ルト云フコトガ必要デアアル、ソレハ周到ナル訓練モ要ルシ、又専門的ノ科學的知識ヲ以テ之ヲ探知シナケレバ、ナカ……他國ノ國家機密ハ分ラナイ、恰モ堪能ナル家具屋ノ技師ガ、此ノ机ノホンノ一角ノ寫眞ヲ撮ッタケデ以テ、此ノ机ノ全貌ト云フモノガ直チニ第六感ニ依ツテ直覺サレル底ノモノ

デナクテハナラナイ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、「ドイツ」ノ或中心ニハ其ノ方面ノ參謀ガ出來テ、此ノ世世大戰ノ初メニ於テ、英國ガ多數ノ運送船ヲ以テ「ノルウェー」ニ送兵ヲ致シマシタ、ソレト同時「ドイツ」ハ「イギリス」ノ本土ニ第五列強國網ヲ布イタ、而シテ科學的ノ準備ノアル訓練ノアル「スパイ」ヲシテ、一々電報デ、即チ暗合電報デセウ、本國ニ通信ヲシタ爲ニ、英國ノ兵力ノ輸送ト云フコトニ付テの確ナル暗示ヲ得タ爲ニ、「ノルウェー」ト「デンマーク」ノ間ノ場所ト思ヒマスガ、「イギリス」ノ輸送船ガ多數ノ兵隊ヲ乗セテ居ツタノデアリマスガ、「ドイツ」ノ第五列強國網ノ通信ノ結果トシテ、「ドイツ」ノ隊伍ヲ組ンダ大部隊ノ飛行機ガ此ノ輸送船ヲ襲撃致シマシテ、非常ナル打撃ヲ英國ノ輸送船ニ與ヘタコトハ御承知ノ通りデアリマス、サウ云フ風ニ此ノ第五列強國網ト云フヤウナモノノ手先、即チ「スパイ」ハ、英國ノ本土ニ深く潛ツテ居ルト云フコト宜イデアリマセウ、又「ヒットラー」ノ「オーストリヤ」ノ無血占領、是モ謀報戰ノ勝利ノ結果デアアル、「チチコ」ノ解體ヲ行ツタノモ、「ドイツ」ノ謀報網ノ結果トシテ謀略ガ行ハレタノデアリマス、近クハ御承知ノ新聞ニ出テ居ル如ク、「ドイツ」ガ著々トシテ「バルカン」ニ地步ヲ固メテ居ルト云フコトモ、其ノ原因ト致シマシテハ、謀報網ノ本國トノ通謀ノ結果ト見ナケレバナラナイト思ヒマス、「チチコ」ノ周圍ニハ謀略員ト云フモノガ出來テ居リマシテ、非常ニ専門的ノ活動ヲヤツテ居ル、此ノ數年間ニ互ル血ミドロノ宣傳活動ト謀略活動トノ實ガ今同結バレマシテ、劍ラズシテ「ヒットラー」ノ政策ガ遂行サレツ、アルノデアリマス、以上ノ如キ謀報、宣傳、謀略ハ一朝ニシテ直チニ行ヘルモノデハナイ、是ハ平時ヨリ周密ナル計畫ヲ以テ、科學的ニ著々準備實行シナケレバナラナイモノデアリマ

ス、此ノ秘密戰ノ進攻ヲ防止シ、破壊致ス所ノモノガ所謂防諜、謀報ヲ防グ……防諜ト云フ言葉デ現シデアリマス、國防保安法案ハ、此ノ防諜ノ目的ヲ完全ニ達成セムトスルコトヲ期シテ居ルノデアツテ、現下ノ情勢ニ於ケル日本ト致シテハ、極メテ重要ナル國防的措置デアアル、此ノ意味ニ於テ、第一條ノ國家機密ノ、如何ニ重要デアルカト云フコトハ御了解願ヒマス、ソレカラ此ノ第一條ニ關聯シマシテ、全體ノ問題ニ付テ申シマス、ドウモ此ノ法案ハ、第一條モサウデアアルガ、字句ニ於テモ、流布トカ情報トカ、色々今迄ノ法律ニナイ言葉ガ列ベテアル、ソレカラ法文ニ於キマシテモ、全ク特別ナモノデアラダケニ、相當今迄ノ樣式ト違ツテ居ル、不満足、不完全ノ點モ免レナイノデアアル、サウ云フ點ガアルナラバ、他日之ヲ改善スル意思ハアルカドウカ、是ハ決シテ出シ放シニハシナイ、能ク常ニ研究スル、サウシテ改善ノ必要ガ起ルナラバ、ヨリ良キモノニ改善スルト云フコトハ致シマス、ト云フ言明デアリマシタ、今迄ハ間諜ト云フ言葉ヲ使ツタノデアリマス、刑法八十五條ニ爲メニ「ト云フコト」デ定義ガ舉ツテ居ルノデス、處ガ今度ハ敵國、敵性國、外國モ廣イノデアリマスカラシテ、此ノ間諜ト云フ言葉ハ當ラナイ、ソコデドウシテモ新シイ言葉ヲ使フコトガ起ツテ來ルノデアリマス、ソレカラ先程机ノ例デ申上ゲマシタガ、此ノ國家機密ト云フモノハ綜合的一體デアアル、有機體ノ部分々々ノ構成要素ヲ集メテ全體ヲ知ルト云フコトガ、謀報トシテハ必要デアアル、國家機密トハ、公知ノ數字ダケデハ單獨ニハ秘密ニナリ得ナイ、一ツ二ツ三ツ四ツト漸次澤山集メテ行キマシテ、之ヲ綜合性ヲ帶ビルヤウニスル、綜合スレバスル程秘密性ガ深クナル、サウシテソレガ段々結晶シテ行キマシテ、國家機密トナルノデ

アル、最高度ノ國家秘密ガソコニ存在スル、此ノ故ニ國家秘密ナルモノハ、其ノ種類トカ數ニ於テハ極メテ少イモノデアリマス、ソレカラ又此ノ一條カラ七條ニ互リマスル間ニ於キマシテ考ヘテ見ルト、是ハ相當苛酷ナ法案デアツテ、國民ヲ戰慄セシムルヤウニ思ハレルガ、其ノ點ハドウダ、之ニ對シマシテハ、主ナル目的ハ對外國ノ關係ニアツテ、此ノ法律ニ觸レル者ハ第一條、三條、四條、五條ガ最モ重ク、是ハ主トシテ業務ニ因ツテ知得シタル者、國家秘密ヲ職務上知ラナケレバナラヌ者ガ漏スノニ限ツテ居ル、ダカラ之ニ觸レル者ハ極メテ小部分ノ者ニ過ギナイノデアリマスカラ、一般國民ガ恐怖スルトカ不安ノ念ヲ起スト云フ必要ハナイモノデアルト云フコトデアリマス、ソレカラ質問ハ細カクナリマシテ、ドウモ餘リ國家秘密ノ定義ノ範圍ガ廣過ぎテハ、ドウ云フ風ニ政府ガ説明サレテモ不安ノ念ハ去ラナイカラ、大キナ枠デモ宜イカラ一ツ枠ヲ嵌メタラドウダ、例ヲ舉ゲレバ、軍機保護法ニ於キマシテモ是レ、是レト列舉事項ト云フモノガアル、秘密デハアルガ勅令定マツタ部分モアル、軍用資源秘密保護法ト斯ウ云フ重大ナモノデモ、其ノ脇ニ勅令ガ附イテ居ツテ、第二條ノ但書ト云フヤウナモノモアル、公示ヲ適當ト思ハナイ時ハ、陸軍大臣、海軍大臣ガ指定シタル云々ト云フヤウナコトモ書イテアル位デアル、成程今政府ガ説明スル如キ國家秘密ト云フヤウナモノデアレバ、是ハ容易ニ其ノ範圍ハ明カニスルコトモ出來ナイシ、明カニシテハイケナイモノモアルカモ知レナイ、ケレドモ全然告示スルコトガ不可能ト云フコトハ言ヘナイ、主務大臣ノ認定トカ或ハ勅令施行ヲ出スト云フコトデアルカラ、其ノ施行勅令ノ中ニ若干範圍ニ觸レテハドウデアラウカ、處方政府ハ、チヨット書イテモ秘密ト云フモノガ直ダ暴露スルヤウ

ナ性質ノモノモアルシ、又是ハ非常ニ少イ最高度ノ國家秘密ナンダカラ、ナカ／＼枠ノ入レ方ハムツカシクテ出來ナイ、國家秘密ノ勅令ヲ以テ中身ヲ示スコトハ出來ナイト、斯ウ明言シタルデアリマス、併シナガラ昨日ニナリマシテ、ソレト決シテ矛盾スルノデアリマセスガ、省ノ告示ヲ以テ差支ナキ限リ公ニスルコトハ差支ナイ、此ノ告示ハ官報ニモ出ルコトデアアル、此ノ範圍ノコトハ出來ルト云フコトヲ申シタルデアリマス、勿論先程モ御前會議云々ノ時ニ申上ゲマシタ通り、主務大臣ガ認定シテ、之ヲ適當ノ部面ニ知ラセル、ドウシタツテ國家秘密ヲ知ラセナケレバ運行ノ出來ナイヤウナ所ニハ、是ハドウシタツテ言ハナケレバナナ、サウ云フ場合ニハ周到ノ規定ヲ作ツテ取扱者ダケニハ周知サセル方法ヲ執ルガ、一般ニ知ラセルト云フコトハ、マア國家秘密ノ性質上、是ハ出來ナイコトデアルト思ツテ下サイト云フコト、然ラバ斯クノ如キ範圍ヲ明記スル能ハザルヤウナ性質デアアルナラバ、國民ニ不安ヲ與フルト云フコトハ、ドウシテモ一部ニ殘ル、但シ政府ガ言明シタル對外關係ノモノダケデアルト云フ、本法ノ趣旨ヲ脱逸スルト云フヤウナコトハナイカ、此ノ質問ニ對シマシテハ、當局ハ明カニ脱逸セズ、決シテ國民ニ不安ヲ與フルヤウナ所迄濫用シテ、脱逸スルト云フコトハナイト云フコトヲ言明ヲ致シテ居リマス、第三條ニナリマシテ、是ハ一言シテ置キマシガ、「公ニ」スルト云フ言葉ガアリマスガ、是モ「公ニ」スルト云フノハ何ダト云フト、公然ニスルコト、是ハ同ジコトデスカラ……、マア斯ウ云フヤウニ政府、言フノデアリマス、ソレデハ自分達ノ家ニ一人ノお客ガ來タ時ニ、一人ニ喋ルノハドウ云フモノダ、二人ニ喋ルト云フノカラ多數ニナルノカ、三人カラガ多數ニナルノカ、公ニスルト云フコトハドウ云フモノダト云フト、

矢張り今迄ノ慣例デアルヨリ外仕方ガナイノデアアル、大勢ノ讀ム所ノ新聞雜誌ト云フヤウナモノニ對シテハ、不特定人、特定セザル人ニ言フコトダカラ公ニスルコトデアアル、又講演會ノヤウナ特定シタル多數ノ者ニ話スルト云フノハ、特定多數人ト云フ言葉ガ出來テ居ルガ、マアサウ云フコトデアリシナケレバナラナイ、普通ハタツタ一人ニ喋ルト云フ時ニハマア問題デハナイト思フケレドモ、其ノタツタ一人デモ、ソレガ絲ヲ引イテ居ルヤウナ場合ガアルナバラ、ドウモソレハ、其ノ場合ニハドウシテモ常識ヲ以テ公ニシタルモノト判斷シナケレバナラヌ、要スルニ公ニスルト云フコトハ、ソレガ直ダ外國ニ行クト云フ前提ニ於テ、是ハ對外國ノ法案デアリマスカラ、其ノ意味ガ初メカラ終ヒ迄含シテ居ルト云フコトヲドウゾ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ、間違テ本法ニ觸レルト云フヤウナコトガ起ラナイダラウカ、要スルニサウ云フ點ガ不安デアアルガト云フコトニ對シテハ、此ノ第一條カラ第七條迄ノ間ニ於ケルコトデアリマスガ、サウ云フ所迄普通ノコトデ及ブコトハナイ、例ヘバ要案ヘ入り込シタ、サウスレバ直ダ引張ラレル、軍港ノ寫眞ヲ撮ル、某軍港ガ汽車カラ見エナイヤウニ幕簾ガ張ツテアル、其ノ間カラ「キメラ」ヲ出シテ寫眞ヲ撮ルト云フヤウナコトハ、後デ申シマスガ、ソナコトハ本法デハ被疑者トシテ扱ハナイ、ソレハ自ラ軍機保護法ノ外ノ法律ガ現在迄出來テ居ツテ、サウ云フコトハ現ニ罰スル規定ガアルノデアリマスカラ、ソレデ行クベキモノデアアル、本法ハ全く新シキ世相ニ順應シタルモノデアリマシテ、此ノ國家秘密ト云フコトニ關係ノアルモノニ限リ、又之ヲナス爲ノ諜報、宣傳、謀略方面ノミニ限定シテ此ノ法案ガアルノデアリマスカラ、而シテ其ノ國家秘密ヲ知ラムトスル諜報網ト云フノガ、先程例ニ舉ゲマシタ通り、ナカ

ナカ大仕掛ノモノデアリマスカラ、ソナ簡單ナ、ソコラデ寫眞撮ツタカ云フヤウナモノハ本法ノ問題ニハナラナイ、ソレダカラ、本法トシテハ極メテ其ノ方面ノ不安ハナイノデアアル、ソコデ問題ハ第八條デアリマス、是ガ又非常ニ、或ハ秘密會ニ於テハ或ハ色々ノ方面ニ於テ、問題トナツタノデアリマスカラ、一言シテ置カケレバナラナイノデアリマス、第八條ハ極メテ抽象的デアリマシテ、チヨイトハ分リニクイ「國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供スル目的ヲ以テ又ハ其ノ用途ニ供セラルル處アルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル情報ヲ探知シ又ハ收集シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス」トアリマス、ソコデマア大變條件ガ長イノデス、目的ヲ言ヒ現シタコトガ……、サウシテ其ノ言葉ガ矢張り抽象ニ過ギナイノデアリマスカラ、極メテ廻リ諄イ、或委員ハ、是非常ニ著物ヲ著過ギテルト云フ批評ヲシタ人モアル、處方斯ウ書カザルヲ得ナイ理由ガアリマスガ、ソレハ秘密デスカラ申上ゲラレナイ、此ノ法文ヲ表面カラ見ルト、如何ニモ誰ニデモ引掛リサウナモノナンデス、又從來ノ警察官、檢事等ノ岡／＼引根性ト申シマスカ、マア捕ヘテ來テカラ泥ヲ吐カセルト云フヤウナコトニ利用サレタラ、大變ナコトニナル、又或ハ政黨内閣ナゾガ出來タコトガアルトシマシテ、之ヲ政治謀略ニ使ツテ、アノ男ハ危險ダカラ捕ヘテ見ルト云フヤウナコトニナツテ、命令デモサレルト、謀略ニデモ利用サレテハ、大變ナコトニナルノデアリマス、ソレハ併シ政府ハ、表面カラ之ヲ讀マレ、バ或ハサウ云フ不安ガ起ルカモ知レナイガ、此ノ四十箇條ニ互ル全文ハ、對外國ノ關係ノモノデアツテ、先程申シマシタ高度ノ國家秘密ト云フモノノ漏泄ヲ防グノガ目的デアアル、ソレダカラ第八條モ其ノ意味ニ於テ讀マナクッテハイケナイン

ダ、即チ外國ニ知ラセル目的罪、情報ヲ探知收集スル、即チ外交、經濟、財政等ニ關スル不利益ノ情報ヲ外國ニ提供スル者ヲ罰スルノデアル、是ハ一般人ノコトデアルカラ尙更以テ不安デアリマス、外國ノ資料モ知ラナケレバナラナイシ、内地ノ材料モ知ラナケレバナラナイ、例ヘバ鐵ノ商賣ヲスルトカ、「アルミニウム」ノ商賣ヲスルトカ云フヤウナハ、外國ニドノ位サウ云フ素材ガアル、ソレニハドウ云フ會社ガアッテドウ云フ風ニシテ手ニ入レナケレバナラヌト云フヤウナ、材料ハ外國ノ方カラモ知ラナケレバナラナイガ、内地ニ於テモ何處ノ方面ニドレダケ需要ガアルト云フコトヲ、數量ニ於テ調ベテカラデナケレバ、輸入モ出來ナイ、賣先ガ分ラナクテ買フ譯ニモ行カナイ、サウ云フ風ナ譯デ特ニ貿易業者、マア經濟關係ノ者ハ一般デモアリマスガ、貿易業者ノ如キハ非常ニ此ノ法案ニ對シテハ不安ノ念ヲ現ニ懷イテ居ルト云フコトデアリマス、ウツカリ俱樂部ナンカデサウ云フ數量ニ互ツタモノノ演説モ講演モ出來ナクナル惧ガアル、ソレハ政府カラ言ハセマスト云フト、此ノ第八條ハ對外的法律デアル、敵ノ謀略ヲ破壞セム爲ノ條項デアル、諜報網、思想謀略、經濟謀略等ヲ以テ、秘密戰ヲ我レニヤツテ來ルノデアルガ、敵國ヲシテ其ノ戰意ヲ失ハシメルノガ目的デアッテ此ノ條文ガ出來テ居ル、狙ヒ所ハ、外國ノ諜報網ノ手先ニナルモノヲ取締ル、之ニ付テ、本法ノ目的ハサウ云フ風デアルカラ、其ノ本來ノ目的以外ニハ使用シナイ、ソレハ司法大臣ハ嚴重ニ之ヲ戒メル、サウシテ一般人ノ不安ヲ除クコトニ十分努力スルノデアアル、此ノ條文ノ第一段ハ、只今申上ゲマシタ通り御覽ニナレバ分リマスガ「用途ニ供スル目的ヲ以テ」トアリマス、後段ニハ「用途ニ供セラレル虞アルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ」トアル、前段ハ惡意ノ場合、

後段ハ虞アルト斯ウナッテ居リマスノデ、之ヲ司法警察官ナリ檢事ナリカラ見テ認定ヲサレル時ニ、非常ナ危險ガアルデハナイカト云フ質問ニ對シマシテ、當局ガ言フノハ、平素研究シテ居ル所ノ防諜警察關係者ニ於テ十分ニ調査研究ヲシテ、大任掛ノ諜報網ノ人的範圍ハ明々白々ニ分ル所マデ研究ヲスル、而シテ彼等ノ行動ハ絶エズ自分ノ方デ科學的ニ調査ヲスル、内外人兩側カラノ確實ナル情報ノ一致點アル場合ヲ取ツテ、ソレカラ出發ヲシテ研究審査ヲスル、サウ云フ適切ナル材料ヲ平素ニ於テ蒐集シツ、アルノデアリマス、斯クノ如キ科學的研究ヨリ客觀的事實ニ、確實ニ握ツテ進ンデ行クノデアル、先程モ申シマシタ如ク、敵性國ニハ、或所ニ中心ガアツテソレカラ大キナ網ガ張ラレテ、其ノ端ガ日本ニ來ルト云フノガ是ガ恐レベキモノデアル、其ノ魔手ニ懸ツテ敵國ノ手先ニ使ハレルト云フ者ヲ取締ルノデアリマスカラ、先程モ「ヒットラー」ノ例デ申シマシタ如ク、サウ云フ諜報網ト云フモノハ普通ノ人間ニ出來ルモノデナイ、是ハ大仕掛ノ極メテ、細胞組織ト申シマセウカ、有機的ニ出來テ居ルモノデアアルカラ、是ハ平常ノ研究調査デ行カナケレバナラナイ、チョツト寫眞ヲ撮ツタカラ彼奴ハ危イト云フヤウナヤリ方デ行クモノデハナイ、ダカラ之ヲ言ツテ居リマス、一般民衆カラ來ル投書密告ト云フモノハ相當アル、處ガ不斷的確ニ客觀的ニ調べタ人の範圍ガ分リマスカラ、サウ云フ素人ノ密告投書ニ依ツテ、當局ガ動カサレタリ迷ハサレルト云フヤウナコトハ毛頭ナイ、客觀的ニ見込付ケテ、之ニ吻合セザルモノハ相手ニシナイ、目的ハ高度國防ニ關スル國家機密ヲ探知ニアリマス、ソレヲ防グ、之ヲ碎ク所ニ要點ガアル、ソレダカラドウカ、經濟界ノ人ヤ外交モアリマスガ、特ニ貿易ニ從事スル方々ニ於テ決シテ之ニ付テ不安ノ念ヲ抱カレナイコトヲ望ムト云フコ

トデアリマス、ソレカラ、イヤサウ言ツタ所デ、司法警察官ト云フモノハ所謂内務省ニ屬シテ居ツテ、指揮ハ司法省カラ受ケル、内務省、ソレカラ軍ノ方ハ陸軍省、ソレカラ檢事ハ司法省、是ガ互ニ此ノ繩張ト云フモノハ、今日ヤカマシイ役所ノ中デウマク綜合一體トシテ行クモノダカドウカ分ラナイ、ノミナラズ今迄ノ檢事ヤ司法官ノヤリ口ヲ見ルト云フト、マア捕ヘテカラ色々調べテ行クト云フノガ普通ヤリ方デアアルデハナイカ、サウ云フコトガ起リハシナイカト云フト、是ハ今迄ノ普通ノ場合ヲソレハ言フノデ、今日ノ此ノ世相ハ全く變ツテ居ル、デ國家機密ト云フコトヲモット深く考ヘテ貫ハナクチャナラナイ、例ヘバ例ヲ舉ゲテ見マスト云フト、春先ニナルト目高ヤ何カガ池ノ上ヘ一パイ浮ンデ居ル、ソレヲ子供ガ一匹拘ヘバ殘リノ魚ハ皆下ヘ降ツチャツテ、泥ノ中ヘ頭ヲ突込チャウ、斯ウ云フ諜報網ノ如キモノヲ徒ニ引張タリナンカスルコトガ偶然アツテ、引張ツタリスルコトガアツテモ、サウスレバ直チニ諜報網ハ細胞組織デパット下ヘ潜リ込ンデヤツテ、實ニ始末ニイケナクナルノダカラ、本法ノ目的ヲ脱逸スレバ、敵國、敵性國ノ防諜網ト云フモノハ地下ニ潛伏シテシマフ虞ノアル場合ガアリマス、ダカラサウ云フコトヲサセリヤ大變ナ損デアルカラ、ソレデ此ノ次ニ申上ゲマスガ、第十七條以下ニ於テ檢事中心ニナツテ、司法警察官ガ勝手ニ召喚勾留スルコトガ出來ナクシタハ、其ノ點デアアル、又其ノ教育問題ハ、後デ申上ゲル機會ガアツタラ申シマス、決シテ玉石混淆スルナント云フコトハナイノデアアル、ソナナ程度ノ低いモノハ別ノ法律ガアルト云フ説明デアアルノデアリマス、ソコデ十七條カラ二十八條迄ノ司法警察官、檢事ノ問題ニ自然入ルコトニナリマス、今迄ハ司法警察官ガ先ツ以テ被疑者ヲ調ベテ居ツテ、其ノ結果ヲ、檢

事ハ手ヲ拱イテ待ツテ居ツタ、是ガ今迄ノヤリ方デアアル、今度ハ檢事ノ強制力ヲ強化シタノデアアル、司法警察官ト申シマスト云フト、マア巡査、警部補、警部等モサウデアアルガ、地方長官デアルトカ、又陸軍ノ憲兵ト云フモノモ之ニ準ジタモノニナツテ居ルコトヲ御承知ダト思ヒマスガ、司法警察官ガ勝手ニ召喚シ、之ヲ勾留スルト云フコトハ出來ナイゾ、茲ニ十七條ニ於キマシテ明カニ檢事ハ被疑者ヲ召喚シ又ハ其ノ召喚ヲ司法警察官ニ命令スルコトヲ得、檢事ノ命令ニ因リ司法警察官ノ發スル召喚狀ニハ命令ヲ爲シタル檢事ノ職、氏名及其ノ命令ニ因リ之ヲ發スル旨ヲモ記載スベシ、斯ウナツテ居ル、之ガ今迄ト大變違ツタ、面目ヲ改メタ結果デアリマシテ、一方カラ見レバ檢事ガ權限、斯ウ云フコトモ出來ルデヤナイカ、ト云フ御質問モアリマスケレドモ、又政府ノ言明ニ依レバ、ソコニ重大ナル改善シタ點ガアルノダ、今迄ハ檢事ハ警察ヲ待ツテ居ツタ、今度ハ檢事ノ發動ヲ俟タザレバ警察ガ動ケナイ、司法警察官ガ動ケナイト云フコトニナツタ、若モ岡ッ引式ニ司法警察官ノ方ガ先ヘ手ヲ出シテ、サウシテ檢事ニハ言ハナイヤウナコトガ起ツタラバ、今度此ノ十七條ヲ以テ檢事ガ嚴トシテ抗議ヲ申込ンデ行クコトガ出來ル、ソレダケノ又強制權モ茲ニ載セテアルノデアアル、斯ウ云フノデアリマス、人權蹂躪等ニ付テ色々ナ問題ガ起ツテ、質問應答モアリマシタガ、サウ云フコトハ是ハ決シテ無イノデアアル、前以テ、先程申シマシタ如ク科學的ニ搜查ヲスルノデアアルカラ、證據ガ客觀的ニ確實デナケレバ決シテソレハ拾ハナイノデアッテ濟ムノデアアルカラシテ、決シテ人權蹂躪ノ虞ハナイノデアアル、デ檢事ノ職權行使ガ軌道ヲ外レルヤウナコトガナイカト云フコトヲ、頻リニ質問サレルノデアアルガ、是ハ嚴トシテ軌道ニ載セル覺悟デアルト云フ言明ガア

リマシタ、ソコデ司法警察官並檢事ノ教養訓練ノ改善ノ問題ガ出テ來ルノデアリマス、來年度ノ豫算ニ外事警察官ノ教養ノ經費ガ取ツアル、外事警察ノ組織ヲ擴大シテ、新規豫算ニ此ノ本省地方ヲ通ジ相當増員ヲスル、又防諜警察ノ諸經費及其ノ科學的研究ヲ爲ス職員モ拵ヘテ、サウシテ大イニ此ノ方面ニ進ンデ行ク、又日本ニ檢事ト云フモノハ、サウタントハアリマセスガ、其ノ中ニ於テ頗ル堪能ニシテ知識ノ廣イ人モアルノデアルカラ、サウ云フ思想方面其ノ他ニ於テ、又此ノ本法ノ檢事トシテ適切ナル者ヲ選ビマシテ、講習會トカ、色々又訓練ノ方法ヲ講ジテ、サウシテ向上サセルヤウニスルト云フ意思デアリマス、又國民ノ防諜思想ノ普及等ニハ、警防團員三百萬人ト云フモノガアルカラ、ソレヲ通ジテ普及ヲスル、言論機關等ノ懇談會デアルトカ、「ラヂオ」、新聞、雜誌、「パンフレット」等ヲモ利用シテヤルノダ、國防共知識ト云フモノモ必要デアル、巧妙ナ「コミンテルン」ノ謀略戰術ニ乗ゼラレヌヤウニ、國民防諜思想ヲ普及シマシテ、警防團員其ノ他此ノ方面ニ從事スル者ニ十分教育ヲスルノデアル、此ノ教育ヲシテ、訓練ヲシテ行クカラ、先程申シマシタヤウナ間違ヘタ岡岡引式ノコトハ、今度ハ起ル氣遣ヒハナイト、斯ウ云フ風ニ言フノデアリマス、ソコデ第十六條ノコトガチヨット拔ケマシタカラ、廻リマシテ十六條ヲ申シマス、十六條ノ第二項デアリマスガ、茲ニハ「本章ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル左ニ掲グル罪ニ關スル事件ニ付亦之ヲ適用ス」トアリマシテ、外國ト通謀スル目的ヲ以テ次ノ範圍内ニ於テ犯罪ニナツタ者ハ之ヲ適用スルトシテ、軍機保護法以下此處ニマア大變ナ數ガ列シテ居ルコトハ御覽ノ通りデアリマス、其ノ中ニハ治安維持法ト云フヤウナ、今回修正ニナツテ、其ノ訴訟手續ニ至ル迄本法ト殆ド同様ナモノガ此處ニアリ、コンナモノ迄此處ニ入レルト云フノハ一體ドウ云フ譯デアラウカ、又規定……只今本章ノ規定ハ云々ト申シテ、外國ト通謀ト云フヤウナコトニ縁ノ遠イヤウナ法律迄モ列シテ居ルノデアル、マア重複シタリ、サウ云フ風ニ多數ノモノガ列ビ過ぎテ居テ、徒ニ國民ノ不安、國民ニ壓迫感ヲ與フルト云フコトハ宜シクナイノデアル、ソレデアルカラ、是ハ要ラナイデヤナイカト云フコトニ付テハ質問應答ガ相當ニアリマシタ、又斯クノ如ク澤山列ベテヤルト云フヤウナコトハ必要ガナイノミナラズ、是ハ今迄ノ法ノ體裁トシテモ異例デアルト云フヤウナ議論ガアリマシタガ、政府ハ是ハ外國ト通謀スルト云フ意味ガ條件ニナツテ居ルノデアツテ、其ノ目的ニ副ウタモノダケラ拾ッテヤルノダ、カラ此處ニ列シテ居ッテモ差支ナイト云フヤウナ譯デアリマス、ソレハソレニ違ヒナイガ、併シナガラ、又法律家ノ専門家カラ見ルト、斯ウ云フ體裁ハ今迄ニモ餘リナイシ、サウシテ又壓迫感ヲ與ヘテ面白クナイト云フヤウナ問答ガアツタノデアリマス、此ノ十六條ニ付キマシテモ、對外諜報、謀略等ノ二項ノ條件以外ニ脱逸スルヤウナコトハナイカ、政府ハ之ニ對シテ脱逸スルコトハナイ、斯ウ云フ言明ガアリマシタ、ソコデ今度重大ナハ第三十三條デアリマス、一審切リト云フコトニナルノデアリマス、伊藤公ガ朝鮮ノ方面ニ居ラレタ時ニ、朝鮮ニ刑法ヲ布ク場合ニ、二審制度ニスルカ三審制度ニスルカ、モット簡略ニシタラ宜カラウト云フ議論ガアツタ時ニ、伊藤公ハ我が國ニ於テハ三審制度ガ原則デアアル、朝鮮人ニ對シテモサウ簡略ニ扱ッデハイカス、三審制度ニセヨト云フコトデ、三審制度ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、兎ニ角重大ナ事件ハ丁寧ニ扱フコトハ當然ナコトデアラウ、

少クトモ死刑ニ於テ然リデアリマス、是ノ政府ノ言フ所モ亦理窟モアルノデアリマス、早ク裁判スルト云フコトモ秘密ガ漏洩スル上カラ必要デアアルガ、ソレノミナラズ、國家機密ガ多數ノ人ニ漏レルト云フコトハ更ニ避ケタイノデアアル、三審迄ノ間ニハ其ノ秘密事項ヲ知ル者ガ相當ノ數ニナル、如何ニ秘密ニシテモ、裁判所ニハ書記モ居ルシ廷丁モ居ルカラ、サウ云フ人迄モ之ヲ知ルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアアル、サウシテ又三審ニスルト云フト、甲ノ裁判所カラ乙ノ或地方ノ裁判所ニ移スト云フコトモ起ッテ來マスカラ、其ノ間ニ一箇所ダケデナク秘密ガ漏レ易イ、其ノ間ニ外國ノ魔手ガ入ッテ來テ、日本人デ知ラズ識ラズ引ッ掛ルト云フヤウナモノモ入ッテ來ル、日本ノ法曹界ニ於テモ三審制度ト云フノハ寧ろ陳腐デ、今日ハモウ三審制度ナント云フコトハ言フ人ガ少クテ、大正十一年以後ト大正十一年以前トハ、此ノ點ニ於テ非常ナ差ガアル、即チ陪審法ハ二審デ以テ済ムヤウニナツタ、又大審院ニ事實審ト云フモノヲ入レタ、今回ノヤウナ重大ナモノニ對シテハ、昨日斯ウ云フ風ニ言明シテ居リマス、法令違反ノミナラズ、事實誤認、量刑不當ノ場合ニハ上告シ得ルコトトシ、又上告審カラ移送、差戻シノ途モ開カレテ居ルカラ御心配ハナイト云フ風ニモ說イデ居リマス、ソレデ此ノ裁判ガ餘リ長クナルト云フト、終ヒニハ效果ガ薄クナツテシマフ、三審制ニナルト云フト、第一審ノ時カラ、既ニ裁判官ハモウドウセ後デ上司デ以テ判決ヲ變更スルニ違ヒナイト云フ頭ガ先入主トナツテ居ルカラ、責任感ト云フモノガ自然ドウモ減レドモ、刑ノ判決ノ誤謬ヲ正スト云フコトニ於テハ、大審院ニ於テ最高ノ權限ヲ有シ、最モ堪能ナル判事ノ事實審ガアル、冤罪ニハナラナイヤウニ十二分ノ用意ガアル、刑

法七十三條、七十五條、七十七條、七十九條、即チ大逆罪、内亂罪ノ如キモノハ國家ノ安危ニ繫ルノデアアルガ、一審ダケデアアル、國家機密ノ漏洩ノ罪ハ内亂罪ト匹敵スルモノト考ヘラレル、控訴ダケヲ除クト云フコトニハ理由ガ十分アル、除イテモ鄭重ニヤツテ行ケルノデアアル、斯ウ云フ本法ノヤウナ問題ハ、慎重ト共ニ果斷ト云フコトモ必要デアアル、五六年モ経ツト云フト、證據モ調べテ見テモナカ……分ラナイ、事件ハ成ルベク新鮮ナウチニ檢討スルノガ必要デアアルト云フコトデアリマス、サウシテ今迄デモ死刑ノヤウナモノハ、マア顯著ナル手續上ノコトヲモウ一遍調ベルト云フ意味ニ於キマシテ、大抵一審ダケデナク審理シテ行クト云フノガ非常ニ多イ、殆ド皆サウダト思フ、全體引括メレバ「パーセンティデ」ハ少イノデスケレドモ、非常ニ重イ刑罰ノ場合ハ今サウ云フ風ニナツテ居ル、ノミナラズ、當局ノ言明ニ依リマシテ、其ノ點ハ控訴ガナクッテモ十分ニ裁判ノ誤リナキコトヲ期スルコトガ出來ルノデアアル、要スルニ質問應答ハ極メテ重大ナモノガ多數アリマスガ、四十條ニ互ツテ居ルダケニ之ヲ一々諸君ニ申上ゲルコトハ、會期切迫ノ際ニ於テ如何カト思ヒマスカラ、後ハ速記錄ニ於テ十分ニ御覽ヲ願ヒマシテ、此ノ邊割愛致シタイト思フノデアリマス、次イデ二十六日午後、當局ノ言明ガアリマシタカラ、討論ニ入リマシテ、本案全部ノ問題ト致シマシタ、修正案ノ動議ガ提出サレマシタ、是ハ六ツバカリアリマスカラ、一々重要ナコトデアリマスカラ、申上ゲテ置キマス、修正案ノ第一、「第一條 本法ニ於テ國家機密トハ國防上外國ニ對シ秘密スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル重要ナ

手続ニ至ル迄本法ト殆ド同様ナモノガ此處ニアリ、コンナモノ迄此處ニ入レルト云フノハ一體ドウ云フ譯デアラウカ、又規定……只今本章ノ規定ハ云々ト申シテ、外國ト通謀ト云フヤウナコトニ縁ノ遠イヤウナ法律迄モ列シテ居ルノデアル、マア重複シタリ、サウ云フ風ニ多數ノモノガ列ビ過ぎテ居テ、徒ニ國民ノ不安、國民ニ壓迫感ヲ與フルト云フコトハ宜シクナイノデアル、ソレデアルカラ、是ハ要ラナイデヤナイカト云フコトニ付テハ質問應答ガ相當ニアリマシタ、又斯クノ如ク澤山列ベテヤルト云フヤウナコトハ必要ガナイノミナラズ、是ハ今迄ノ法ノ體裁トシテモ異例デアルト云フヤウナ議論ガアリマシタガ、政府ハ是ハ外國ト通謀スルト云フ意味ガ條件ニナツテ居ルノデアツテ、其ノ目的ニ副ウタモノダケラ拾ッテヤルノダ、カラ此處ニ列シテ居ッテモ差支ナイト云フヤウナ譯デアリマス、ソレハソレニ違ヒナイガ、併シナガラ、又法律家ノ専門家カラ見ルト、斯ウ云フ體裁ハ今迄ニモ餘リナイシ、サウシテ又壓迫感ヲ與ヘテ面白クナイト云フヤウナ問答ガアツタノデアリマス、此ノ十六條ニ付キマシテモ、對外諜報、謀略等ノ二項ノ條件以外ニ脱逸スルヤウナコトハナイカ、政府ハ之ニ對シテ脱逸スルコトハナイ、斯ウ云フ言明ガアリマシタ、ソコデ今度重大ナハ第三十三條デアリマス、一審切リト云フコトニナルノデアリマス、伊藤公ガ朝鮮ノ方面ニ居ラレタ時ニ、朝鮮ニ刑法ヲ布ク場合ニ、二審制度ニスルカ三審制度ニスルカ、モット簡略ニシタラ宜カラウト云フ議論ガアツタ時ニ、伊藤公ハ我が國ニ於テハ三審制度ガ原則デアアル、朝鮮人ニ對シテモサウ簡略ニ扱ッデハイカス、三審制度ニセヨト云フコトデ、三審制度ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、兎ニ角重大ナ事件ハ丁寧ニ扱フコトハ當然ナコトデアラウ、

ル國務ニ係ル事項ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ及之ヲ表示スル圖書物件ヲ謂フトアリマス、次ノ如ク修正スル、第一條 本法ニ於テ國家機密トハ國防上外國ニ對シ秘密スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル重要ナル國務ニ係ル事項及之ヲ表示スル圖書物件ヲ謂フ、斯ウ云フ風ニ修正シテ、一 御前會議云々、二 帝國議會ノ秘密會議云々、三 前二號云々ノ全部ヲ削除スル、而シテ第二項トシテ前項ノ事項及圖書物件ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、斯ウ云フ風ニスルコト云フコトデアリマス、此ノ修正ハ、二三ヲ削除シマスル以上、必然的ニ生ズル修正デアリマス、其ノ理由トシテハ、第一號ノ如キハ特ニ承服スルコトハ出來ナイ、御前會議、樞密院會議ハ、先程モ中シマシタ通りノ意味ニ於テ、サウ云フコトヲ茲ニ書クノハ宜シクナイ、最高ノ官吏ガ犯罪ヲ犯ス處アリト云フヤウナコトヲ、國民ニ聯想セシムルコトハ忌マハシイコトデアアル、二號モサウデアアル、三號モサウデアアル、ダカラハハ除ケト、斯ウ云フコトデアリマス、是ガ第一ノ修正案、修正案ノ第二「第八條國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供セルアルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル情報ヲ探知シ又ハ收集シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス」トアリマス、第八條 國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供セルアルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル情報ヲ探知シ又ハ收集シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス」ト修正スル案デアリマス、謀報國ノ手先ニナル者ヲ取締ルコト云フ、當局ハ之ニ觸レル者ハ極メテ少イト云フケレドモ、此ノ法文ヲ、法文ダケノ表面ヲ見タノデハ、當局ノ説明ハ出テ來ナイ、此ノ二通りノ目的ト云フモノガ極メテ廣過ギル、貿易商等ノ如キハ、材料ヲ探知收集シナケ

レバ自分ノ業務ガ行ヘナイ、誤ラレテ被疑者トナラストハ限ラナイ、故ニ修正シテ斯クノ如ク制約スル必要ガアルト云フコトデアリマス、修正案第三、是ハ第十六條第二項ヲ削除スル、原案ノ第二項ハ「本章ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル左ニ掲グル罪ニ關スル事件ニ付亦之ヲ適用ス、サウシテ軍機保護法以下澤山法律ガ列舉シテアル、此ノ全部ヲ削除スルコト云フ意見デアリマス、サウ云フ修正案ガ出タノデアリマス、其ノ理由トシテハ、第十六條第一項第一號ハ、本法ニ於テ始メテ規定シマシタ特殊ノ犯罪デアアルカラ、此ノ事件ニ付特別ナル刑事ノ手續ヲ規定スルコトハ、或ハ已ムヲ得マイ、又同項第二號ニ掲グル罪ハ、軍機保護法、軍用資源秘密保護法違反、外患罪等、第一號ノ犯罪ニ近イ性質ヲ持ッテ居ル罪デアアルカラ、是等ノ罪ニ付、特別ナル刑事手續ヲ規定スルコトモ、或ハ已ムヲ得ナイカト思フガ、第二項ニ掲グル各種ノ犯罪ハ、刑法其ノ他ノ法規ニ互リ其ノ範圍極メテ廣ク、單ニ之ヲ一外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ」ト云フ條件ヲ附加シタルコトニ依ツテ、直チニ第一項ノ罪ト同ジク特別ナル刑事手續ニ依ラシムルコトハ不當デアリマス、尤モ此ノ中ニハ、皇室ニ對スル罪、内亂罪ノ如キ、極メテ重大ナル罪モ含マレテ居リマスガ、是ハ現行刑事訴訟法上ニ於テ、特別ナル裁判手續ノ規定ガアル、捜査ニ關スル特別手續ハ規定サレテハナイケレドモ、捜査ノ實際ニ徴シ、支障ヲ生ズルコトハナイ、結局斯クノ如キ廣イ範圍ニ互リ、特別ナル刑事手續ヲ設ケルコトハ異例デアッテ不當デアアルカラ、第二項全部ヲ削除ノ動議ヲ提出スル所以デアルト云フコトヲ理由トシテ言ハレタノデアリマス、修正案ノ第四、第十七條乃至第二十六條ヲ削除シ、且之ニ依ッテ影響ヲ受クル部分

ヲ修正スルコト、其ノ理由ト致シマシテハ、是ハ檢事ニ強制權ヲ付與スルコトヲ削除スルコト云フ意味ヲ持ッテ居ル、今日迄ニ間違ガ多カッタ、社會ニ不安ヲ與ヘルハ條文デアアル、被疑者ニハ相當上層階級ノ者モ出テ來ル、檢事ノ判斷ダケデ強制權ノ行ハレルコトハ、危クモアルシ又不適當デアアルカラ、此ノ修正案ヲ提出スルコトデアアル、修正案ノ第五、十九條以下ニ於テ司法警察官ノ訪問等ヲ除キタイ、即チ第十九條前段中「又ハ司法警察官」ノ七字ヲ削リ、即チ「四十八時間内ニ檢事又ハ司法警察官之ヲ訪問スベシ」ニ云々トアルヲ、「一檢事ハ被疑者ヲ勾留スルコトヲ得」ト修正スル、同條第二項「第十七條第二項」第十七條第二項ノ規定ハ檢事ノ命令ニ因リ司法警察官ノ發スル勾留狀ニ付之ヲ準用ス、是ハ削除スル、第二十三條ヲ次ノ如ク改メ「勾留ノ事由消滅シ其ノ他勾留ヲ繼續スルノ必要ナシト思料スルトキハ檢事ハ速ニ被疑者ヲ釋放スベシ」、第二十五條第一項ヲ改メ「檢事ハ被疑者ヲ訪問スルコトヲ得」トスル、同條第二項ヲ改メ「檢事ハ公訴提起前ニ限り證人ヲ訪問シ又ハ其ノ訪問ヲ他ノ檢事ニ囑託スルコトヲ得」ト修正スル、同條第三項、第四項ヲ削リ、第二十六條第三項ヲ次ノ如クニ修正スル、「司法警察官檢事ノ命令ニ依リ押收、搜索又ハ檢證ヲ爲シタルトキハ其ノ調書ニ鑑定人、通事又ハ翻譯人ヲ訪問シタルトキハ其ノ訪問調書ニ命令ヲ爲シタル檢事ノ職、氏名及其ノ命令ニ依リ之ヲ爲シタル旨ヲ記載スベシ」、其ノ理由トシマシテハ、警部、警部補、巡查部長等ニハ、今日今尙其ノ素質、知識、技能ニ於テ訪問勾留ナドヲ

委セルコトハ不適當者ガ多イ、此ノ今日ノ現狀ニ於テ行ハウトスルコトハ弊害ガ多イカラ、斯クノ如ク修正スル、是ガ第五デアリマス、修正案ノ第六、第三十三條ヲ削除シ、第三十四條以下ニ於テ、之ニ依ッテ影響ヲ受クル部分ヲ削リ、理由、三審制度ハ明治八年ノ大審院以來傳統ノ原則デアアル、刑事裁判ノ歴史上之ヲ一審ニスルコトハ大變革ト言ハナケレバナナイ、人ノ生命、自由、名譽、財産ヲ剝奪スル權能アル司法官ニ誤ナキコトヲ期スル以上、ドウシテモ慎重ニシナケレバナナイ、二審ト云フケレドモ、顯著ナル事由アルトキニ限ッテ出來テ居ルノデ、控訴ヲ省イタ所デ漏洩ナシト云フ譯ニハ行カナイ、是ハ人ニアルノデアッテ、短クシタカラト云ッテ、或ハ三審ヲ二審ニシ、一審ニシタカラト云ッテ、漏洩ヲ防グト云フ譯ニ行カナイ、是ハ三審ダッテモ嚴シク秘密ヲ保テバ宜イデヤナイカ、サウシタラ宜カラウ、斯ウ云フ理由デアリマス、斯クノ如クハ、修正案ガ出マシテ、各、此ノ動議ハ賛成者ガアッテ成立致シマシタ、其ノ各、ニ付テハ採決ヲ致シマシタル處少數ヲ以テ否決ニ相成リマシタ、ソレカラ本案全部ヲ議題トシテ討論ヲ致シマシタ、一委員カラ賛成ノ趣旨ヲ述べラレマシタ、目下ノ國際情勢ノ緊迫セルニ鑑ミマシテ、一日モ早く本法施行ノ重要性アルコトニハ異議ハナイ、併シナガラ一度本法ノ運用ヲ誤ラシナカ、誠ニ恐ルベキ運命ヲ招來スルモノデアアル、第一條ニ國家機密ノ具體的範圍ヲ、勅令ヲ以テスルハ不可能デアアルガ、主務省ノ告示ヲ以テ差支ナキ限リ公ニスルコト云フ政府ノ言ガアッテ満足スル、又本案ハ政治謀略ニ惡用サレル虞ガ多イ、政府ハ無イト斯ウ言フケレドモ、過去ノ事實ニ徴シ其ノ憂ハ十分アル、特ニ第八條ハ謀略ニ利用サレ易イ、唯我が國ノ防諜警察ガ科學的ニ完全ナルコトヲ云ッテ、徒ニ單純ナル密告

投書ニ依ッテハ拘束ハ決シテシナイ、又斯カルコトヲ行ヘバ、捜査上極メテ不利益ヲ來スト云フ當局ノ言明ヲ信賴シテ置カウ、此ノ點モ了解ヲ致シマシタ、刑事手續ニ慎重ニスルコトデアアルカラ何等ノ憂ナイト云フ説明モ聽イタコトデアアル、此ノ意味ヲ以テ原案ニ贊成ノ意ヲ表スルト述ベラレマシタ、次イデ本案全部ヲ問題トシテ採決ニ入りマシタ、本案ヲ可決スベシトスル者十七、否トスル者六、仍テ本案ハ多數ニ依ッテ原案通り可決ト相成リマシタ、右報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽) 司法大臣ヨリ發言ヲ求メラレマシタ、許可ヲ致シマス、柳川司法大臣

〔國務大臣柳川平助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(柳川平助君) 本法案ノ審議ノ途中ニ於キマシテ、問題トナリマシタ諸點ニ付キ政府ノ意見ヲ申述ベ、且本法成立ノ後ニ於ケル運用方針等ヲ申述ベマシテ、御協賛ヲ得タイト思ヒマス、第一、本法ノ内容ニ付テ、本法第一條ニ所謂國家機密ノ範圍ガ明瞭ヲ缺ク爲ニ、惡意ナクシテ罪ヲ犯スニ至ル虞アリ、此ノ意味ニ於テ國民ニ不安ヲ與フルニ非ズヤト云フ御意見ガアリマシタガ、國家機密ハ國家ノ最高ノ機密デアッテ、國民大衆ガ之ヲ知ル機會ハ殆ドナイノデアリマス、之ヲ知ル者ハ特定ノ官吏、其ノ他極メテ少數ノ關係者デアリマス、尙之ヲ表示スル圖書物件ニハ、國家機密タルコトノ標識ヲ付シ、口頭ヲ以テ之ヲ述ブル場合ニハ、範圍ヲ限定シテ、取扱者ニ之ヲ指示致シ、尙差支ナキ限り之ヲ官報ニ告示スル豫定デアリマスカラ、國家機密ノ範圍ガ明確ヲ缺ク爲ニ、惡意ナキ者ガ知ラズ識ラズノ間ニ罪ニ陥ルト云フガ如キコトハ、絕對ニナイト信ズル次第デアリマス、第八條ノ規定ガ廣キニ失シ、貿易界、經濟界其ノ他ニ不安ヲ與フル憂ナキヤト云フ御意見モアリマシタガ、本條ハ帝國ニ取ッテ國防上不利

利益ナル情報ヲ探知收集シ、又ハ之ヲ外國ニ通報スル目的ヲ以テ探知收集スルコトヲ取締ラムトスル規定デアリマシテ、此ノ種ノ行為ヲ爲ス者ハ、平素ノ查察、内偵ニ依ッテ、其ノ意圖ニ付確タル證據ヲ得タル上檢舉致スノデアリマシテ、善良ナル經濟人、政治家等ガ誤ッテ檢舉セラル、ガ如キコトハ、絕對ニナイトモト確信致ス次第デアリマス、第十六條第二項ノ規定ガ廣キニ失スルニ非ズヤト云フ御意見モアリマシタガ、第十六條ハ、第一項ニ於テ敵性國ノ諜報活動ニ對抗スル爲ニ必要ナル規定ヲ設ケ、第二項ニ於テ、敵性國ニ依ッテ思想、宣傳、破壊ニ經濟諜略ニ利用セラル、虞アル罪ヲ揭ゲ、是等ノ罪ニ付テ特別ナル搜查並ニ裁判手續ヲ適用スルコトヲ規定致シタノデアリマシテ、第一項及第二項ノ兩者相俟ッテ敵性國ノ帝國ニ對スル諜報並ニ諜略活動ヲ防止、破壊スルコトヲ得ルコトナルノデアリマシテ、第一項及第二項共ニ絕對ニ必要ナルモノト信ズルノデアリマス、第十七條以下ニ於キマシテ、特別ナル搜查手續ヲ規定致シテ居リマスガ、之ニ對シスル如キ權限ヲ搜查官ニ付與スルコト、少クトモ司法警察官ニ之ヲ付與スルコトハ、之ヲ濫用セラル、虞ガアリ、又斯クノ如キ權限ヲ付與セザルモ、現行刑事訴訟法ノ規定ニ依ッテ十分デハナイカト云フ御意見モアリマシタガ、本法第十六條ニ規定スル罪ハ、廣汎ニ互ル組織的、團體的活動ヲ致シテ居ル所ノ敵性國ニ對抗スルコトヲ極メテ特殊ナル性質ヲ有シ、且ソレ自體重大ナル犯罪デアリマシテ、之ヲ檢舉スルコトハ外交、政治等ニ大ナル影響ヲ及ス場合モアルノデアリマス、從ッテ之ヲ檢舉スベキヤ否ヤ、假ニ之ヲ檢舉スルト致シマシテモ、其ノ時期方法等ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ要シマス、又搜查機關中、最高ノ機關ガ中心トナリ、其ノ他ノ各搜查機關ガ打ッテ一丸

トナリ、其ノ指揮命令ヲ受ケテ連絡統一アル活動ヲ爲シ、以テ敏捷且適正ニ搜查ヲ實行シナケレバナラナイノデアリマス、斯様ナ必要ニ基キ、特ニ是等ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、裁判手續ニ付キマシテモ、二審制ヲ採用シ、其ノ他種々ノ規定ヲ設ケマシタガ、是等ハ何レモ事件ノ性質ニ鑑ミ、訴訟手續ノ過程ニ於テ、國家ノ機密ガ外國ニ漏泄スルコトヲ防止スルコト、並ニ其ノ外交關係等ニ及ス影響ヲモ慮慮シテ、成ルベク速カニ訴訟ヲ終結セシメムトスル目的ニ出タモノデアリマシテ、現在ノ裁判制度ニ對スル重大ナル改正デハアリマスルガ、事件ノ性質ニ鑑ミマシテ必要已ムヲ得ザル措置ト考ヘテ居ル次第デアリマス、第二運用ニ付テ、本法案ハ敵性國家ノ我が國ニ對スル諜報並ニ諜略活動ニ對抗スル爲ニ設ケタルモノデアリマス、運用ニ當ッテハ、此ノ根本目的ニ鑑ミ、ソレ以外ニ脱逸セザルコトニ細心ノ注意ヲ拂フ考デアリマス、本法ガ國內ノ政治諜略ニ利用セラル、憂ガアルノデハナイカト云フ御心配ヲ御持チノ御方モアルヤニ承知致シテ居ルノデアリマスガ、若シ萬一左様ナコトガアリマシタナラバ、ソレハ本法制定ノ目的ニ反スルノミナラズ、司法部長致シマシテモ自ラ其ノ職ヲ辱カシムルコトニ相成リマスノデ、絕對ニ左様ノコトノ起ラナイコトヲ期スル覺悟デアリマス、即チ本法ノ適用ヲ受クル犯罪ノ搜查ニ當リマシテハ、其ノ著手前並ニ處分ニ當リ、ソレノ必ズ上司ノ指揮ヲ仰ガシムルコトトシ、其ノ適正ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、尙平素カラ有ラユル方法ニ依リマシテ判檢事並ニ司法警察官吏ニ對シ、本法ノ目的及規定ノ趣旨ヲ能ク了解セシメ、萬遺漏ナキヲ期シタイト考ヘマス、裁判手續ニ關シマシテモ、特ニ鍊達堪能ナル判事ヲシテ事件ニ當ラシムルヤウ豫メ其ノ措置ヲ執ル等、慎重ヲ期シタイト考ヘテ居リマス、第

三將來ニ於ケル改廢、本法案ハ現時ノ國際情勢ノ機微ニ鑑ミマシテ、是非共必要ナルモノト認メ立案致シタノデアリマス、現下緊迫セルノ國際情勢ガ著シキ緩和ヲ見ザル限り、本法案ノ必要性ハ何等減少シナイト存ジマス、併シナガラ將來情勢ノ著シキ變化ニ依リマシテハ、更ニ改正セラル、コトモアリ得ルコトカト思ヒマス、尙本法ガ成立致シマシタ後ニ於キマシテモ、絶エズ研究ヲ加ヘ、且本法運用ノ實績ヲ十分考察致シマシテ、苟モ改善ヲ必要トスル點ニ付テハ、進ンデ修正ヲ加ヘ、以テ國防保安ノ完璧ヲ期スベク最善ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、右様ノ次第デアリマスカラ、何卒當局ノ意ノアル所ヲ御諒察下サイマシテ、御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望スル次第デアリマス

○議長(伯爵松平賴壽) 討論ノ通告ガゴザイマス、伍堂君

〔伍堂卓雄君演壇ニ登ル〕

○伍堂卓雄君 本法ノ目的ハ、第一ニハ、外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル國家機密ノ外國漏泄ヲ防止スルコト、第二ニハ、國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供スル目的ヲ以テ、又ハ其ノ用途ニ供セラル、虞アルコトヲ知ッテ、外國ニ通報スル目的ヲ以テ外交、財政、經濟其ノ他ニ關シテ情報ヲ探知シ、又ハ收集スルコトヲ防止スルコト、第三ニハ、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ治安ヲ害スベキ事項ヲ流布シ、金融界ノ攪亂、重要物資ノ生産又ハ配給ノ阻害、其ノ他ノ方法ニ依ッテ、國民經濟ノ運行ヲ著シク阻害スル虞アル行為ヲ防止セムトスルノデアリマシテ、刻下我が國ニ於ケル外國諜報機關ノ跳梁ヲ逞シウシツ、アリマスル現狀ニ鑑ミマシテ、此ノ必要性ハ十分ニ之ヲ認メルノデアリマスルガ、一般國民ニ取リマシテハ、國家機密其ノ他犯罪ノ對象ヲ明示セラレナイデ、賣國ノ行為ト

シテ重刑ニ處セラレト致シマスル危險極
マル法律アリマス、本法ハ數箇ノ缺陷ノ
缺點ヲ持ツ居ルコトハ認メマスルガ、其ノ
缺點ヲ忍ビマシテモ、此ノ際、此ノ非常時
局ニ處スル我々ノ態度ト致シマシテハ、之ヲ
贊成致シマシテ、原案ノ儘承認スベキモノ
ト信ズルノデアリマス、以下少シ其ノ缺
點ヲ指摘シマシテ、又成立ニ對スル私ノ希
望ヲ述ベヨウト思ヒマス、缺點ニ付テ申シ
マスルト、第一、本法ハ統制經濟ノ圓滑
ナル運轉ヲ阻止スル虞ガアルノデアリマス、
過去ニ於ケル統制經濟ノ運轉ニ於テ、幾多
ノ失敗ガアリマシタコトハ、政府ニ於テモ
之ヲ認メテ居ルノデアリマス、而シテ昨年
十二月七日、政府ガ發表致シマシタ經濟新
體制要綱ニ依リマスレバ、經濟團體ノ職能
ハ、政府ノ協力機關トシテ重要政策ノ立案
ニ對シ政府ニ協力スルト共ニ實施計畫ノ立
案及其ノ計畫實行ノ責任ヲ且必要アル場
合ニ於テハ政府ニ意見ヲ具申ス、ト斯ウア
リマシテ、民間經濟團體ハ、政府ノ立案ニ
モ參畫シマスルノミナラズ、實施計畫ノ立
案ニ任ズルノデアリマスルカラ、現狀ニ較
ベマスト劃期的ノ革改トナリマシテ、從來
ノ官營統制ヲ民營統制ニ移スコトニナルノ
デアリマスルガ、本保安法ガ實施サレルコ
トニナリマスルト、官僚ハ勢ヒ現狀以上ニ
秘密主義ヲ固守セザルヲ得ナイヤウニナル
ノデアリマスルカラ、政府ノ聲明サレマシ
タヤウナ經濟新體制ノ實施ハ、非常ニ困難
トナル虞ガアルノデアリマス、次ニ本法ハ
業務ニ因ルト否トヲ問ハズ、國家機密タル
コトヲ知ラナイデ犯シタ者ハ違反者トナラ
ナイノデアリマスルガ、併シナガラ漏洩シ
マシタ國家ノ損害ハ最早取返シガ付カナイ
ノデアリマス、次ニ第八條ハ、將來政治謀
略ノ具ニ供セラル、ノ虞ガ多分ニアルノデ
アリマシテ、情報其ノモノノ價值如何ヲ問
ハズ、國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供ス

ル目的ヲ以テスル者、又ハ其ノ用途ニ供セ
ラル、ノ虞アルコトヲ知ツテ、外國ニ通報ス
ル目的ヲ以テスル者ヲ處罰セムトスルノデ
アリマスルカラ、之ヲ誣告、中傷又ハ政治
謀略ノ具ニ惡用セラル、ノ虞ガ多分ニアル
ノデアリマシテ、其ノ影響ハ特ニ外國人トノ
交渉ノ多イ貿易商其ノ他ノ經濟人ニ取ツテ
最モ重大デアリマシテ、之ガ爲ニ徒ニ業者
ヲ萎縮セシメ、彼等ノ活動ヲ阻止スル虞ガ
アルノデアリマス、本法ノ實施ハ、只今述
ベマシタヤウナ重大ナル缺點ヲ包藏シテ居ル
ノデアリマシテ、一度此ノ運用ヲ誤リマス
ルニ於キマシテハ、傳家ノ寶刀ハ變ジテ魔
刀トナルノ虞ガ多分ニアルノデアリマスル
ガ故ニ、尙慎重審議ヲ重ネマシテ、適當ナル
修正ヲ施スベキモノト、一應ハ考ヘタノ
デアリマスルガ、特別委員會ニ於テノ數
次ノ秘密會ニ於キマシテ、政府委員カラ詳
細ニ述ベラレマシタル國家ノ極メテ切迫セ
ル國際事情ニ鑑ミマシテ、本案ノ急速成立
ヲ必要ト認メマスルガ、ソレニ付キマシテ
ハ若干ノ希望ヲ申述ベヨウト思ヒマス、第
一ニハ、只今司法大臣カラ言明セラレマシ
タル通り、官報、告示其ノ他ノ方法ニ依ツテ、
出來得ル限り國家機密ノ具體的範圍ヲ一般
國民ニ周知セシムルコトデアリマス、第二
ニハ、本法ガ將來荷モ政治謀略其ノ他ノ
不純ナル目的ニ惡用セラル、コトナカラシ
ムルガ如キ適切ナル方法ヲ講ズルコトデア
リマス、此ノ點ガ最モ重要デアリマシ
テ、政府委員ノ說明ニ依リマスルト、我が防
護警察ハ非常ニ發達シテ居ツテ、常ニ科學的
調査ニ基イテ行動ヲシテ居ルノデアリマス
カラ、此ノ種犯罪ニ關スル報告ヲ受ケマシ
テモ、平素ノ調査ニ照合シテ其ノ報告ノ正
否ヲ判斷スルコトガ出來ルノデアリ、假ニ
其ノ調査記録ニ載ツテ居ナイ新シイ人物ニ
付テ報告ガアツタトシテモ、直チニ檢舉ス
ルト云フヤウナコトハ斷ジテシナイ、又サ

ウスルコトハ却テ事件ノ抑壓上ニ不利ニ爲
アルノダ、デアルカラ明白ニ惡意ヲ以テ犯
シタコトガ認定セラレルノデナケレバ、決
シテ檢舉ヲシナイノダト云フ言明デアリマ
シタノデ、一應認承ハ致シマシタガ、過去
ニ於キマシテ、政黨華ヤカナル時代ニ於テ、
屢、破廉恥罪ガ政治謀略ノ具ニ供セラレマシ
タ實例ニ鑑ミマシテ、本法ガ絕對ニ惡用セ
ラレルコトノナイヤウニ、特ニ有效適切ナル
處置ヲ講ズルノ必要ガアルノデアリマス、
第三ニ、本法ノ實施ニ當リマシテ、檢察官
ニ司法警察官ノ職權濫用ニ關スル國民ノ不
安ヲ一掃スルガ爲ニ、檢察官ニ司法警察官
ノ職務執行ニ對スル監督制度ヲ確立シテ、
有效ナル監察機關ヲ設置スルコトデアリマ
ス、第四ニハ、二審制度ニ對スル國民ノ不
安ヲ一掃スルガ爲ニ、特ニ第一審ノ慎重ヲ要
スルコトハ勿論デアリマスルガ、司法大臣
ガ特別委員會ニ於テ言明サレタ通り、大
審院ニ於テ第一審ノ判決ヲ不當ト認メタル
場合ニハ、必ズ原裁判所ニ差戻シテ再審理
セシムルコトヲ履行スルコトデアリマス、
第五ニハ、私ハ嚴罰主義ニ依ツテ國家機密ノ漏
洩ヲ防止セムトシマスルヨリモ、一般國民
ニ防諜防共思想ノ普及徹底ヲ圖ルコトガ、
今日ノ急務デアリ、先決問題デアルト存ズ
ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、内
務大臣ハ、特別委員會ニ於テ私ノ質問ニ對
シマシテ、防諜、防共思想ノ普及徹底ハ、
或ハ教育ニ依リ、又ハ警防團ヲ通ジテ之ヲ
行フ旨御答ガアリマシタガ、一般國民ニ對
シテ、何ガ故ニ防諜防共ガ必要デアルカト
云フコトヲ、尙一層有效ナル方法ニ依ツテ宣
傳普及スルコトガ必要デアルノデアリマシ
テ、我が國ノ此ノ方面ニ於ケル施設ハ、ド
イツ等ニ較ベマシテ、著シク小規模デアリ
低級デアリマス、政府ハ本法施行ト共ニ、
特ニ此ノ方面ノ改善充實ヲ圖ツテ、知ラズ識
ラズノ中ニ大罪ヲ犯ス者ヲ絶滅スルヤウニ

努力セラレタイノデアリマス、第六ハ、戰術
發達ノ歴史、是ハ軍ノ戰術デアリマス、戰
術發達ノ歴史ハ、何時モ攻撃兵器ト防禦兵
器トノ競争ノ發達ニ外ナラナイノデアリマ
ス、一方ニ優秀ナ攻撃兵器ガ出來ルト、ソ
レニ應ズルガ爲ニ防禦兵器ガ出來ルト、
防禦兵器ガ出來ルト、又此ノ防禦兵器デハ
追ッ付カナイヤウナ攻撃兵器ガ生レテ來
ル、即チ攻撃、防禦兵器ノ發達競争ノ歴史
ニ外ナラナイノデアリマス、而シテ常ニ攻撃
兵器ノ發達ノ方ガ先行スルノ原則ト致シ
マス、何時モ攻撃兵器ノ方ガ勝ツノデス、
デアリマスルカラ、敵ノ攻撃兵器ニ對抗ス
ルガ爲ニハ、我レ亦攻撃兵器ヲ以テシナケレ
バナラナイコトハ戰術ノ鐵則デアリマス、ソレ
ト同ジヤウニ、敵性國家ノ諜報戰、宣傳戰、
謀略戰ニ對抗スルニハ、我レ亦諜報、宣傳、
謀略ノ秘密ヲ盡シテ戰フコトガ絕對ニ必要
デアリマシテ、本法ノ如キ、唯防禦手段ニ依
テ是等敵ノ戰術ヲ完全ニ封鎖スルコトハ不可
能デアルト信ズルノデアリマス、而シテ我が國ハ、
諜報戰術ニ於キマシテハ非常ニ發達シテ居
ルノデアリマスガ、宣傳戰術ニ至リマシテ
ハ、其ノ規模ニ於キマシテモ、將又其ノ
技術ニ於キマシテモ、列國ニ較ベテ著シク
遜色ノアリマスコトハ、政府ニ於テモ之ヲ
認メテ居ラレルノデアリマス、是ハ我が國
民性トシテ宣傳ガ下手ダ、斯ウ云フ風ニ諦
メルヤウナ態度ヲ執ルノハ大キナ誤デアリ
マシテ、政府ハ此ノ際速カニ宣傳機關ノ擴
充強化ヲ圖ラレタイト思フノデアリマス、
其ノ他、本法成立後ニ於ケル運用竝ニ將來
ニ於ケル改廢等ニ關シマシテ、只今司法大
臣カラ縷々述ベラレマシタル言明ニ私ハ信
賴致シマシテ、本法案ニ賛成スル者デアリ
マス

○議長(伯爵松平賴喜君) 是ニテ休憩ヲ致
シマス、午後一時ヨリ開會致シマス
午後零時六分休憩

午後一時二十三分開議
議長(伯爵松平賴壽) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、小山松吉君

〔小山松吉君演壇ニ登ル〕

○小山松吉君 昨ハ本案ニ賛成スル者デアリマスガ、本案ノ特別委員長長ニ伍堂君ヨリ御述ニナツタ如ク、本案ニハ種々ノ缺點トシテ指摘スベキモノガアルノデアリマシテ、衆議院ニ於テモ修正意見ガ出タヤウデアリマシテ、私モ此ノ法案ニ付テハ色々考ヘテ見、又修正スベキ案等モ内々考ヘタノデアリマスガ、結局修正ラセズシテ原案ノ儘デハ成立セシムル方ガ適當ダト思フテ居ルノデアリマス、伍堂君ノ御述ニナリマシタ缺點ニ付テハ重複ヲ避ケテ私ハ申述ベマセヌガ、私ノ考ヘマスル所デハ、本法案ハ國民ニ對シテ不安ノ感覺ヲ惹起サシテ居ルノデアリマス、本法案ハ保護シヨウトスル國家機密ト云フモノガドウ云フモノデアリカト云フコトハ、甚ダ明瞭ヲ缺クノデアリマス、次ニ本法ニ依ッテ捜査ヲ爲スベキ檢事、場合ニ依ッテハ司法警察官デアリマスガ、捜査上強制力ヲ持テ得ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、其ノ點ガ國民ニ不安ノ念ヲ惹起セシメタ譯デアリマス、加之、本法案ハ、國家機密ニ關係ノナキ事件デアリマシテモ、荷モ外國人ト通謀シ、又ハ外國ニ利益ヲ與ヘル目的ヲ以テ、軍機保護法其ノ他十六條ノ第二項ニ列記シテアリマスル殆ド枚舉ニ追アラザル程ノ犯罪ニ對シテ、矢張り強制力ヲ持テ得ルコトヲ許シタノデアリマス、右ノ如ク國家ノ機密ニ直接關係ナキ事件デモ、外國ニ通謀スルコト云フヤウナコトデアッテ、ソレニ強制力ヲ持テ得ルコトヲ許スト云フコトニ國民ガ不安ヲ感ズルト云フコトハ、是ハ無理モナイコトデアルト思フ、要スルニ本法案ハ、甚ダ失禮デアリマスガ、立法技術上甚ダ不手際ナ法律デアリマス、凡ソ政ヲ爲ス者ハ、申ス迄モナク刑罰法規

ニ對シテハ明快ナル規定ヲ置カナケレバナラスノデアリマシテ、如何ニ立法者ガ明快ナル規定ヲ置キマシテモ、解釋上種々ナ議論ノ起ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデアリマスカラ、本法案ニ付テハ、政府ハ甚ダ不手際ナ案ヲ御出シニナツタ言ハナケレバナラスノデアリマス、檢事ニ對シテ此ノ強制力ヲ用ヒルコトヲ廣ク許シマシテモ、其ノ檢事ノ取調ニ付テ、世人ガ毫モ不安ノ念ヲ懷カナイト云フナラバ、ソレハ宜シイノデアリマスカレドモ、從來ノ檢事ノ仕事ノ仕振りハサウデナイ、動モスレバ職務ノ範圍ヲ超脱シタリ、又ハ種々ノ問題ヲ起シタコトモアリマシテ、現今ノ檢事又ハ司法警察官ト云フモノハ、本法ヲ運用スルニ當ッテハ、適當ニ運用ガ出來ナイデアラウト云フコトヲ、國民ハ皆心配シテ居ルノデアリマス、世人ノ考ヲ通俗ニ申シマスレバ、武道ニ達セザル者ガ丁度村正ノ刀ヲ持ッタヤウナモノデ、心配デナラスト云フヤウニ申シテ居ルノデアリマス、併シ此ノ法案ラズツト讀ンデ見マスル、此ノ法案ノ成立シマス迄ニハ、數多ノ年月ガ掛ッテ居ルト承テ居リマス、サウシテ是非非常ナ時局上極メテ必要ナルモノデアルト云フコトモ疑ナイノデアリマス、デ法案其ノモノガ必要デアリ、缺クベカラザルモノデアルト云フナラバ、之ヲ運用スル官吏ガ甚ダ不安ナ事ヲシヤシナイカト云フコトヲ感ジマシテモ、本案其ノモノガ惡イトハ言ヘナイノデアリマスカラ、私ハ本法ニ對シテハ賛成ヲ致シマシテ、將來本案運用ニ當ッテ世人ノ不安ヲ除去スルコトニ、司法當局ニ一層ノ御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ガ本法運用ニ付テ憂慮致シマス所ハ二點デアリマス、第一點ハ、檢事ガ公訴提起前ニ於テ強制力ヲ用ヒルコトヲ得マスルガ爲ニ、若イ檢事ナドハ、得意ニナツテ自己ノ權力ヲ濫用スルコトガアリハシナイカト云フコトヲ惧レルノデアリマ

ス、現行刑事訴訟法ハ、御承知ノ通り公訴提起前ニ當ッテ、檢事ハ、原則トシテハ被告ノ人ニ對シテ強制力ヲ用ヒルコトガ出來ナイノデアリマス、強制力ハ唯判事ノミガ用ヒルコトニ法律ハ許シテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ法案ニ依リマスルト、檢事ガ必要ガアレバ何時デモ被疑者ヲ喚ビ出シ、訊問シ、サウシテ強制力ヲ使用スルコトガ出來ルト云フコトニナリマシタノデスカラ、詰リ檢事ハ公訴提起前ニ於テ判事ト同様ナ權力ヲ持ツコトニナツタノデアリマス、是ハ實ニマア檢事トシテハ廣大ナル權力ヲ持ッタノデアリマス、古イ言葉デ言ヘバ、殆ド生殺與奪ノ權ヲ持ッテ居ルト申シテモ差支ナイノデアリマス、サウシテ從來檢事ノ取扱ヒマシタ事柄ニ付テハ、御承知ノ通り度々問題ガ度々起ッテ居リマス、必ズシモ世人ノ言フ通りノ事實デハナイノデアリマスカレドモ、其ノ問題ノ起ッテ毎ニ、司法大臣ナリ歴代ノ檢事總長ハ、人權擁護ニ付テハ繰返シ、訓示シテ居ルノデアリマス、其ノ訓示ハ一向效能ガナイカノ如ク思ハレルノデアリマシテ、サウ云フ風ナ狀態デアリマス云フコト、此ノ法案施行ノ後モ、如何ニ司法大臣ガ適當ニ監督スル、運用ニ付テハ注意スルト仰シヤツデモ、國民ガ不安ノ念ヲ除去スルコトノ出來ナイノハ、私ハ無理モナイコトダト思フ、何カ檢事ニ對シ、從ッテ司法警察官ニ對シテ、特別ニ運用ニ付テ注意スルト云フヤウナル施設ヲナサルコトガ必要デハナイカト思フノデアリマス、是ガ第一點デアリマス、第二點ハ、近頃若イ檢事ノ間ニ、私カラ申シマスルト少シク忌ムベキ新シイ理論ヲ唱ヘル人ガアルノデアリマス、其ノ弊害ハ何レノ邊ニ波及スルカ分リマセヌガ、斯ウ云フ思想ヲ持ッテ居ル者ガアリマス云フコト、私ハ我が國ノ刑事訴訟ト云フモノガ、適當ニ行ハレルト云フコトガムツカシイノデハナイカト思フノデアリマス、是ハ

餘リ廣ク傳播シテ居ナイ理論デアリマスカラ、此ノ際此處ニ申上ゲテ司法大臣ノ御注意ヲ請ヒタイノデアリマス、現行刑事訴訟法ハ御承知ノ如ク檢事ノ原告官ノヤウナ立場ニ置キマシテ、被告人ハ民事訴訟法ノ被告人ト同ジヤウニ、被告人ト檢事ハ對等ノ地位ニ立ッテ居リマス、公訴ノ實行ニ付テハ、檢事ノ攻撃、被告ノ防禦、共ニ是ハ同等デアルト云フ建前デ、訴訟法デハ法律ヲ規定シテ居ルノデアリマス、取調ニ對シマシテハ、被告人ニ對シテハ丁寧深切ヲ旨トシ其ノ利益ト爲ルヘキ事實ヲ陳述スル機會ヲ與フベシト云フヤウナ、極メテ餘計ナヤウナ規定デアリマスガ、斯ウ云フ規定ヲ刑事訴訟法ハ新タニ置イタノデアリマス、處ガ斯ウ云フ風ナ現行刑事訴訟法ノ規定ヲ、若イ檢事ノ或者ハ、是ハ了解シ難イ規定デアアル、是ハドウ云フコトデサウ云フコトヲ申シマスカタ云フト、元來被告人ハ國家ノ秩序ヲ破ッテ害ヲ加ヘタ犯罪人デアアル、之ヲ取調スルニ當ッテ、民事訴訟法ノヤウナ形式ニ依ル必要ハナイ、所謂告ノ治罪ト云フ方法デ取調ベテ宜イノデアアル、檢事ノ原告トシ犯罪者ヲ被告人トシテ、對等ノ位置ニ置クト云フコトガ間違デ居ル、斯ウ云フコトヲ申スノデアリマシテ、丁度ハ昔ノ徳川時代、其ノ他外國ノ封建制度時代ニ於テノ形式ニ依ッテ治罪ノ手續ヲスル方ガ宜イト云フヤウナ說ナンデアリマス、要スルニ若イ人ノ意見デハ、國家ノ機關ヲ分ケテ、公訴提起ノ機關、裁判ヲスル機關ニ分ケルト云フノガ間違ッテ居ル、詰リ現今ノ訴訟手續ニ依リマス、檢事ハ國ヲ代表シテ原告官トナリ、被告人ノ犯罪ニ對シテハ、被告人ヲ犯罪者トシテ同等ノ地位ニ立ッテ居ルノデアリマシテ、判事ハ其ノ間ニ立ッテ公平ナ裁判ヲスルト云フ規定デアリマスガ、是ガイケナイト云フ議論デアリマス、是ハ御承知ノ通り現行刑事訴訟法ガ只今申シマシタヤウニナリ

マシタノハ、非常ニ研究ヲ重ネテ、斯ウ云フ規定ヲ置カケレバ、動モスレバ良民ヲシテ冤枉ニ泣カシメルコトガアラウト云フ所カラ出來タノデアリマスカラ、或ハ新シイ理論カラ申シタナラバ缺點ガアルカモ知レマセヌ、併シナガラ裁判ノ適正ヲ保ツ爲ニハ、是ハ日本ノミデヤアリマセヌ、外國デモ矢張り實際上ノ經驗カラ、訴訟ノ形式ヲ取ツテ裁判スルコトニナツタノデアリマス、若イ檢事ノ理論ハ、ドウ云フ所カラ斯ウ云フコトヲ主張スルカト申シマス、我ガ刑事訴訟法ハ、自由主義的、個人主義時代ノ遺物デアアル、檢事ト判事ト、國家ノ權力ヲ分散セシメテ、サウシテ檢事ト被告人トヲ訴訟法上同等ニ取扱フ、當事者トシテ相對峙セシメテ居ル、是ガ間違テ居ル、斯ウ云フ風ニ新理論トシテ主張スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、殊ニ只今申シマス裁判所、又ハ檢事モ同ジデアリマスガ、被告人ニ對シテハ丁寧深切ヲ旨トシテ其ノ利益ナルベキ事實ヲ陳述スル機會ヲ與フベシト云フノハ、法律ニ置ク必要ハナイ、コンナコトハ要ラナイ、又被告人ニ對シテハ、本當ノコトヲ述ベテ自白スベシト云フヤウナ規定モナイ、自白シヨウト自白シマイト被告人ノ勝手ゾ、是ハ自由主義的ナ理論デアッテ、是ハ間違テ居ル、斯ウ云フ風ニ申スノデアリマス、此ノ議論ノ根據ガアル、是ハ若イ檢事ガ自分デ發明シタノデモ何デモナイノデ、是ハ「ドイツ」ノ「ナチス」ガ斯ウ云フ議論ヲ唱ヘテ居ルノデアリマス、昭和十年ノ八月ニ、「ベルリン」ニ於テ第十一回ノ萬國國際刑法及監獄會議ガゴザイマシタガ、其ノ時分ニ司法省ノ當局者ガ配付シタ或書類ガアル、ソレガ「ドイツ」ノ刑事訴訟法ノ新理論デアリマシテ、其ノ理論ニ依リマス、從來ノ刑事訴訟法ノ理論ハ、理論ノミナラズ實際モ、檢事ト被告人ト對立的ニ鬭爭セシメタガ、是カラノ刑

事訴訟法ノ新理論ハ協同的デアアル、協同的デアアルカラシテ、被告人モ判事檢事ノ事實ノ眞實ヲ探究スルコトニ協力スル任務ガアル、斯ウ云フ至ッテ巧妙ナ議論デアリマス、ソレデアリマスカラ此ノ議論ニ依リマスト云フト、被告人ハ、判事ノ前又ハ檢事ノ前ヘ出タナラバ、矢張り其ノ裁判ヲスルコトニ協力シナケレバナラス、協力ト云フト、詰リ判事又ハ檢事ガ要求スル所ノ眞實ヲ言ヘ、簡單ニ申シマスレバ犯罪ヲ白狀シロ、自白シロト云フコトニナルノデアリマス、自白ヲシナイ眞實ヲ述べナイ被告人ハ、不當ナ者デアルト云フコトニナリマシテ、マア今日ノ言葉デ言ヘバ、臣道實踐ヲシナイ者ダト云フコトニ結論ヲ附ケテ居ルヤウデアリマス、是ハ如何ニモ巧妙ナ訴訟法理論デアリマスクレドモ、斯ウ云フコトハ何モ「ドイツ」ノ新シイ理論ニ依ッテ初メテ知ツタノデハナイノデアリマス、古イ徳川時代其ノ他ニ於テモ、現ニ江戸時代デハ、與力同心ナドガ人ヲ調ベル際ニ當ッテハ、御上ニ御手數ヲ掛ケテ相濟マスデハナイカ、早ク白狀シテ御上ノ御慈悲ヲ御願ヒシロト云フコトヲ申シテ居リマス、是ハ所謂協力ナシ、御上ニ協力シロト云フ理論デアリマス、併シナガラ一體被告人トシテ犯罪ヲスルヤウナ者、マア被告人デモサウ惡クナイ者ガアリマセウガ、兎ニ角國家ノ秩序ヲ破ッテ犯罪ヲスルヤウナ者ニ、判事檢事ニ協力シロト云フヤウナコトハ到底行ハレナイ説デアリマス、人情ヲ無視シタル所謂空論デアルト云ハナケレバナラスデアリマス、我ガ刑事訴訟法ハ、立法ノ際ニモ外國ノ立法モ參酌シ日本ノ淳風美俗ニ基ク幾多ノ有益ナ規定ヲ置イタノデアリマシテ、ソレガ「ドイツ」ノ訴訟法ニナイ、被告人ニ對シテハ丁寧深切ヲ旨トシ利益ノアルベキ事實ヲ陳述シロト云フコトヲ特ニ置イタノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ、今ノ若イ檢事ガ、間違テ居ルハ

新理論上マア舊體制デアアル、自由主義的ノ個人主義思想カラ採用シタ古キ思想デアアル、ト云フヤウナ風ニ唱ヘテ居ルノデアリマスガ、是ハ御注意ヲ請ヒタイと思フノデアリマス、此ノ説ヲ唱ヘテ居リマスノヲ、私ハ昨年ノ四月或刑法ノ雜誌デ見マシテ實ニ驚イタノデアリマス、其ノ刑法ノ雜誌ニ公然書イテ居リマス者ハ、司法省ノ刑事局ニ居ルノデアリマス、若イ……尤モ是ハ檢事ヲ永クシタ人デアリマスガ、若イ檢事ガ唯一箇ノ理論トシテ斯ウ云フコトヲ言フナラバ差支アリマセヌガ、司法省ノ刑事局ニ居ル役人ガ、斯ウ云フ新シイ主義ヲ述べテ、サウシテ被告人タルモノハ判事檢事ニ協力シテ、此ノ裁判ヲ執行ヲ完全ニシナケレバナラスト云フヤウナコトヲ述べマス、是ハ所謂自白ヲ強要スルコトデアアル、自白シナイノハ間違テ居ル、犯罪者ハ裁判所ヘ行ツタナラバ自白ヲシナケレバナラス、自白ヲシナケレバナラスト云フ建前ハ、拷問ヲシテモ宜イト云フコトニナル、拷問ガ適法ナリト云フ結論ガ出テ來ルノデアリマス、マルデ徳川時代ノ昔ニ還ルヤウナ説ヲ、新シイ「ドイツ」ノ理論ノ衣ヲ著セテ述べテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ人ガ起テテハ實ニ心配デナラスト私ハ思フ、時間ガ掛リマスカラ餘リ多クヲ申シマセヌガ、サウ云フ譯デ、私ハ憂慮ニ堪ヘナイ點ガ司法省ノ人ニモアルト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置クノデアリマス、今ヤ新體制ノ聲ノアル世ノ中デアリマシテ、官吏中ニモ下剋上ノ思想ヲ持ッテ居ル人ガ大分アルヤウデアリマス、官僚獨善、官僚ハ動モスレバ勢ヲ振フト言ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ時ニ當ッテ、本法案ガ通過シマシタ後、若シモ得意ニナツテ、若イ檢事ガ縦横ニ手腕ヲ揮フト云フコトニナリマシタナラバ、如何ナル弊害ガ生ズルカハ憂慮ニ堪ヘナイ所デアリマシテ、是ハ私ガ本法ノ運用ニ對シテ、殊

ニ司法當局ニ吳々モ御監督ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、唯私モ司法部ノコトハ少シク存ジテ居リマスガ、訓示ヲスルカ訓令ヲスルト云フダケノコトデハ、モウ到底今ノ若イ人々ハ、大臣ノ言フコトナドハ適當ニ遵奉シテ實行スルカドウカ分ラヌト思フノデアアル、ソレデアリマスカラ、何等カノ方法ヲ以テ、此ノ法案ヲ運用スルニ當ッテデアリマス、詰リ此ノ法案ハ最モ時局ニ必要ナル法律デアリマシテ、所謂傳家ノ寶刀デアリマス、伍堂君モ申サレタ如クニ、傳家ノ寶刀ハ之ヲ抜カナイデ其ノ效力ヲ發揮スルヤウニシタイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ法案ニ付テハ、兎ニ角司法省ノ態度如何ニ依ッテ、將來ハ國民ガ安心シテ居ルコトガ出來ヌノデアリマスカラ、度々申シマシテ失禮デアリマスガ、吳々モ御監督ヲ十分ニ御願ヒ致シタイと思フノデアリマス、私ハ此ノ希望ヲ述ベマシテ本案ニ賛成致シマス

〔次田大三郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 次田君ハ、ドウ云フコトデアリマス

○次田大三郎君 此ノ際、委員長ニ質疑ヲ致シタイコトガアルノデアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○次田大三郎君 簡單デアリマスカラ、此ノ席カラ發言スルコトヲ御許ヲ願ヒマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○次田大三郎君 先刻伍堂君ノ御演説ヲ拜聽致シマシタ處ガ、本案ハ非常ニ澤山ノ缺點ヲ持ッテ居ルモノデアアルガ、委員會ニ於テ、政府ヨリ緊迫セル國際情勢ニ付テ説明ガアツタ、之ヲ聽取シテ見レバ、色々ナル缺點ヲ修正シテ居ル間ガナイ、故ニ全面的ニ本案ニ賛成スルモノデアルト云フ一節ガ

アリマシタ、私ハ伍堂君同様、本案ハ色々ノ不完全ナル點ガアルト考ヘマシテ、之ヲ修正スルコトガ議員ノ職務デアルト確信致シマシテ、既ニ提出シテアリマス修正案ニ賛成ノ署名ヲ致シタ者デアリマス、併シナガラ、果シテ伍堂君ノ御話ノ如ク緊迫セル國際情勢ガアリマシテ、到底之ヲ修正シテ居ル間ガナイ程デアルト云フコトデアリマスレバ、私ハ是ハ再考シテ、矢張り修正ヲ加ヘナイデ、此ノ儘賛成スルコトガ適當デハナイカト云フコトヲ考ヘルニ至ツタノデアリマス、併シナガラ委員會ニ於テ、緊迫セル國際情勢ニ關シテ政府カラ御説明ガアツタ、而シテ是ハ非常ニ重大ナコトデアアル、伍堂君ノ御解釋ニ依レバ、此ノ案ヲ修正スル間ガナイ程ノモノダト云フコトニ付キマシテハ、委員長ヨリ御報告ガ何モナカッタ、秘密會ノコトデアリマスカラ、速記録ニ依ツテ承知スルコトガ出來ナイノデアリマス、併シ前申シマシタ通り、此ノ事ハ我々ノ態度ヲ決定スル上ニ於テ非常ニ重大ナル關係ガアルコトデアリマスカラ、甚ダ恐縮デアリマスガ、委員長ヨリ委員會ニ於テ果シテ斯クノ如キ御説明ガ政府カラアリマシタカドウカ、若シアリマシタナラバ、其ノ内容ニ付テ、出來ルダケ詳細ニ、必要ナラバ秘密會ヲ御開キ下サツテ御説明アラムコトヲ希望シマス

○伯爵林博太郎君 只今次田君ヨリ、今日ノ緊迫セル情勢デアツテ、修正ノ暇ガナイカラ此ノ儘可決スルノガ正當デアルト云フヤウナ意味ノコトハ、其ノ御言葉通りノ意味ヲ、強ク解釋シテ宜イカ、弱ク解釋シテ宜イカ存ジマセヌケレドモ、サウ云フ御考ノ方モ一二アツタラウト思フノデアリマス、併シナガラドウモ秘密會ノ問答ハ、大體ニ於テハ全貌ヲ御話スル譯ニハ行キマセヌ、政府ニ於キマシテハ今日ノ緊迫セル場合ト雖モ相當ニ練リニ練ツタノデアルカラ、原案ヲ支持スベキモノデアアル、ソコデ或特別委員ノ御方ガ、ドウモ缺點モアルヤウデアルケレドモ此ノ際ハ之ヲ可決スルノガ、緊迫セル情勢ニ微シマシテドウシテモ已ムヲ得ナイ、此ノ故ニ賛成スルコト云フ風ナ御方ガ一二アツタ次第デアリマス、其ノ他ノ御方ハ、サウ云フ風ノコトニ付テハ餘リ問答ガナカッタノデアリマスカラ、特別委員會ノ空氣ガドウダト云フヤウナコトハ、是ハ推測デアリマシテ、私ヨリ特別委員會ニアツタ經過トシテ之ヲ綜合的ニ御報告申上ゲルコトハ、責任上出來マセヌ次第デアリマス

○次田大三郎君 只今委員長ノ御話ハ、私ノ申上ゲマシタコトヲ少シ誤解サレタヤウデアリマスカラ、モウ一度申上ゲマス、今日ノ緊迫セル情勢ニ付テ、政府カラ説明ガ委員會ニ於テアツタ、ソレヲ聽イテ見ルトナカレ、修正ナドシテ居ル間ガナイ、ト云フノハ伍堂君ノ演説ノ中ニ御述ニナツタ所デアリマス、ソレデ私ガ何フノハ、果シテサウ云フ説明ヲ政府ガサレタノデアルカドウカ、サレタトスルナラバ、其ノ内容ヲ伺ヒタイ、何トナレバ其ノ内容如何ニ依ツテハ、我々ハ修正ヲ捨テテ全面的ニ本案ニ賛成スルコトニナルカモ知レナイ、問題ヲ決スル要點ニナルノデアリマスカラ、恐縮デアリマスガ、其ノコトノ御説明ヲ願ヒタイ、若シ必要ガアレバ秘密會ヲ開イテ御説明ニナレバ何モ差支ナイコトダト、サウ考ヘマシテ御願ヒシタ次第デアリマス

○伯爵林博太郎君 先程申上ゲマシタ……〔登壇ヲ願ヒマス、聽エマセヌ〕ト呼フ者アリ

先程申上ゲマシタ通り、此ノ問題ハ、極メテ重大ナル今日ノ緊迫セル情勢ニ於テ、ドウシテモ一日モ早ク是ハ實施シナケレバナラナイモノデアルト云フコトハ、是ハ秘密會ノミナラズ全般のノ説明ニ於テモ申サレ

マシタ、秘密會ニ於テ更ニソレヲ細カニ申シタト云フヤウナコトニ付キマシテハ、私ハ承ツテ居リマセヌ、モウ是ハ緊迫シテ居ル狀況ニ鑑ミト云フコトデ、其ノ點ハ大體特別委員ガ了解シテ居ツタコト私ハ存ジマス

○次田大三郎君 是デ宜シウゴザイマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 他ニ御發言モナイト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、小原君外五名ヨリ定規ノ賛成ヲ得テ修正案ガ提出サレマシタカラ、先ヅ以テ修正案ヲ議題ト致シマス、發議者ノ趣旨説明ヲ御許シシマス、松村義一君

〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス〕

國防保安法案ニ對スル修正案
右議院法第二十九條ニ依リ提出候也
昭和十六年二月二十六日
發議者
小原 直 下條 康麿
内田 重成 建部 遼吾
澤田 牛麿 松村 義一
贊成者
中川 健藏 河井 彌八
入江 貫一 岡 喜七郎

川村 竹治 塚本 清治
中村純九郎 橋本圭三郎
坂野鉄次郎 三浦 新七
川上 親晴 田所 美治
岡田 文次 次田大三郎
古島 一雄 菊池 恭三
米山 梅吉 三橋四郎次
多木久次郎 小坂 梅吉
松本勝太郎 佐々木八十八
岩田 雷造 塩田 圓平
片倉兼太郎 麻生 益良
出光 佐三 大西虎之助
大谷 五平 佐藤助九郎
中野 敏雄

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
〔小字ニテ修正〕

國防保安法案中左ノ通り修正ス
第一條 本法ニ於テ國家機密トハ國防上外國ニ對シ秘密スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル重要ナル國務ニ係ル事項ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ及之ヲ表示スル圖書物件ヲ謂フ
前項ノ事項及圖書物件ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
御前會議、秘密院會議、閣議又ハ之ニ準ズベキ會議ニ付セラレタル事項及其ノ會議ノ議事
二 帝國議會ノ秘密會議ニ付セラレタル事項及其ノ會議ノ議事
三 前二號ノ會議ニ付スル爲準備シタル事項其ノ他行政各部ノ重要ナル機密事項
第八條 國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供スル目的ヲ以テ又ハ其ノ用途ニ供セラルル虞アルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル情報ヲ探知シ又ハ收集シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス
第十六條 本章ノ規定ハ左ニ掲グル罪ニ

關スル事件ニ付之ヲ適用ス

一 第三條乃至第十三條ノ罪

二 軍機保護法第二條乃至第七條及此

等ニ關スル第十五條乃至第十七條、

軍用資源秘密保護法第十一條乃至第

十五條、第十九條、刑法第二編第三

章、陸軍刑法第二十七條乃至第二十

九條及此等ニ關スル第三十一條、第

三十二條、第三十四條、海軍刑法第

二十二條乃至第二十四條及此等ニ關

スル第二十六條、第二十七條、第二十九

條並ニ國家總動員法第四十四條ノ罪

本章ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ

利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル左

掲グル罪ニ關スル事件ニ付亦之ヲ適用

ス

軍機保護法(前項第二號ニ掲グル罪

ヲ除ク)、軍用資源秘密保護法(前項

第二號ニ掲グル罪ヲ除ク)、要塞地帶

法、陸軍輸送港域軍事取締法、明治

二十三年法律第八十三號(軍港要港

規則違犯者處分ノ件)、軍用電氣通信

法、國境取締法、刑法第二編第一章、

第二章、第四章、第八章乃至第十一

章、第十五章乃至第十八章、第二十

六章、第二十七章及第四十章、朝鮮

刑事令第三條、陸軍刑法第二編第一

章(前項第二號ニ掲グル罪ヲ除ク)、

第八章及第九十九條、海軍刑法第二

編第一章(前項第二號ニ掲グル罪ヲ

除ク)、第八章及第一百條、治安維持法、

大正十五年法律第六十號(暴力行為

等處罰ニ關スル法律)、爆發物取締罰

則、匪徒刑罰令(明治三十一年律令

第二十四號)、不穩文書臨時取締法、

通貨及證券模造取締法、通貨及證券

模造取締規則(明治三十六年律令第

十四號)、明治三十八年法律第六十六

號(外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀

行券證券偽造變造及模造ニ關スル法

律)、治安警察法、大正八年制令第七

號(政治ニ關スル犯罪處罰ノ件)、外

國爲替管理法、關稅法、昭和十二年

法律第九十二號(輸出入品等ニ關ス

ル臨時措置ニ關スル法律)、船舶法、

航空法、電信法、無線電信法並ニ國

家總動員法(前項第二號ニ掲グル罪

ヲ除ク)ノ罪

第十九條 勾引シタル被疑者ハ指定セラ
レタル場所ニ引致シタル時ヨリ四十八
時間内ニ檢事又ハ司法警察官之ヲ訊問
スベシ其ノ時間内ニ勾留狀ヲ發セザル
トキハ檢事ハ被疑者ヲ釋放シ又ハ司法
警察官ヲシテ之ヲ釋放セシムベシ

第二十條 刑事訴訟法第八十七條第一項
各號ニ規定スル事由アルトキハ檢事ハ
被疑者ヲ勾留シ又ハ其ノ勾留ヲ司法警
察官ニ命令スルコトヲ得

第十七條第二項ノ規定ハ檢事ノ命令ニ
因リ司法警察官ノ發スル勾留狀ニ付之
ヲ準用ス

第二十二條 勾留ノ期間ハ二月トス特ニ
繼續ノ必要アルトキハ區裁判所檢事ハ
檢事正ノ許可、地方裁判所檢事ハ檢事
長ノ許可ヲ受ケ一月毎ニ之ヲ更新スル
コトヲ得但シ通ジテ四月ヲ超ユルコト
ヲ得ズ

治安維持法ノ罪ニ付特ニ繼續ノ必要アル
トキハ檢事長ノ許可ヲ受ケ一月毎ニ
勾留ノ期間ヲ更新スルコトヲ得但シ通
ジテ一年ヲ超ユルコトヲ得ズ

檢事總長又ハ其ノ指揮ヲ受ケタル檢事

刑法第七十三條、第七十五條又ハ第七
十七條乃至第七十九條ノ罪ノ捜査ノ爲
ニ繼續ノ必要アルトキハ一月毎ニ勾
留ノ期間ヲ更新スルコトヲ得但シ通ジ
テ六月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十三條 勾留ノ事由消滅シ其ノ他勾
留ヲ繼續スルノ必要ナシト思料スルト
キハ檢事ハ速ニ被疑者ヲ釋放シ又ハ司
法警察官ヲシテ之ヲ釋放セシムベシ

第二十五條 檢事ハ被疑者ヲ訊問シ又ハ
其ノ訊問ヲ司法警察官ニ命令スルコト
ヲ得

檢事ハ公訴提起前ニ限リ證人ヲ訊問シ
又ハ其ノ訊問ヲ他ノ檢事ニ囑託シ若ハ
司法警察官ニ命令スルコトヲ得

司法警察官檢事ノ命令ニ因リ被疑者又
ハ證人ヲ訊問シタルトキハ命令ヲ爲シ
タル檢事ノ職、氏名及其ノ命令ニ因リ訊
問シタル旨ヲ訊問調書ニ記載スベシ

第十七條第二項及第三項ノ規定ハ證人
訊問ニ付之ヲ準用ス

第三十三條 第十六條第一項ニ掲グル罪
又ハ外國ト通謀シ若ハ外國ニ利益ヲ與
フル目的ヲ以テ同條第二項ニ掲グル罪
ヲ犯シタルモノト認メタル第一審ノ判
決ニ對シテハ控訴ヲ爲スコトヲ得ズ

前項ニ規定スル第一審ノ判決ニ對シテ
ハ直接上告ヲ爲スコトヲ得

上告ハ刑事訴訟法ニ於テ第二審ノ判決
ニ對シ上告ヲ爲スコトヲ得ル理由アル
場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

上告裁判所ハ第二審ノ判決ニ對スル上
告事件ニ關スル手續ニ依リ裁判ヲ爲ス
ベシ

第三十四條 裁判所ハ外國ト通謀シ又ハ
外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ第十六
條第二項ニ掲グル罪ヲ犯シタルモノト
認メタルトキハ其ノ旨ヲ判決ニ據示ス
ベシ

前項ノ摘示ヲ爲シタル第一審判決ニ對
シ上告アリタル場合ニ於テ上告裁判所
外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル
目的ヲ以テ犯シタルモノノ非ザルコト
ヲ疑フニ足ルベキ顯著ナル事由アルニ
ト認ムルトキハ判決ヲ以テ原判決ヲ
破毀シ事件ヲ管轄控訴裁判所ニ移送ス
ベシ

第十六條ニ掲グル罪ヲ犯シタルモノト
認メタル第一審判決ニ對シ上告アリタ
ル場合ニ於テ上告裁判所同條ニ掲グル
罪ヲ犯シタルモノノ非ザルコトヲ疑フ
ニ足ルベキ顯著ナル事由アルモノト認
ムルトキ亦前項ニ同ジ

第三十五條 上告裁判所ハ公判期日ノ通
知ニ付テハ刑事訴訟法第四百二十二條
第一項ノ期間ニ依ラザルコトヲ得

第三十六條 裁判所ハ本章ノ規定ノ適用ヲ受クル罪ニ關スル訴訟ニ付テハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラズ速ニ其ノ裁判ヲ爲スベシ

第三十七條 第十六條ニ規定スル罪ニ該ル事件(陪審法第四條ニ規定スルモノヲ除ク)ハ之ヲ陪審ノ評議ニ付セズ

第三十八條 刑事手續ニ付テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一般ノ規定ノ適用アルモノトス

第三十九條 本章ノ規定ハ第二十一條、第二十二條、第二十八條、第二十九條、第三十條第一項、第三十三條、第三十四條及第三十七條ノ規定ヲ除クノ外軍法會議ノ刑事手續ニ付テハ適用ス此ノ場合ニ於テ刑事訴訟法第八十七條第一項トアルハ陸軍軍法會議法第四百三十三條又ハ海軍軍法會議法第四百三十三條、刑事訴訟法第四百二十二條第一項トアルハ陸軍軍法會議法第四百四十四條第一項又ハ海軍軍法會議法第四百四十六條第一項トシ第二十四條第二項中刑事訴訟法第四百十九條第一項ニ規定スル事由アル場合ニ於テハトアルハ何時ニテモトス

第四十條 朝鮮及臺灣ニ在リテハ本章ニ掲グル法律ハ制令又ハ律令ニ於テ依ル場合ヲ含ム

朝鮮ニ在リテハ第二十二條第三項中刑法第七十三條、第七十五條又ハ第七十七條乃至第七十九條トアルハ刑法第七十三條、第七十五條若ハ第七十七條乃至第七十九條又ハ朝鮮刑事令第三條トシ第三十五條中刑事訴訟法第四百二十

二條第一項トアルハ朝鮮刑事令第三十一條トス

朝鮮ニ在リテハ本章中司法大臣トアルハ朝鮮總督、檢察總長トアルハ高等法院檢察長、檢察正トアルハ

臺灣ニ在リテハ本章中司法大臣トアルハ臺灣總督、檢察總長又ハ檢察正トアルハ高等法院檢察官、檢察正トアルハ地方法院檢察官、地方裁判所檢察官又ハ區裁判所檢察官トアルハ地方法院檢察官トアルハ地方法院支那檢察官、檢察正トアルハ檢察官、豫審判事トアルハ豫審判官トス

○松村義一君 修正案ノ趣旨ヲ辯明致シマス、修正ハ多數ノ簡便ニ互ツテ居リマスルガ、要點ハ五項目デゴザリマス、其ノ他ハ五項目修正ノ結果ヨリ來ルモノデゴザリマシテ、要點ハ只今申上ゲマスルヤウニ五項目ヲ出デスノデゴザリマス、而シテ其ノ内容ハ、特別委員會ニ於キマシテ提出致サレマシタ修正案ト全ク同様デゴザリマス、先程委員長ノ御報告ニ依リマスレバ、修正ノ點ハ六ツデアルト云フ御説明デゴザリマシタガ、是ハ觀察ノ仕様デ或ハ六ツニナリ或ハ五ツニモ考ヘラレルノデゴザリマスルガ、私ハ五ツトシテ觀察致シマシテ申述ベルノデゴザリマス、即チ第一ハ、法案第一條ノ機密ノ範圍ガ極メテ明確デ缺キマスルカラ、之ヲ明確ニ致シタイト云フコトガ第一、第二ハ、第八條ノ規定ガ又明確デ缺キマスルガ故ニ、之ヲ明確ニ致シタイト云フコトデゴザリマス、第三ハ、第十六條ノ二項ヲ削除スルト云フコトデゴザリマス、第四ハ十九條以下ニ於キマシテ修正デゴザ

リマスルガ、檢察官ニ司法警察官ニ強制力ヲ與ヘテ居ルノデゴザリマスルガ、其ノ中デ司法警察官ノ勾留ノコトト、證人、被疑者ノ訊問ノコトト、其ノ二ツヲ取りタイト云フコトデゴザリマス、第五ハ、三十三條ニ關係ヲ致シマシテ、二審制度ヲ廢シテ普通ノ原則ニ依リマシテ三審制度ニ復シタイト、斯ウ云フコトデゴザリマシテ、其ノ他ハ以上ノ項目ヲ修正致シマスル結果ニ出ヅルモノデゴザリマス、先程委員長カラモ述べラレマシタヤウニ、本法案ガ現時ノ時局ニ鑑ミマシテ必要ナモノデアルト云フコトハ、委員會ニ於キマシテモ全部左様ニ考ヘラレタノデゴザリマス、而シテ私共モデス、私共此ノ修正ノ討論ヲ出シタ者モ、贊成ヲサレタ御方々モ、學ッテ此ノ法案ガ現時ノ時局ニ鑑ミテ必要デアルト云フコトヲ痛感致シテ居ルノデゴザリマス、或ハ政府ノ提出ガ其ノ遲カリシヲ憾ムト云フヤウナ感スラ致スノデゴザリマス、併シナガラ各條ノ條文ヲ能ク讀ンデ見マスルト、條文全體ヲ見マシテ練熟セラレテ居ラスノデゴザリマス、推蔽ガ足ラスノデゴザリマス、政府提出ノ法案ニシテ是程練熟セラレナイ法案ハ極メテ稀デアラウト私ハ考ヘルノデゴザリマス、少クトモ私ノ短キ經驗ニ依ッテ考ヘマスルト、私自身ハ政府提出ノ法案ニシテ斯クノ如ク不完全ナル法案ハ未ダ會テ見タコトハゴザリマセス、之ガ爲ニ此ノ法案其ノ儘成立致シマスナラバ、國民ノ不安ヲ招クコト極メテ大ナリト申サナレバナリマセス、即チ之ヲ譬ヘテ申シマスナラバ、此處ニ劇藥ガゴザリマス、其ノ劇藥ハ今日ノ場合ニ於キマシテ飲マナケレバナラスモノデゴザリマス、健康ヲ保持スル上ニ於キマシテ飲マナケレバナラスモノデゴザリマス、其ノ藥ハ副作用ガ極メテ多イノデゴザリマス、從ッテ其ノ副作用ノ爲ニ、其ノ結果更ニ改メテ他ノ點ニ於テ身體ノ障害ヲ

來ス處ガアルヤウナモノデゴザリマス、從ッテ私共ハ其ノ副作用ヲ除却シテ、即チ一般ノ不安ヲ去リマシテ、サウシテ之ヲ純化致シマシテ、サウシテ不安ヲ除キタイト云フコトヲ切願致スノデゴザリマス、私共ノ修正ハ斷ジテ法案ノ目的ヲ阻害スルモノデハゴザリマセス、法案ヲ讀スモノデハゴザリマセス、政府ニ協力ヲ致シマシテ、此ノ法案ヲ純化致シマシテ、サウシテ立派ナモノニシテ成立セシメタイト云フ念願ニ外ナラスノデゴザリマス、以下各項目ニ互リマシテ大體ノ御説明ヲ致シマス、委員長カラモ詳シク御報告ガアリマシタカラ、成ルベク各項目ノ説明ハ簡單ニ致シタイト思フノデゴザリマスルガ、暫ク時間ヲ要スルノデゴザリマスルカラ、其ノ邊ハ御諒察ヲ御願ヒ申上ゲマス、先ヅ第一條ノコトデゴザリマス、第一條ハ國防上外國ニ對シテ秘匿スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル重要ナル國務ニ係ル事項ノ機密ヲ保護致シテ居ルノデゴザリマス、而シテ各種ノ重要ナル會議ニ付セラレタル事項ノ外、其ノ會議ニ於キマシテ準備セラレタル事項、其ノ他行政各部ノ重要ナル機密事項トナツテ居リマスルガ故ニ、其ノ範圍ハ極メテ廣汎デゴザリマス、政府ハ高度ノ機密性ヲ有スル特別ノ極ク僅カナモノニ指定ヲシタイト云フ御考ノヤウデゴザリマスレドモ、只今申上ゲマシタヤウニ、行政各部ノ重要ナル機密事項ト云フコトデゴザリマスルノミナラス、外交、財政、經濟其ノ他ニ關スルトゴザリマスルガ故ニ、其ノ範圍ハ極メテ廣イト申サナレバナラスノデゴザリマス、而シテ其ノ機密ノ事項ガ何デアルカト云フコトニ付キマシテハ、何等示ス所ガナイノデゴザリマスルカラ、茲ニ國民ノ非常ナ不安ヲ生ズルノデゴザリマス、先程カラモ政府當局カラ御説明ニナリマシタヤウニ、主トシテ業務上

之ニ關係シテ居ル者ニ付テハ、ソレハ指定ヲサレテ居ルノデアルカ能ク分ル、而シテ此ノ法案ハ、主トシテ業務上ノ關係者ニ付テアルカラ、國民全般ノ不安ハ少カラウト云フヤウナ意味ノ御話モゴザリマシタ、併シナガラ、第五條ニ於キマシテハ、偶然ハ機會ニ依リマシテ、國家機密ヲ知得シ或ハ領有シタル者ガ、之ヲ外國ニ漏洩スルカ、或ハ公ニ致シマスルキニハ、其ノ罪ニ問ハレルノデゴザリマスルカラ、矢張り國民全體ノ不安ガ茲ニ來ルト申サナケレバナラヌノデゴザリマス、而シテ業務ニ關係ヲシテ居ラル、方ハ、惡意ナクウツカリト其ノ事ヲ申サル、コトガナイトモ限ラス、又本法案ニモゴザリマスルヤウニ、第七條ニ於キマシテ、過失ニ因リテ漏ラサル、場合モ想像サレテ居ラル、ノデゴザリマスルカラ、之ヲ偶然ノ機會ニ於テ知リマシタ者ハ、矢張り此ノ機密ヲ嚴守スルト云フコトニ付キマシテ、取締ヲ受ケナケレバナラスノデゴザリマス、左様ナ次第デゴザリマシテ、而モ之ニ對スル罪ハ極メテ重大デゴザリマス、罪ハ重大デゴザリマスルノミナラズ、恰モ外國ノ間諜ヲ致シタヤウナ行爲ト見ラル、ノデゴザリマスルガ故ニ、其ノ行爲ハ單リ本人ガ責任ヲ負ハナケレバナラスベカリデナク、實際ニ於キマシテハ、其ノ被疑者ノ家族子孫ニ至ル迄モ、世間ニ顔向ケノ出來ヌヤウナ狀態ヲ來スノデゴザリマス、ソレガ善意ニシテ、知ラズシテ此ノ罪ニ觸レルト云フコトガザリマスルコト云フコトハ、是ハ私ハ誠ニ遺憾千萬ト申サナケレバナラヌト思フノデゴザリマス、又機密ノ事項ガ分リマセヌガ爲ニ、知ラズシテ之ヲ漏ス者ガアルト云フコトニ相成リマス云フト、折角政府ガ機密ヲ保タムトシテ却テ機密ヲ保チ得ザルヤウナ結果ヲ生ズルコトモアラウト思フノデゴザリマス、若モ機密ノ範圍ガスツカリ確定致シテ居リマスルナラバ、之

ニ觸レテハナラスト云フコトヲ十分ニ警戒致シマスルガ故ニ、ソコニ機密ガ確保サレシムルノデゴザリマスルガ、知ラザルガ爲ニ遂ニ機密ガ漏レルト云フ虞モ却テ生ズルノデハナイカト思フノデゴザリマス、ノミナラズ機密ノ範圍ガ決テ居リマセヌガ爲ニ、世間ノ人ハ斯ウ云フコトハ或ハ機密デヤアルマイカト斯ウ考ヘマシテ、實際ハ機密ニ互ラザル事項迄モ之ヲ發表スルコトガ出來ナイ、非常ニ恐怖ニ襲ハル、ノデゴザリマス、何事ヲ申スニ付キマシテモ戰々兢々トシテ非常ナ不安ヲ來スノデゴザリマス、今日重大時局ニ際シマシテハ、色々世間ノ事情ガゴザリマセウ、是等ノ事情ヲ能ク述ベテ、政府ニモ懇ヘ、國民ニモ懇ヘルコトガ、極メテ必要デアルノデゴザリマスルガ、ソレ等ノ懇ヘナケレバナラス必要ナ事項迄モ差控ヘナケレバナラス、斯ウ云フ狀態ヲ來スノデゴザリマス、斯様ナ次第デゴザリマスルノデ、此ノ機密ノ事項ハ、如何ナルコトガ其ノ事項ニ當ルカト云フコトヲ大體決メテ載カケレバナラス、斯ウ考ヘルノデゴザリマス、先程委員長ノ御報告ノヤウニ、政府ハ昨日討論ニ入ル前ニ當リマシテ、機密ノ事項ハ官報ヲ以テ公示スル、斯ウ云フコトヲ言明セラレマシタ、此ノ言明ハ私共ノ不安ヲ去ルト云フコトニ付キマシテ、一段ノ改善ヲ見タノデゴザリマスルガ、政府ガ公示スルコト云フナラバ、何故ニ之ヲ公示スルコト云フコトヲ要件トサレナイノデゴザリマセウカ、斯クノ如キ重大ナル事項ハ、公示スルコト云フコトヲ要件トシナケレバナラス、即チ私共ハ、此ノ修正案ニ書イテ居リマスルヤウニ、「命令ヲ以テ之ヲ定ム」、斯ウ云フコトニ致シマスルコトガ、極メテ國民ノ本當ノ安心ヲ得ル所、以テナケレバナラスト思フノデゴザリマス、而シテ此ノ修正案ノ書キ方ハ從來既ニ發布サレテ居リマスル軍機保護法ノ規定ニ大體

準ジタモノデゴザリマス、軍機保護法ニ於キマシテモ、軍用資源秘密保護法ニ於キマシテモ、矢張り斯クノ如キ規定ガアルノデゴザリマス、尙此ノ書キ方ハ「御前會議、樞密院會議、閣議又ハ之ニ準ズベキ會議ニ付セラレタル事項」ト云フコトガ書イテアリ、「帝國議會ノ秘密會議ニ付セラレタル事項」ト云フコトガ書イテアリ、又「行政各部ノ重要ナル機密事項」ト書イテゴザリマシテ、此ノ法案ヲ見マスルト、我が此ノ立派ナル帝國ニ於キマシテ、國家ノ重臣、或ハ立法、豫算、行政各部ノ主ナル役人ガ、恰モ間諜ノ如ク國家ノ機密ヲ漏ス虞ガアルノデアルト云フガ如キ觀ヲ示スノデゴザリマス、我が國ニ於キマシテハ斷ジテ私ハ左様ナコトハナイト考ヘルノデゴザリマスガ、此ノ法案ノ體裁ヲ見マスルト、如何ニモ我が帝國ニ於キマシテハ、立派ナル所ニ居ル立派ナル役人ニ、立派ナル帝國議會ノ議員ニ、惡イ人間ガ居ルノデアルト云フガ如キ感ヲ與ヘマスルコト云フコトハ、國家ノ恥辱ト申サナケレバナリマセウ、而シテ斯クノ如キ感ヲ與ヘマスルコトハ、國民全般ニ對シテ、是等ノ重要ナル官吏ニ對シテ不信ヲ招カセルヤウナ傾向ヲ生ズルコトノ虞ガナイトモ限ラナイノデゴザリマス、斯ウ云フ拙劣ナル書キ方ハ之ヲ排除シテ、先程申シマシタ修正ノヤウニ致シタイト思フノデゴザリマス、而モ是ハ、單純ニ斯ウ云フ會議ニ付セラレタコト云フ形式ダケヲ示スコトデゴザリマシテ、如何ナル事項ガ此ノ會議ニ付セラレタコト云フコトハ固ヨリ是デハ分ラナイノデゴザリマスルカラ、斯クノ如キコトヲ書キマシテモ、何ノ役ニモ立タナイノデゴザリマス、何等ノ益ナク、而シテ其ノ害ヤ恐レベキモノガアルト考ヘルノデゴザリマス、故ニ此ノ點ヲ削除シタイト思フノデゴザリマス、其ノ次ハ第八條ノ修正デゴザリマス、色々政府ノ説

明ヲ伺ヒマシテ、第八條ノ如キ規定ガ必要デアルト云フコトヲ能ク私共ハ了解ガ出來タノデゴザリマス、併シナガラ此ノ書キ方ヲ見マスルト、「外交、財政、經濟其ノ他ニ關係スル情報ヲ探知シ又ハ收集シタル者ヲ罰スルノデゴザリマス、情報ト申シマスルト、街モ事實ノ報道デゴザリマスル以上總テ情報デゴザリマス、何デモ彼デモアルノデゴザリマス、斯クノ如キ情報ガ相集リマシテ、之ヲ上手ニ綜合致シマスルコト云フト、遂ニハ國家ノ機密ヲ漏ス虞ガアルト云フ意味ヲ以テマシテ、斯クノ如キ規定ヲ設ケル必要ガアルノデゴザリマスルガ、其ノ目的ニ付テ考ヘテ見マスルト、「國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供スル目的ヲ以テ」トゴザリマスルノハ、必ズシモ外國ニ通報スル目的ガナクテモ、矢張り左様ナ目的ガアレバ此ノ法案ニ該當スルノデゴザリマス、而シテ私共政治ニ關係ヲ致シマスル者モ、又色々實業ニ關係ヲスル人達モ、其ノ仕事ヲ致シマスル必要上、色々情報ヲ集メルノデゴザリマス、固ヨリソレハ良イ目的ノ爲ニ集メルノデゴザリマスルガ、ソレガ、場合ニ依リマスルコト云フト、斯クノ如キ疑ヲ以テ取調ベラレルト云フヤウナ虞ガナイトハ限リマセヌ、又外國トノ貿易ニ從事シテ居ラル、人達ハ、其ノ仕事ヲ遂行致シマスル關係カラ、色々情報ヲ集メナケレバナラスノデアラウト思フノデゴザリマス、是ハ先程色々御演説ノ時述ベラレマシタ通りデゴザリマス、處ガ後段ノ目的ヲ見マスルト、國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供セラル、虞アルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ、「虞アルコトヲ知リテ」ト云フコトデゴザリマスルカラ、是ハ非常ニ微妙ナ問題ニナッテ參ルト思フノデゴザリマス、從ッテ是等通商ニ關係ヲ致シマスル人達ガ、情報ヲ集メマスル場合ニ於キマシテ、此ノ法案ノ此ノ八條ニ當ルト云フヤウナ疑ヲ持タル、ヤウナ場合ハ、決シテ少ク

ナイト思フゾゴザリマス、斯クノ如ク條文ノ書キ方ガ餘リ網ヲ擴ゲ過ギルヤウナ狀態デゴザリマスルガ故ニ、之ヲモウ少シ明確ニシタイト云フ意味ヲ以テマシテ、「國防上ノ利益ヲ害スベキ用途ニ供スルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ」、斯ウ明確ニ致シタイ、サウシテ其ノ不安ヲ除キタイ、斯様ニ考ヘルゾゴザリマス、其ノ次第第三デゴザリマス……第三ノコトヲ申上ゲマス前ニ、第二ノコトニ付キマシテ尙附加ヘテ申上ゲマス、此ノ規定ノ不安ヲ去ルガ爲ニ、當局ハ、先程モ本議場ニ於テ述ベラレタノデゴザリマスガ、委員會ニ於キマシテモ、サウ云フコトハ嚴ニ戒慎ヲスル、嚴ニ戒慎ヲスル、又通商ノ妨ゲノナイコトヲ期スルト云フコトヲ申サレマシタ、是ハ誠ニ必要ナコトデアルト思フゾゴザリマスルガ、當局ガ如何ニ戒慎ヲサレマシテモ、又通商ニ妨ゲナイコトヲ期セヨウト考ヘラレテモ、荷モ斯クノ如キ茫漠タル法案ガゴザリマスル以上ハ、一般國民ト致シマシテハ非常ナ不安ヲ招クゾゴザリマス、其ノ不安ガ即チ幾多ノ行動ヲ掣肘セラレ、又貿易ヲ阻害スル虞ガアルゾゴザリマス、今日此ノ時局ニ於キマシテ、一層貿易ヲ振興シナケレバナラスト云フ時代ニ於キマシテ、其ノ業者ニ對シテ不安ヲ與ヘ、而シテ貿易ヲ萎縮セシムルガ如キコトアリマシタナラバ、是ハ其ノ害大ナリト申サナケレバナラヌゾゴザリマス、決シテ當局ノ御心掛、運用ノ方針ト云フコトデ、決シテ不安ヲ去ルコトハ出来ヌゾゴザリマス、法律ガ苟モ嚴トシテ存スル以上ハ、斯クノ如キコトハ出来ヌゾゴザリマス、人ハ自ラ不安ヲ生ゼザルヲ得ヌゾゴザリマス、第三、十六條ノ第二項ヲ削除シタイノデゴザリマス、即チ第十六條ハ、本法案ニ於キマシテハ先程カラ度々此ノ議場デ述ベラレマシタヤウニ、檢事並ニ司法警察官ニ強制力ヲ認

メテ居リマス、又三審制度ヲ二審制度ニ改メテ居リマス、又辯護士ノ選定ニ付テモ制限ヲ設ケラレテ居リマス、是等ノ事柄ニ付キマシテ、本法案ノミナラズ多數ノ法案ニ適用セムトシテ居ルゾゴザリマス、而シテ此ノ第二項ハ「本章ノ規定ハ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ」云云ト書イテゴザリマス、而シテ此ノ外國ト云フ文字ハ、法案第三條ニゴザリマスルヤウニ、「外國ノ爲ニ行動スル者及外國人」、善良デアラウガ何デアラウガ、荷モ外國人ト云フコトヲ包含スルゾゴザリマス、而シテ其ノ政府ノ目的トセラレマスル所、惡性ノモノヲ取締ルト云フコトニアルゾデアラウト思フゾゴザリマスルガ、此ノ書キ方ガゴザリマスルト荷モ外國ト通謀スル、荷モ外國ニ利益ヲ與フル目的デ是等ノ罪ヲ犯シマシタナラバ、必ズ是ガ適用サル、ゾゴザリマス、極メテ廣キニ互ルト思フゾデアラレテ居リマス條項ハ、極メテ各法律ニ互テ多イゾゴザリマス、多イ爲ニ、何故ニ是等ノ條項ガ之ニ掲ゲラレタカト云フコトニ付キマシテハ私共ドウモ分リマセヌゾデアレタカト云フゾゴザリマス、多イ爲ニ、何故ニ是等ノ委員會ニ於キマシテモ質問應答ヲ繰返シタゾゴザリマスルガ、ドウモ其ノ説明ハ私共ヲ領得サスコトガ出来ナイゾゴザリマス、唯政府ノ説明ハ、是等ノ罪必ズシモ全部重イトハ行カヌゾデアレタカト云フ、ソレガ外國ト通謀スルカ、外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テヤレバ惡イゾデアラカラ、從テ是等ノ條文ヲ掲ゲタノダ、斯ウ云フ御話デアアルゾゴザリマス、何ガ故ニ是等ノ條文ダケヲ取上ゲタカト云フコトニ付テノ説明ハナインゾゴザリマス、而シテ私共が見マシテモ、是等ノ條文ヲ取上ゲル程ナラバ、他ニモ澤山取上ゲナケレバナラヌモノガアリハセヌカ、斯様ニ思ハル、ゾゴザリマス、是ハ私澤山ノ例ヲ持ッテ居リマスガ、

箇約致シマスル爲ニ一二ノ例ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、本條ニ掲ゲラレテ居リマスル條項ハ、例ヘバ刑法ダケニ付テ申上ゲテ見タイト思ヒマスガ、第八章、是ハ騷擾ノ罪デゴザリマス、第九章、放火及ヒ失火ノ罪デゴザリマス、第十章ハ洪水及ヒ水利ニ關スル罪デゴザリマス、第十一章ハ往來ヲ妨害スル罪デゴザリマス、第十五章ハ飲料水ニ關スル罪デゴザリマス、十六章ハ通貨偽造ノ罪、十七章ハ文書偽造ノ罪、十八章ハ有價證券偽造ノ罪、十六章ハ殺人ノ罪、二十七章ハ傷害ノ罪、四十章ハ毀棄及ヒ隱匿ノ罪デゴザリマス、是等ノ罪ヲ掲ゲラレル程ナラバ、秘密ヲ守ルト云フ必要上、矢張り入レルコトガ必要デアルト云フコトヲ感ゼラル、ゾゴザリマス、又機密ノ漏洩ヲ防グ爲ニ、瀆職ノ罪ト云フコトモ考ヘラレナケレバナリマセヌ、固ヨリ外國ノ間諜タラムガ爲ニ、我が帝國ノ官吏ニ瀆職ヲスル、賄賂ヲ受ケルト云フ人ハ斷ジテナイコトヲ信ジマスルガ、少クトモソレニ對シテ賄賂ヲ提供スルモノハアリ得ルゾゴザリマス、斯ウ云フ者モ取締ラナケレバナラヌゾデアリマス、又三十六章ノ竊盜及ヒ強盜ノ罪、例ヘバ機密ノ文書ヲ盜ム、而シテ是等ノ機密ガ、本法案ノ保護スル機密ニ該當シマスルナラバ、本法案ニ該當セザルゾゴザリマスルガ、本法案ニ該當セザルヤウナ機密デゴザリマスナラバ、矢張り考ヘテ行カナケレバナラナイゾデアリマス、斯様ニモ考ヘラレル、ゾゴザリマス、其ノ他例ヲ舉ゲ來レバ澤山アルゾゴザリマスガ、最モ極端ノ例ヲ私ハ申上ゲテ見タイ、ソレハ本法案ニ治安警察法ニ關スル罪全部ガ舉ッテ居ルゾゴザリマス、治安警察法ハ主トシテ政治關係其ノ他ノコトヲ取締ルゾゴザリマスガ、皆様御承知ノヤウニ、其ノ罰則ハ僅カニ二十圓以下ノ罰金或ハ一箇

月以下ノ禁錮トカ云フ、極メテ輕イ罪ガ多イゾゴザリマス、治安警察法ノ中デ最モ重シト考ヘラレマスモノハ、秘密結社位デゴザリマセウガ、ソレデモサウ重イ罪デハゴザリマセヌ、兎ニ角輕イ罪デアアル、單純ナ罰金刑ニ過ギナイモノガアルゾゴザリマス、之ヲ舉ゲラレタコトハ何ノ故カ、私共全ク理由ヲ捕捉スルニ苦シムゾデアリマス、若シモ之ヲ舉ゲナケバナラヌナラバ、モウ少シ重大ナコトヲ何故舉ゲナカッタノカ、ソレハ私ハ例ヘバ出版法ノ規定ヲ申上ゲマス、出版法ハ「第十八條、外交軍事其ノ他官廳ノ機密ニ關シ公ニセサル官ノ文書及官廳ノ議事ハ當該官廳ノ許可ヲ意ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス」、之ニ對シテハ相當ノ刑罰ガ規定サレテ居リマス、「二十一條、軍事ノ機密ニ關スル文書圖書ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス」、是ハ重要ナモノデアアルゾゴザリマス、只今ノ治安警察法ノ罪ニ比較致シマシテ、重大デアラウト申上ゲナケレバナラス、更ニ新聞紙法ノ規定ヲ見マスルト、「第二十七條、陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得」、是モ若シ外國人ト通謀サレタナラバ、重大ナコトト考ヘナケレバナラス、又「四十二條、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス」、是等ノコトハ今ノ治安警察法ヨリモ頗ル重大ト申サナケレバナラス、ソレハ入レラレテ居ラスゾデアリマス、之ヲ要スルニ十六條ノ第二項ノ規定ハ、極メテ整調サレテ居ラスト云フコトヲ斷言セザルヲ得ヌゾゴザリマス、何ガ故ニ斯クノ如ク整調サレテ居ラスカト申シマスルト、斯クノ如キモノハ、私共ノ考ニ依レバ舉ゲナクテ宜イノダ、從

來ノ普通ノ手續ニ依ッテ取締ラシテ宜イノ
デハナイカ、斯様ニ私共ハ確信ヲ致シテ居
ルノデアリマス、若シ其ノ行為ガ外國人ト
通謀シ若シハ外國ニ利益ヲ與フルガ爲
ニ、非常ニ感情ガ惡イト云フノガアルデゴ
ザリマセウ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ
刑法ニ御承知ノ第三章ノ外患ニ關スル罪ガ
ゴザリマス、外國ニ關スル罪ハ、敵國ダケ
ニ付テノ問題デゴザリマスガ、之ヲ擴充シ
テ、實體法トシテ重要ヲ規定ヲ置ク必要ガ
アルノダト思フノデゴザリマス、サウ云フ
ヤウナ實體法ニ於テ作ラレタ後ニ、更ニ手
續ヲ考ヘルノガ至當デハナイカト、私ハ思
フノデゴザリマス、當局ハ之ニ對シテ斯様
ナコトヲ申サレテ居リマス、十分ニ注意ラ
シテ、此ノ法案ノ目的ハ惡性ノ者ヲ取締ル
ノデアリカラ、從ッテ其ノ目的以外ニ出ヅ
ルコトヲ戒メル、斯様ニ御話ニナッテ居
マス、運用ニ依ッテ適正ニ行カウ、併シナ
ガラ私ハ、ソレニ運用ニ依ッテ行カス問題デ
アル、ドウカト申シマスナラバ、十六條ノ
二項ノ本文ハ、本章ノ規定ハ外國ト通謀シ
又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタ
ル左ニ掲グル罪ニ關スル事件ニ付亦之ヲ適
用ス「トゴザリマス、以下ノ手續ハ適用サル
ルノデゴザリマス、必ズソレヲヤッテ
行カナケレバナラス、ソレガ私ハ法律ノ正
確ナ運用ダト思フノデゴザリマス、手
心ニ依ッテ、或場合ハ之ヲ適用シナイ或場合ハ
之ヲ適用スルト云フコトハ、出來ナイ問題
デアルト確信ヲ致シマス、カルガ故ニ斯ク
ノ如キ規定ハ之ヲ削除スルコトヲ適當ト確
信ヲ致スノデゴザリマス、唯此ノ中デ刑法
第二編第一章ノ罪、第二章ノ罪ト云フコト
ニ付キマシテハ、是ハ大審院ノ特別權限ニ
屬シテ居ルノデゴザリマス、其ノ他本
法案ノ規定ニ存スルヤウナ、或ハ強制ノ處
分ト云フヤウナコトヲ必要トスルコトハ考
ヘラレスノデヤナカラウト思フノデゴザリ
マス、併シナガラ是ハ從來ニ於キマシテモ、

斯クノ如キ犯罪ハ度々起ルベキモノデハナ
イ、而シテ假ニ起ルコトアリト致シマシテ
モ、從來ノ規定ニ依ッテ其ノ完璧ヲ期セラ
レテ居ルノデゴザリマス、尙之ヲ是非必要ト
致シマスルナラバ、本法案ハ特ニ外國ノ間諜
又ハ其ノ他惡性ノ行為ニ付テノ關係デゴザ
リマスルカラ、別ノ法律ヲ以テマシテサウ
云フ點ニ付テハ御考慮サラムコトヲ適當
ト認ムルノデゴザリマス、其ノ次第四デゴ
ザリマス、是ハ檢察官ニ司法警察官ニ對シ
テ捜査上強力ヲ認メタモノデゴザリマス、
先程カラモ色々述べラレマシタヤウニ、今
日ノ制度ニ於キマシテハ、強制力ハ判事ガ
持ッテ、檢察官ハ原則トシテ之ヲ持ッテ居
セス、司法省ニ於キマスル司法制度調査委
員會ニ於キマシテ、今日犯罪ノ捜査ヲ致ス
ルニ、檢察官、司法警察官ハ強制力ヲ持ッテ居
リマセスカラ、行政執行法其ノ他ノ規定ノ
運用、運用ト云フヨリハ寧ロ其ノ濫用ニ依
リマシテ、犯罪捜査ヲ致シテ居ル、之ヲド
ウシテモ改メナケレバナラスト云フコトニ
付キマシテ、其ノ對策ニ付テ色々考究ヲサ
レマシタノデゴザリマス、其ノ時司法
省側カラ出ラレタ委員ノ方々ニハ、檢察
官強制力ヲ持タセルト云フコトニ付テ主張ヲ
サレタ方ガ多カッタノデゴザリマス、
サウデナイ民間側カラ出ラレタ委員ニ於キ
マシテハ、檢察官ハ強制力ヲ持タシテハイカ
ス、若シ強制力ガ必要デアルトシタナラ
バ、刑事訴訟法二百五十五條、二百五十七
條ノ豫審判事ノ起訴前ノ強制力ヲ適用シテ行
ケバ宜イノデアル、サウシテ今日ハ、起訴
前ニ於キマシテハ十日間シカ強制收容ガ出
來ヌノデゴザリマス、其ノ期間ヲ
延長シテ、或ハ一箇月ニスル、或ハ二箇
月ニスルト云フヤウニシテ、強制捜査ヲ
シタラ宜イデヤナイカト云フコトハ、全體
ノ會議ノ決ハ採ラレスノデゴザリマシタガ
特別委員會ニ於キマシテハサウ云フ決議ヲ

サレマシテ、檢察官ハ強制力ニハ反對ヲセ
レテ居ッタノデゴザリマス、全會總ラナカッ
タノデゴザリマス、檢察官ハ強制力ニ付キマ
シテハ……、左様ナ次デゴザリマス、
デ、檢察官ハ強制力ト云フコトニ付キマシ
モ、慎重ナル審議ヲ要スルノデゴザリマス
ルガ、併シナガラ斯クノ如キ犯罪ニ對シマ
シテ、迅速果敢ニ犯罪ヲ檢舉スルコトハ、
當局ノ言ハレマスル通り必要デアルノデゴ
ザリマス、從ッテ本法案ノ如キ特別ノ犯罪ニ
付キマシテ檢察官ハ強制力ヲ認ムルコトハ、
私ハ適當デアル、斯様ニ考ヘルノデゴザリ
マス、唯、先程モ小山サンカラ御話ニナリ
マシタヤウニ、十分ニ注意ラシテ戒慎ヲシ
テヤッテ貫ヘバソレデ宜イノデアル、
強制力ハハレデ宜イノダト、斯様ニ考ヘテ
居ルノデゴザリマス、而シテ只今申上ゲマ
シタ司法制度調査委員會ニ於キマシテ、從
來實行致シテ居リマスル行政執行法ノ運用、
言ヒ換ヘバ濫用ヲ止メルストレバ、司法
警察官ニ對シテ強制力ヲ與ヘナケレバナ
ス「ト云フコトニ付テ御話モアリマシタ、
併シナガラ是ハ大反對デス、唯内務當局
タリニ於テ其ノ意見ガアリ、又司法當局
於キマシテモ、極メテ短期間ナラバ司法警
察官ニ與ヘテモ宜カラウガ、長イ期間ハ無
論イカス、此ノ法案ニゴザリマスルヤウニ
四箇月モ、司法警察官ガ、檢察官ノ命令ガ
ルナラバ勾留ガ出來ルト云フガ如キコトハ、
夢ニモ考ヘラレナカッタコトデアルノデゴ
ザリマスガ、檢察官ガ捜査ノ主管者デアリ
マス、而シテ司法警察官ハ之ヲ補助スルモノ
デゴザリマス、主管者タル檢察官補助スル
司法警察官ト、同ジヤウナ強制力ヲ持ツト
云フコトハ、私ハ考ヘラレスコトデキヤ
マイカ、而モ今日ノ實際ノ狀況ニ鑑ミマシ
テ、司法警察官ニ、假令檢察官ノ命令アリト
雖モ、四箇月迄ノ勾留ヲ認メル、又證人ヲ
訊問スルト云フ重大ナコト、斯クノ如キコ

トヲ認ムルコトハ斷ジテ不當デアルト思
フノデゴザリマス、當局ハ警察官ノ教養訓
練ニ付テ十分注意ヲ致シマシテ、將來其ノ
誤ナキコトヲ期スルト述べラレテ居ルノデ
ゴザリマスガ、教養訓練ガ眞ニ完成ヲ致シ、
立派ナ警察官バカリニナツタ場合ニ於キマ
シテハ、或ハ其ノ點ニ付キマシテ尙考究ス
ル餘地ガアルカモ存ジマセスケレドモ、ソ
レハ教養訓練ガ本當ニ完成ヲシタル後デナ
ケレバナラスト思フノデゴザリマス、先
ヅ力ヲ與ヘヨ、然後後教養訓練ヲシヨウト云
フガ如キコトハ、前後撞著デアルト思フ
デゴザリマス、殊ニ先程申シマスルヤウニ、
司法警察官ハ補助官デアルノデゴザリマス
カラ、成ルベク其ノ權限ニ付キマシテハ能
ク考ヘテ行カナケレバナラスト思フノデゴ
ザリマス、今日固ヨリ私、警察官ガ惡イト
ハ申シマセス、立派ナ警察官ガ澤山アル
澤山ゴザリマスルケレドモ、全體トシテ言
フナラバ、中ニハ左程迄ニ教養訓練ノ出來
テ居ラス人モ相當ニアルノデゴザリマス、
從ッテ私共ハ、司法警察官ニ對シマシテモ、
四十八時間ノ限度トスル勾引ト云フコトハ
認メテ宜カラウ、其ノ外證人、被疑者ヲ訊
問スル以外ノコト、即チ押收、搜索、檢證
ヲスル、或ハ鑑定、通譯、翻譯ヲ命ズルコ
トト云フガ如キコトハ、ソレハサシテ宜カ
ラウト云フ考ヲ以テマシテ、斯クノ如キ修
正ヲ致シタノデゴザリマス、ノミナラズ、
是ハ將來所謂行政執行法ノ濫用ヲ全然止メ
ルト云フコトニ致シマスナラバ、將來檢察
司法警察官ニ對スル強制力ノ問題ガ必ズ
起ッテ來ルノデゴザリマス、一般犯罪ニ付
テハ起ッテ來ナケレバナラス問題デゴザリ
マス、其ノ場合ニ於テ、今日此ノ特別法、
特別ノ法律デゴザリマス、此ノ法律ニ
於キマシテ檢察官、司法警察官ノ同様ノ權
力ヲ認メテ置キマスルト云フコトハ、
將來全體ノ犯罪ニ付テ規定ヲ致シマス場合

ニ於キマシテ、非常ニ惡イ其準ヲ殘スコト
ニナルノデゴザリマスカラ、此ノ邊ハ最モ
重大ニ考ヘテ行カナケレバナラヌト斯様ニ
思フノデゴザリマス、其ノ次ハ第五デゴザ
リマス、第一審ノ判決ニ對シテ控訴ヲ許サ
ナイト云フ規定ヲ削除致シマシテ、普通ノ
犯罪ト同ジヤウニ三審制度ヲ採リタイト云
フコトデゴザリマス、先程カラ申上ゲマス
ルヤウニ、本法案ニ規定スル罪ハ、極メテ
重大ナル罪デゴザリマス、從テ之ヲ裁判致
シマス場合ニ於キマシテハ、本當ニ慎重ニ
審議サル、必要ヲ痛感致シタノデゴザリマ
ス、慎重ニ審議シナケレバナラヌモノヲ、
態、控訴審ヲ排シテ二審ニスルト云フコト
ハ、ソレ自身矛盾著アルト考ヘルノデ
ゴザリマス、當局ノ説明ニ依リマスルナラ
バ、此ノコトヲ規定シタ理由ハ、一面カラ
言ヘバ迅速ニヤリタイ、一面カラ言ヘバ秘
密ヲ保護シタ、控訴審ヲ經ルダケデモ秘
密ガ漏レル虞ガ多クナルカラソレヲモ排
除シタイ、斯様ナ説明デアッタノデゴザリマ
ス、併シナガラ控訴院ニ關係シテ居ル人
達ハ、矢張り業務上此ノコトヲ知ルノデゴ
ザリマスルカラ、若シモ秘密ヲ漏洩致シマ
スナラバ、重大ナ責任ヲ負ハナケレバナリ
マセヌカラ、唯控訴審ヲ經ルト云フコトダ
ケデ、秘密ノ漏洩ヲ防止スルコトニ考ヘル
ト云フコトハ、是ハ私ハ餘リ考ヘ過ギデヤ
ナイカ、斯様ニ思フノデゴザリマス、當局
ハ斯クノ如ク説明サレナガラ、一面ニ於キ
マシテハ第二十一條ニ「勾留ニ付テハ警察官
署又ハ憲兵隊ノ留置場ヲ以テ監獄ニ代用ス
ルコトヲ得」ト云フ規定ヲ作ッテオイデナ
リマス、即チ勾留ニ際シテハ憲兵隊ノ留置
場デモ場合ニ依ッテハ宜イノデス、又警察
官署ノ留置場デモ宜イノデアリマス、處ガ
御承知ノヤウニ警察官署ノ留置場程亂雜ナ
所ハナイノデゴザリマス、澤山ノ人ガ入ッテ
居リマシテ、多クノ場合ニ於キマシテハ皆

坐ッテ居ラナケレバナラヌ、寢ル場所モナイ
ト云フ程詰ッテ居ルノデアリマス、サウシテ
其ノ中ニハ色々ノ人ガ入ッテ居ル、其ノ中
ニ斯クノ如キ秘密ヲ守ラナケレバナラヌ重
大ナ犯人ヲ入レテ置クト云フコトハ、是程
機密ノ漏レル虞ノアルコトハ外ニナイデヤ
ナイカト思フノデアリマス

〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著
ク〕

斯クノ如ク控訴審ヲ經ルト云フコト、警
察署ノ留置場ニ置クト云フコト、ドチラ
ガ秘密ガ漏レル虞ガ多イゴザリマセウカ、
是ハ殆ド言ハズシテ明カナコトト申サナケ
レバナリマセヌ、私ハ尙政府ニ於キマシテ
ハ、場合ニ依ッテハ上告審ヨリ控訴院ニ移送
シテ事實ノ審理ヲサスコトモ出來ルノデア
ル、ノミナラズ第一審ニ於テ十分ナル事實
ノ審理ヲスルカラ宜イノデアアル、斯ウ云フ
御説明ガアッタノデゴザリマスルガ、大審院
ニ於キマシテ、事實ニ於キマシテ、事實ノ誤
ニ於テ之ヲ是正致シマス場合ハ、顯著ナ
ル……顯著ナル事實ノ相違ガナケレバナラ
スノデゴザリマス、而シテ苟モ犯罪ヲ取調ベ
ルニ當リマシテハ、其ノ刑ヲ科スルト云フ
コトヨリモ、本當ニ事實ハドウデアルカト
云フコトガ、本當ニ確カニ調ベラレルト云フ
コトガ極メテ肝要デナケレバナラヌノデゴ
ザリマス、ソレニモ拘ラズ、態、事實審ヲ致シ
マスル控訴院ヲ省クト云フコトハ、此ノ重
大ナル犯罪ニ鑑ミマシテ、斷ジテ適當デア
ラザルコトヲ確信ヲ致シマス、斯様ナ理由
ヲ以チマシテ三十三條ヲ削除致シタイノデ
ゴザリマス、尙先程カラモ色々申サレタ
コトデゴザリマスルガ、當局ハ法案全體ニ
付テ、今日ノ時勢ガ續ク以上ハ矢張り之ヲ
改メテ行カヌ、併シナガラ時勢ガ變レ
バ之ヲ改メテモ宜イ、ソレノミナラズ實際
ノ運用ニ當テ常ニ研究ヲシテ、法律ニ於テ
誤リ、缺陷ガアルナラバ、是ハ是正ヲシテ

行キタイ、斯ウ云フ言明ヲシテ居ラル、ノ
デアリマス、併シナガラ既ニ誤ガアルト云
フコトガ初メカラ分リマスナラバ、先ヅ法
律ハ修正ヲサレナケレバナラヌノデゴザリ
マス、ノミナラズ、實際一旦法律ガ出マス
ト、之ヲ改ムルト云フコトハ極メテ困難デ
アルノデゴザリマス、而シテ改メラル、迄
ハ、矢張り國民ハ非常ナ不安ニ襲ヘレナケ
レバナラヌノデゴザリマスカラ、運用ノ如何
ニ依ッテ改メルト云フコトハ、私ハ餘リ原案
支持ノ理由ニナラヌト思フノデゴザリマス
而シテ本法案ノ委員會ニ於ケル審議ノ狀
況ニ付テ私ノ觀察ヲ申上ゲマスレバ、從來
如何ナル法案ニ付キマシテモ、之ニ反對ノ
意味ヲ以テ質問サル、人モアリ、贊成ノ意
味ヲ以テ質問サル、人モアリ、一部修正ノ
意見ヲ以テ質問サル、人モアリ、ソレハ色
色デアルコトガ普通デアルト思フノデゴザ
リマス、而シテ此ノ法案ニ付テノ審議ノ狀
況ハドウデアルカト申上ゲマス、此ノ法
案ガ時局ニ際シテ極メテ必要ナモノデア
ル、斯ウ云フコトハ舉ゲテ認識サレタヤウデ
ザリマス、而シテ此ノ法案ガ不備ナモノデ
アル、從ッテ不備缺陷ハ之ヲ修正シナケレ
バ、斯ウ云フ意味ヲ以テ質問ヲサレテ居
ルノデゴザリマス、其ノ質問ハ、全部同様
ニ同ジ方向ニ向ッテ居ルノデゴザリマス、私
モ聊カ法案審議ノ委員會ニ加ッテ經驗ガゴ
ザリマスルガ、私ノ經驗ヲ以テ致シマスナ
ラバ

〔議長伯爵松平賴壽君議長席ニ復ス〕

本法案程全會ニ於キマシテ同ジ方向ニ向ッ
テ質疑ガセラレタコトハ、未ダ會テ見ザル所
デアアルノデゴザリマス、サウシテ懇談會
席ニ於キマシテモ修正ノ意見ガ出タノデゴ
ザリマス、是ハ質問應答ニ依ッテ大體其ノ意
見ハ推セラレタノデゴザリマスルガ、是等
會合ノ狀況ニ依リマシテ、大體修正ノ箇所ハ
決ッテ居ル、唯其ノ委員ニ依リマシテ、或ハ其

ノ細カイ内容ニ付テノ差異ガアリ、又其ノ
範圍ニ付テ多少ノ差異ガアリマシタケレド
モ、大體同様ノ方向ニ向ッテ居ルノデゴザリ
マス、從ッテ私ハ委員會ニ於キマシテハ、色
色交譲妥協ノ精神ヲ以テ一致シテ、頗ル必
要ヲ感ズル點ニ付テ修正ノ意見ガ纏ルモノ
デアルト云フコトヲ、實ハ確信ヲ致シテ居
リマシタ、併シナガラ遂ニ左様ニ行カナカ
タノデゴザリマス、而シテ先程秘密會議ニ
於キマシテ、本法案ヲ無修正デヤラナケレ
バイカス、時局ノ必要ガ斯クノ如クアルノ
デアルト云フヤウナコトガ出タカ出スカト
云フコトガ、御問答ノ中ニアッタノデゴザ
リマスガ、本法案ガ、法案ノ成立ガ必要デ
アルト云フコトハ、秘密會バカリデハゴザリ
マセヌ、秘密會デナイ會議ニ於テモ、痛感
サレルヤウナ説明ガアリ、私共モサウ考ヘ
タノデアリマスガ、秘密會ニ於キマシテモ
本法案ガ無修正ノ儘ガ成立スルニ非ザレ
バ、時局ニ對シテ極メテ困ルト云フコトハ
私自身ハ何等感ジマセヌデシタ、明カニ申
上ゲテ置キマス、何ガ故ニ斯クノ如ク委員會
ニ於キマシテ同ジ方向ニ進ンデ居ツタ者ガ、
或者ハ修正論ヲ取り、或者ハ無修正ノ儘原
案ヲ通過スルト云フ工合ニナツタカト申シ
マスレバ、要スルニ本法案ノ成立ヲ希望シ
テ、若シモ修正ヲシタナラバ、是ガ衆議院ニ
行クカモ知ラス、衆議院ガ之ニ應ゼスカモ
知ラス、サウ云フ場合ニ於テ兩院協議會ヲ
生ズル、其ノ場合ニ於テ繼續ナカッタ、遂
ニ此ノ重大ナル法案ガ成立セザルニ至ル虞
ガアル、是ハ重大デアアルガ故ニ、是ハ原案
ヲ通サウト云フヤウナ工合ニ考ヘラレタノ
デハナイカト想像ヲ致シマス、私共修正論
ヲ致シマス者ハ、實ハ左様ニ考ヘナイ、而
モ同様ノ方向ニ委員會全體ガアルノデア
ルカラ、之ヲ繼メテ本當ニ修正ヲスルト云フ
コトガ、今日ノ時局ニ鑑ミマシテモ、貴族
院ノ本然ノ立場ニ鑑ミマシテモ、必要デナ

ケレバナラヌト云フコトヲ痛感致シタノデ
ゴザリマス、私ハ斯様ニ考ヘルノデゴザリ
マス、此ノ時局ニ際シマシテハ、本當ニ法
案ノ審議ヲ致シマス場合ニ於キマシテモ、
誠心誠意、國家ノ爲ニ進ンデ行カナケレバ
ナラヌト思フノデゴザリマス、何モノヲモ
忘レテ國家ノ爲ニ進ムト云フコトガ、此ノ
時局ニ處スル第一ノ道ト確信ヲ致シマス、
而シテ開院式ノ勅語ニ於キマシテモ、畏多ク
モ 天皇陛下ハ和衷審議セヨト宣ハセラレ
テ居ルノデゴザリマス、從ッテ私ノ考ヲ以テ
致シマスナラバ、貴族院ト衆議院ガ此ノ重
大ナル法案ニ付テ意見ヲ異ニシテ、ソレガ
爲ニ法案不成立ニ終ルガ如キコトハ、斷ジ
テナイコトヲ確信ヲ致スノデゴザリマス、
殊ニ貴族院ノ委員會ノ狀況ハ先程申上ゲタ
通りデゴザリマスガ、衆議院ニ於キマシテ
モ、其ノ質問ノ狀況ヲ見マスルト、矢張り
私共ガ修正セムトスルヤウナ點ニ付キマシ
テ、相當ナ論議ガ進メラレテ居リ、從ッテ其
ノ修正ノ意見ヲ持ッテ居ルタ人モ少クナカ
タラウト想像ヲサル、ノデゴザリマス、ノ
ミナラズ本法案ハ、此ノ時局ニ際シマシテ
是非成立セシメナケレバナラヌ法案デア
ルノデゴザリマス、左様デアリトシタナラバ、
私共ガ誠意ヲ以テ審議シテ、其ノ結果衆議
院ニ參リマシタナラバ、私ノ考ヲ以テスル
ナラバ、私ノ觀察ヲ以テスルナラバ、衆議
院ハ之ニ應ズルデアラウ、若シ應ゼズシテ、
全部衆議院ガ院議ヲ尊重スル、或ハ一部ヲ
認メテ一部ヲ認メナイト云フ場合ニ於キマ
シテモ、兩院協議會ヲ開キマシテ、互ニ赤
心ヲ披瀝シテ之ヲ論ジ合ヒマスナラバ、必
ズヤ交譲妥協ノ道ガ講ゼラル、コトヲ確信
シテ疑ヒマセズ、殊ニ政府ニ於キマシテモ、
徒ニ原案ニ執著スルコトハ間違デアルト思
フノデゴザリマス、貴族院ニ於キマシテ、
此ノ點ハ是正スベキデアルト云フコトヲ考
ヘマスナラバ、ソレニ對シテ再思三考サル

ルコトガ今日時局ニ處スル第一ノ途デナケ
レバナラヌ、ソレガ一億一心ヲ得ル所以デ
ナケレバナラヌコトヲ確信致シマス、斯クノ
如ク政府ニ於キマシテモ、貴族院ニ於キマ
シテモ、衆議院ニ於キマシテモ、三者赤心
ヲ披瀝シテ參リマスナラバ、必ズ妥協妥議
ノ途モ講ゼラレマシテ、本案ガ立派ニ成立
スルコトヲ信ジテ疑ハヌノデゴザリマス、
左様ナ意味ヲ以テマシテ、本案ノ修正案ヲ
提出致シタ譯デゴザリマス、何率皆サンニ
於カレマシテモ、此ノ時局ニ鑑ミマシテ、
特ニ御賛成ヲ御願ヒ申上ゲマシテ、私ノ趣
旨ノ辯明ヲ終リマス

レ故ニ議會ト致シマシテハ速カニ之ニ協賛
ヲ與フルコトガ必要デアリ、私共ト致シマ
シテモ、固ヨリ法案ノ速カニ成立スルコト
ニハ雙手ヲ舉ゲテ賛成スル所デアアルデア
リマス、然ルニ本法案ノ各條項ヲ仔細ニ檢
討致シマスルト、先ヅ其ノ第一條ヲ始メト
致シマシテ、法案ノ各所ニ頗ル不満足ノ點
ガアルノデアリマス、本日委員長ヨリ御報
告ニナリマシタ内容ヲ拜見致シマシテモ、
此ノ法案ガ各所ニ於テ不備缺點ガアリ、或
ハ修正ヲ要スルモノデハナカラウカト云フ
コトヲ看取セラル、節ガアルノデアリマス、
更ニ原案ノ賛成者トシテ意見ヲ御述ニナリ
マシタル所ノ伍堂サン、小山サンノ御兩人
ニ於キマシテモ、法案ニハ到ル處ニ不備缺
點ガアリ、修正ノ必要ハ認ムルケレドモ、
法案ノ成立ヲ急グ爲修正ヲ爲サズシテ原案
ヲ可決スルコトニ賛成スルノデアルト云フ
趣旨ヲ御述ニナッテ居ルノデアリマス、更
ニ司法大臣ハ、此ノ壇上ニ於テ本日多クノ
事例ニ反シマシテ、特ニ此ノ法案實施後ニ
於ケル所ノ司法省ノ態度、法案ノ運用ニ關
シテ幾々陳辯セラル、所ガアッタノデアリ
マスルガ、其ノ御趣旨ヲ拜聽致シマシテモ、
矢張り私共ガ提案致シマシタル所ノ五箇條
ノ修正點ニ關シテハ、是亦相當ニ御心配ヲ
持ッテ居ラル、コトヲ看取スルニ足ルノデア
リマス、法案ニ不備缺點ガアリ修正ヲ要ス
ベキモノデアルト云フコトハ、此ノ司法大
臣ノ本日ノ御言明ニ依ッテモ十分ニ裏書セ
ラル、所ノアルコトヲ信ズルノデアリマス、
質疑應答ヲ重ネタノデアリマス、當局殊ニ司
法省所屬ノ政府委員、又軍ノ當局ノ方カラ、
色々深切且熱心ニ説明答辯ヲナサツテ下サ
タノデアリマシテ、之ニ依リマシテ私共ハ
色々了解シタ點モアルノデアリマスガ、併
シ修正ヲ爲スベシトスル五箇條ノ重大ナル
點ニ付キマシテハ結局了解ヲ得ルコトガ出

來ナイノデアリマス、本法案ハ防諜ヲ主旨ト
スル法案デアリマス、防諜ノ事ハ軍當局、殊
ニ憲兵ニ於テ之ヲ取扱バル、ハ勿論デアリ
マスルガ、内務省ノ警察ニ於テ、防諜警察ト
シテ専ラ之ヲ取扱フ爲サル、コトガ相當デ
アルト思フノデアリマス、然ルニ法案ニハ、
幾多ノ罪ノ規定又ハ刑事手續ノ規定ガアリ
マスル關係カラ、司法省ガ提案主務省トシ
テ御提案ニナッテ居ルノデアリマス、委員會
ニ於キマシテ私共ガ一種特異ノ現象トシテ
看取シタルコトハ、防諜警察ノ本體デアリマ
ス内務省當局ガ相當此ノ法案ニ對シテ重
大ナル關心ヲ持タレマシテ、我々ノ質問ニ對
シテ答辯說明ヲ與ヘラルベキデアッタ思フ
ノデアリマスガ、如何ナル御都合カ、司法當
局、軍當局ガ主トシテ答辯說明ニ當ラレタ
デアリマス、此ノ點ニ於ケル現象ヲ見テ、法
ガ成立シタル後ニ於ケル法ノ運用ニ於テ、
ソゴニ何等カノ扞格支障ヲ生ズルコトナキ
ヤヲ憂ヘシムル點ガアッタノデアリマス、而シ
テ本法案ガ司法省ノ提案デアリ、私共一個ノ
コトヲ申上ゲテハ其ダ憚カル所デアリマス
ルガ、私ハ全生涯ノ大部分ヲ官吏トシテ、
司法部ニ奉職致シテ居ッタノデアリマス、ソ
レ故ニ情ト致シマシテハ、此ノ法案ニ幾多
ノ缺點アリト致シマシテモ、瑣末ノコトデ
アリマスナラバ、彼此論議ヲ盡サズシテ
其ノ儘成立ニ御協力ヲ申上ゲルコトガ相當
デアルト思ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ
只今松村議員ヨリ御述ニナリマシタ通り、
五箇條ノ修正點ハ何レモ事重大デアリマシ
テ、之ヲ其ノ儘默シテ看過致シマスルコト
ハ、却テ吾國ニ對スル忠義ヲ盡ス所以デハ
ナイ、寧ロ質スベキハ質シ、改ムベキハ改メ
マシテ、法ノ骨子トスル所ノ效果ヲ減殺セ
ザル限度ニ於キマシテ、而シテ法ノ作用ト
シテ起キマスル所ノ副作用タル種々ノ法案
不備ノ點ヲ取除キマシテ、出來ルダケ完全
ニ近イモノニシテ、之ヲ通過致シマスルコ

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ討論ニ移
リマス、小原君

(小原直君演壇ニ登ル)

○小原直君 我ハ只今議題ト相成ッテ居リ
マスル國防保安法案ニ對スル修正案ニ賛成
スル者ノ一人デアリマスルガ故ニ、茲ニ簡
單ニ賛成ノ趣旨ヲ申述ベテ、皆サンノ御賛
同ヲ得タイト思フノデアリマス、支那事變
ノ戰フコト既ニ三年有半ニナッテ居リマス
ルガ、事變解決ノ見込ハマダ遠遠デアアル
デアリマス、一方歐洲戰爭ハ御承知ノ如キ
進展ヲ示シマシテ、世界ノ情勢ハ眞ニ變轉
ノ際ナク、朝ニタヲ測ラレザルノ概ガアル
ノデアリマス、而モ日獨伊三國同盟條約ノ
締結セラレマシタル以來、國際ノ關係ハ
一層複雜緊迫ヲ加ヘマシテ、事態誠ニ重
大デアアルコトハ申ス迄モナイコトデアリマ
ス、斯クノ如キ内外ノ重大ナル情勢ニ鑑
ミマシテ、外國ノ我が國ニ對シテ行ヒマ
スル所ノ諜報宣傳ヲ防遏致シマシテ、國
防ノ完備ヲ期シマスルコトハ、現下ニ
於ケル我が國喫緊ノ要務デアアルコトハ無
論デアリマス、此ノ目的ヲ以テマシテ、
本國防保安法案ガ立案提出セラレタノデア
リマシテ、此ノ法案ガ時局柄適切且重要ナル
法案デアアルコトハ勿論ノコトデアリマス、ソ

レ故ニ議會ト致シマシテハ速カニ之ニ協賛
ヲ與フルコトガ必要デアリ、私共ト致シマ
シテモ、固ヨリ法案ノ速カニ成立スルコト
ニハ雙手ヲ舉ゲテ賛成スル所デアアルデア
リマス、然ルニ本法案ノ各條項ヲ仔細ニ檢
討致シマスルト、先ヅ其ノ第一條ヲ始メト
致シマシテ、法案ノ各所ニ頗ル不満足ノ點
ガアルノデアリマス、本日委員長ヨリ御報
告ニナリマシタ内容ヲ拜見致シマシテモ、
此ノ法案ガ各所ニ於テ不備缺點ガアリ、或
ハ修正ヲ要スルモノデハナカラウカト云フ
コトヲ看取セラル、節ガアルノデアリマス、
更ニ原案ノ賛成者トシテ意見ヲ御述ニナリ
マシタル所ノ伍堂サン、小山サンノ御兩人
ニ於キマシテモ、法案ニハ到ル處ニ不備缺
點ガアリ、修正ノ必要ハ認ムルケレドモ、
法案ノ成立ヲ急グ爲修正ヲ爲サズシテ原案
ヲ可決スルコトニ賛成スルノデアルト云フ
趣旨ヲ御述ニナッテ居ルノデアリマス、更
ニ司法大臣ハ、此ノ壇上ニ於テ本日多クノ
事例ニ反シマシテ、特ニ此ノ法案實施後ニ
於ケル所ノ司法省ノ態度、法案ノ運用ニ關
シテ幾々陳辯セラル、所ガアッタノデアリ
マスルガ、其ノ御趣旨ヲ拜聽致シマシテモ、
矢張り私共ガ提案致シマシタル所ノ五箇條
ノ修正點ニ關シテハ、是亦相當ニ御心配ヲ
持ッテ居ラル、コトヲ看取スルニ足ルノデア
リマス、法案ニ不備缺點ガアリ修正ヲ要ス
ベキモノデアルト云フコトハ、此ノ司法大
臣ノ本日ノ御言明ニ依ッテモ十分ニ裏書セ
ラル、所ノアルコトヲ信ズルノデアリマス、
質疑應答ヲ重ネタノデアリマス、當局殊ニ司
法省所屬ノ政府委員、又軍ノ當局ノ方カラ、
色々深切且熱心ニ説明答辯ヲナサツテ下サ
タノデアリマシテ、之ニ依リマシテ私共ハ
色々了解シタ點モアルノデアリマスガ、併
シ修正ヲ爲スベシトスル五箇條ノ重大ナル
點ニ付キマシテハ結局了解ヲ得ルコトガ出

來ナイノデアリマス、本法案ハ防諜ヲ主旨ト
スル法案デアリマス、防諜ノ事ハ軍當局、殊
ニ憲兵ニ於テ之ヲ取扱バル、ハ勿論デアリ
マスルガ、内務省ノ警察ニ於テ、防諜警察ト
シテ専ラ之ヲ取扱フ爲サル、コトガ相當デ
アルト思フノデアリマス、然ルニ法案ニハ、
幾多ノ罪ノ規定又ハ刑事手續ノ規定ガアリ
マスル關係カラ、司法省ガ提案主務省トシ
テ御提案ニナッテ居ルノデアリマス、委員會
ニ於キマシテ私共ガ一種特異ノ現象トシテ
看取シタルコトハ、防諜警察ノ本體デアリマ
ス内務省當局ガ相當此ノ法案ニ對シテ重
大ナル關心ヲ持タレマシテ、我々ノ質問ニ對
シテ答辯說明ヲ與ヘラルベキデアッタ思フ
ノデアリマスガ、如何ナル御都合カ、司法當
局、軍當局ガ主トシテ答辯說明ニ當ラレタ
デアリマス、此ノ點ニ於ケル現象ヲ見テ、法
ガ成立シタル後ニ於ケル法ノ運用ニ於テ、
ソゴニ何等カノ扞格支障ヲ生ズルコトナキ
ヤヲ憂ヘシムル點ガアッタノデアリマス、而シ
テ本法案ガ司法省ノ提案デアリ、私共一個ノ
コトヲ申上ゲテハ其ダ憚カル所デアリマス
ルガ、私ハ全生涯ノ大部分ヲ官吏トシテ、
司法部ニ奉職致シテ居ッタノデアリマス、ソ
レ故ニ情ト致シマシテハ、此ノ法案ニ幾多
ノ缺點アリト致シマシテモ、瑣末ノコトデ
アリマスナラバ、彼此論議ヲ盡サズシテ
其ノ儘成立ニ御協力ヲ申上ゲルコトガ相當
デアルト思ッテ居ッタノデアリマス、然ルニ
只今松村議員ヨリ御述ニナリマシタ通り、
五箇條ノ修正點ハ何レモ事重大デアリマシ
テ、之ヲ其ノ儘默シテ看過致シマスルコト
ハ、却テ吾國ニ對スル忠義ヲ盡ス所以デハ
ナイ、寧ロ質スベキハ質シ、改ムベキハ改メ
マシテ、法ノ骨子トスル所ノ效果ヲ減殺セ
ザル限度ニ於キマシテ、而シテ法ノ作用ト
シテ起キマスル所ノ副作用タル種々ノ法案
不備ノ點ヲ取除キマシテ、出來ルダケ完全
ニ近イモノニシテ、之ヲ通過致シマスルコ

トガ議員ノ職責アリ、現下ニ於ケル我々
國民ノ義務アルト確信ヲ致シマシタガ故
ニ、敢テ委員會ニ於キマシテ、修正ノ意見
ヲ述ベ、茲ニ又修正案ニ對シテ贊成ノ意見
ヲ述アル所以アルノデアリマス、世間ニ
ハ、時局ガ重大ナルカヲシテ帝國議會ハ全
的ニ政府ニ協力スベキデアリ、政府提出ノ
豫算案モ法律案モ、總テ原案ニ對シテハ無
修正ニ協賛ヲ與ヘマシテ、以テ舉國一致ノ
實ヲ内外ニ示シマスルコトガ、所謂翼賛議
會ノ責任デアルト言フ者モアルヤウニ見受
ケラル、ノデアリマスルガ、斯クノ如キ議
論ハ、私ヲシテ言ハセマスレバ、憲法政治ノ
精神ヲ誤解シ、帝國議會ノ機能ト職責トヲ
誤ルモノデアルト考ヘルノデアリマシテ、
到底斯様ナ議論ニ與ミスルコトハ出來ナイ
ノデアリマス、然ルニ又本法案ノ修正ニ反對
致サル、所ノ議員各位ノ中ニハ、此ノ法案ハ
極メテ重要デアリ且緊急ヲ要スルモノデ
アルカラシテ、是非共速力ニ之ガ成立ヲ與ヘ
ナケレバナラズ、若シ之ニ修正ヲ加フル
ヤウナコトガアリマシテハ、貴衆兩院協議
會ニ於テ協議整ハザル結果、不成立ニ陥
ル虞ナシトハセナイノデアル、ソレ故此ノ
法案ニハ誠ニ重大ナル缺點ハアルケレドモ、
今日ノ時局柄已ムヲ得ズ無修正デ通過セシ
ムル外ハナイノデアル、後日ニ於テ改正ヲ
施シテ、不備ノ點ヲ改メ不安ノ點ヲ除キ、
嚴ニ失スルモノハ之ヲ寬シシ、刑罰等ニ付
テモ考慮ヲスル必要ヲ認メルト云フ場合ニ
ハ之ヲ改メタル宜シイデアリカ、ト申サ
ル、方モアルヤウニ見受ケルノデアリマス、
本日司法大臣ノ御言明ノ中ニモ、此ノ法律
ガ今日ニ於テハ是非共此ノ儘實施ヲシナケ
レバナラスノデアリガ、後日情勢ノ變化ニ
依テハ或ハ之ヲ改メテモ差支ナイト云フ
時期ガアルデアラウト云フコトヲ言ハレタ
ノデアリマス、私ノ寡聞ナル所、今日迄幾
千百ノ法律ガ制定セラレマシタガ、其ノ法

律ニ付テ改正ハアリマシタケレドモ、法律
ガ成立當時ヨリモ簡約ニセラレタトカ、趣
旨ガ緩和セラレマシタトカ、刑罰法規ノ刑罰
ガ輕ノ規定ニ改メラレタトカ云フコトハ殆
ド其ノ例ヲ見ナイノデアリマス、ソレ故ニ此
ノ法案ニ付キマシテモ、今日ハ不完全デア
ルガ、後日ニ於テ之ヲ改正スレバ宜シイデ
ハナイカト云フ御議論ノ如キハ、全ク實際
ニ當テナイ御意見デアルト考ヘルノデア
リマス、本法案ニ對シマスル衆議院ノ特別委
員會ニ於ケル審議ノ狀況等ニ照シマシテモ、
其ノ不備缺點トシテ論議セラレテ居リマス
ル所ハ、大體本院ノ委員會或ハ此ノ議場ニ
現レタル缺點トシテ指摘セラレタル部分ト
符合スルノデアリマス、ソレ故ニ先程來申
上ガマシタヤウニ、若シ本法案ニ本院ガ修
正ヲ加ヘマシテ、兩院協議會ニ移ルヤウナ
コトガアリマシテモ、既ニ松村議員ヨリモ
御述ニナリマシタル通り、兩院ノ議員ガ、
時局ノ重大ニ鑑ミマシテ、赤心ヲ披瀝シテ
檢討致シマシタナラバ、ソコニ必ズ窮通打
開ノ途ガ開カレルコトハ私ノ信ジテ疑ハザ
ル所デアリマス、ソレ故ニ修正ニ依ッテ法案
ガ不成立ニナルデアラウト云フヤウナコト
ヲ心配シテ、爲サナケレバナラナイ所ヲ爲
サナイト云フ如キ態度ハ、本院トシテ如
何ナモノデアラウカト云フコトヲ考ヘル
ノデアリマス、若シ御説ノ如ク兩院協議會
ガ不調ニ終ルコトヲ心配致シマシタナラバ、
貴族院モ衆議院モ其ノ先議案ナルト他院ヨ
リ送付セラレタル案ナルト問ハズ、結局
之ヲ無修正ニ可決セナケレバナラスト云フ
コトニナルノデアリマセウカ、斯クノ如キ
議論ハ勿論ナイコト思ヒマスルガ、今ノ
御議論ヲ押詰メテ見ルト、此ノ處迄行カナ
ケレバナラスノデハナカラウカト思フノデ
アリマス、論者ト雖モ恐ラクハ左様ナ御考
ハナイコトハ勿論デアラウト思フノデアリ
マス、本院ニ於キマシテ修正ニ依ル案ノ不

成立ヲ心配致シマスルコトハ一應考ヘラレ
マスガ、併シ貴族院ダケガ左様ナコトヲ心
配致シマシテモ、衆議院ガ毫モ顧ミル所ナ
クシテ、本院ヨリ可決送付シタル案ニ對シ
テ修正ヲ加ヘマシタナラバ、是ハドウナル
デアリマセウ、現ニ承ル所ニ依リマスルト、
先日本院ヲ通過致シマシタル所ノ刑法中改
正法律案ハ、本日ノ衆議院ノ議場ニ於テ修
正セラレ、ヤニ聞キ及ンデ居ルノデアリマ
ス、衆議院ハ遠慮ナク、或ハ言葉ガ惡イカ
モ知レマセヌガ、必要ヲ信ジテ修正ヲスル
本院ハ必要ト考ヘテ修正ヲ差控ヘルト云フ
ヤウナコトハ、誠ニ權衡ヲ失シタル不當ノ
處置デアリナカラウカト思ヒマス、更ニ委員
會ノ論議ニ於テ現レタル所デアリマスルガ、
重要ノ法案デ成立ノ必要アルモノニ付テハ
修正ヲ避ケナケレバナラスケレドモ、重要
ナラザルモノニ付テハ、修正シテモ宜シイ
デハナイカト云フヤウナコトガ言ハレタノ
デアリマス、眞面目ノ御議論トハ受取レマ
セヌデシタケレドモ、左様ナコトスラガ出
テ居ル、重要ナラザル案ナラバ修正シテモ
宜シイガ、重要ナル案ハ修正ヲ差控ヘルガ
宜シイ、何タルコトデアリマスカ、是コ
ソ實ニ弱イ者イデメノ議論デアル、若シ法
案ニ不都合ノ點ガアリマシタナラバ、重要
ナルモノモ、然ラザルモノモ同様デアリマ
スルガ、却テ重要ナラザルモノニ付テハ修
正ヲ差控ヘテモ、重要ナルモノニ付テハ重
ナル缺點ガアツタナラバ、是非共之ヲ修正シ
テ完全ニ近イモノニスルト云フコトコソ、議
會ノ機能デアリ、職責デアルコトヲ確信ス
ルノデアリマス、由來此ノ數年來ニ於ケル
我が國ノ狀況ヲ見マスルニ、政府ハ勿論、
國民上下非常ノ勇氣ヲ以テ各自ガ其ノ職責
ヲ十分ニ盡シマシテ、時局ノ打開ニ邁進
セヌケレバナラスト思フノデアリマスル、
動モスルト苟且偷安、困難ニ遭遇致シ
マスルト、忽チ難キヲ拾テテ安キニ就ク、

或ハ言葉ガ過ギルカ知リマセヌガ、卑
屈怯懦デアルト云フガ如キ感スラ見受ケラ
ル、コトガナイデモナイノデアリマス、動
モスルト、ドウモ仕方ガナイ、斯ウナツタ
ラ仕方ガナイカラ此ノ儘ヤラウデヤナイカ
ト云フヤウナ言葉ガ到ル處ニ聞カレノデ
アリマス、所謂長イモノニハ捲カレロ、地
頭ト泣ク兒ニハ勝タレナイト云フヤウナ氣
分ヲ以テ今日ノ時局ニ對處致シマスルコト
ガ、外ニモ幾多ノ原因ハ勿論アリマスルケ
レドモ、我が國今日ノ重大ナル時局ヲ織出
シタ一ツノ原因デアルト申スコトヲ見通シ
テハナラスト思フノデアリマス、ソレ故ニ
私ハ今日我が國民ト致シマシテハ、正シイ
ト信ズルコトヲ、爲サネバナラスト信ジ
タルコトハ、何處迄モ之ヲヤリ通スダケノ
勇猛心ヲ以テマシテ、以テ此ノ時局ノ打開
ニ當ルヤウニセナケレバナラスト思フデ居
ルノデアリマス、ソレガ即チ私共ガ此ノ法
案ノ成立ヲ希望シツ、モ、重大ナル缺點ヲ
看過スルコト能ハザルモノトシテ、之ガ修
正ヲ提案シテ居ル所以デアルノデアリマス、
修正ノ各條項ニ付キマシテハ、松村議員ヨ
リ詳細其ノ理由ヲ熱心、且極メテ分リ易ク
述ベテ戴キマシタノデ、私ハ之ニ附加フル
何モノヲモ持ッテ居ラスノデアリマス、併シ
ナガラ松村議員ノ御述ニナリマシタコト以
外ノコトニ互リマシテ、尙若干之ニ附加ヘ
テ贊成ノ理由ヲ申述ベタイト思フノデアリ
マス、修正ノ點ハ、申上ゲルヤウニ五箇條
デアリマスルガ、其ノ第一點ハ、本法案ノ
第一條デアリマス、第一條ノ修正理由ニ付
テハ、既ニ詳細述べラレタノデアリマスル
ガ、私ハ第一條ニ示シテ居リマスル國家機
密ノ定義ガ、法文ノ儘デハ如何ニモ漠然ト
知ラズシテ此ノ法律ヲ犯スノ虞ナイトシナ
イノデアリマス、國民ノ中ニ此ノ法案ニ對
スル不安ノ氣分アリマスルノハ、即チ重

大ナル犯罪デ、死刑、無期又ハ五年以上ノ懲役ヲ以テ擬セラル、所ノ本法第三條以下ノ各罪ニ付テ、若シモ誤テ法網ニ觸レルコトガアリハスマイカ、自分ハ犯罪ハ犯サナイガ、誤テ犯罪アリトシテ檢舉、捜査ヲ開始セラル、ヤウノコトガアリハシマイカト云フコトヲ心配スルコトガ言ハレルノ八條ニ於テモ是ト同様ノコトガ言ハレルノデアリマス、第八條ハ所謂情報ノ探知、收集デアリマス、外交、經濟、財政其ノ他ニ關スル情報ヲ探知、收集スル行為ガ、若シ國防上ノ利益ヲ害スル用途ニ供スル目的ヲ以テ爲サレタ場合、及ビ其ノ處アルコトヲ知リテ外國ニ通報スル目的ヲ以テ爲サレタ場合ニ、犯罪トシテ處罰セラルレノデアリマス、私共苟モ政治ニ關心ヲ持チマスル者ハ、政治上ノ必要カラシテ外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル情報ヲ探知若シハ收集スルコトハ日常之ヲ爲サナケレバナラスノデアリマス、其ノ他銀行、會社、各種ノ事業ニ從事致シマスル者、殊ニ先程松村サシヨリモ御述ニナリマシヤウニ外國貿易ニ從事シ致シマスル者ノ如キハ、最モ是等ノ情報ヲ探知若シハ收集スル必要ガアルノデアリマス、唯情報ヲ探知シ、收集スルダケデハ犯罪ニハナラナイカラ、安心ナヤウデハアリマスルガ、其ノ情報ノ集テ結果、或ハソレガ國防上ノ利益ヲ害スル用途ニ供スル處アリト云フヤウナコトヲ考ヘラル、コトナキニシモ非ズデアリマス、假ニ例ヲ舉ゲテ、私ナラ私ガ外交、經濟、財政等ニ關スル各種ノ情報ヲ集メル、何等ノ他ノ目的ハ持ツデ居リマセヌガ、集メテ居ル際ニ、偶、ソレガ或時ノ政府ナリ當局ニ、害ノアルヤウナ意見ニ當ラデアラウト云フヤウナモノガ集メラレタ時ニ、彼ハ政府ナリ或ハ政府ノ當局ノ邪魔ニナルコトヲヤツテ居ルノデアル、高度國防國家ニ於テ政府ニ害ニナルヤウナコトヲ集メル、彼ハ即チ

國防上ノ利益ヲ害スル用途ニ供スル爲ニ之ヲ收集シテ居ルノデハ、ナカラウカト云フコトヲ、疑ヘバ疑ハル、カモ知レナイノデアリマス、左様ナ疑ヲ受ケタガ最期、本法案ニ謂フ所ノ間諜類似ノ行為ニナルノデアリマス、第一條ニ於テモ左様デアリマスルガ、第八條ノ罪ニ於テモ矢張り犯罪ノ範圍ガ不明デアリ、動モスレバ所謂今ノヤウナ事例ニ照ラシテ、所謂政治謀略ニ利用セラシ、處ナイトシナイガ爲ニ茲ニ不安ガ生ズルノデアリマス、ソレ故ニ此ノ不安ヲ除キ、法ノ目的トスル範圍ヲ減殺セズシテ、而モ犯罪ノ範圍ヲ明確ニスル方法ガアルナラバ、之ニ越シタコトハナイノデアリマス、第一條及第八條ノ修正ハ即チ斯様ナ目的ニ依ッテ修正セラレルノデアリマス、繰返シテ申シマスルガ、本法案ハ所謂間諜行為ヲ取締ル法律デアリマス、若シ誤テ本法案ノ罪ヲ犯シマシタナラバ、犯罪タル者ハ勿論ノコトデアリマスルガ、罪九族ニ及ブノデアリマス、彼ハ國防保安法ノ罪ヲ犯シタル者デアル、賣國奴デアル、非國民デアルト云フコトヲ言ハレマシタナラバ、一家眷屬悉ク社會ノ生活ヲ危ケセラル、處ガアルノデアリマス、眞ニ法ヲ犯シタル者ニ付テハ已ムヲ得ズト致シマシテモ、誤テ檢舉セラレ、檢舉セラレズトモ捜査ヲ開始セラレタダケデ、其ノコトガ何處カニ漏レマシタ際ニハ、ソレガ既ニ此ノ人及ビ其ノ家族ハ賣國奴ノ烙印ヲ捺サレシマフノデアリマス、後ニ幸ニシテ無罪トナリ或ハ不起訴トナリ放免セラレマシテモ、一旦捺シ付ケラレタル所ノ烙印ハ永久ニ消ユル時ガナイノデアリマス、ソレ故ニ私共ハ斯クノ如キ不安ヲ除クガ爲ニ、第一條及第八條ノ犯罪ノ範圍ヲ明確ニシテ、而シテ法ノ效果ヲ減殺セザル限リニ於テ出來ルダケ其ノ弊害ヲ除カムトシテ、斯クノ如キ修正ヲ與ヘタモノデアアルノデアリマス、實體法ニ付テハ是ダケデア

リマスルガ、更ニ本法案ノ第二章以下ニ於キマシテハ、法案第一條以下ノ犯罪ヲ犯シタル者ハ勿論、更ニ第十六條第二項ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テ特別ノ刑事手續ヲ用ヒルノデアリマス、加之、先程來提案者ヨリ御述ニナリマシタ如ク、第二項ニ於キマシテハ一種ノ制限ヲ以テマシテ、同條ニ掲ゲタル所ノ幾多ノ犯罪ヲ取り來ツテ、之ヲ本條ノ特別規定ニ當嵌メムトスルノデアリマス、先程刑法ノ條文ヲ御拾ヒニナリマシタガ、第十六條第二項デ採用ヲシテ居リマス所ノ刑法ノ犯罪ダケデモ、百六十數條ノ刑法ノ罪ノ内、其ノ約七十條ガ茲ニ援キ來ラレテ、特別手續ノ下ニ審理セラレルコトニナルノデアリマス、其ノ他同項ニ掲ゲテアリマスル他ノ法律ノ數ヲ舉ゲマスルト云フト、百數十ノ多キニ達スルノデアリマス、是ガ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯罪シタル時ニ悉ク本章ノ特別手續ガ適用セラシコトニナルノデアリマス、斯様ナ特別手續ヲ用ヒズトモ、是等ノ犯罪ガ若シ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯サレマシタ場合ニ於キマシテハ、通常ノ刑事訴訟手續ニ依ッテ審理シテ殆ダ差支ガナイト思ハレルノデアリマス、政府當局ハ、本法案ニ掲ゲタル所ノ各罪ノ審理ヲ出來ルダケ速カニ之ヲ爲スコトガ必要デアリ、其ノ捜査ニ當ツテハ強制力ヲ用ヒテ嚴重ニ之ヲ檢舉スル必要ガアルト云フコトヲ言ハレルノデアリマスルガ、此ノ手續ヲ用ヒマシテモ餘リ多ク迅速サヲ得ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、又強制力ヲ用ヒズトモ相當ニ法ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマス、特別ノ捜査ニ當ツテ、檢事司法警察官ニ強イ強制力ヲ與ヘマスルト云フガ如キ異例ヲ聞クコトハ、此ノ際ニ於テ差支ヘテ毫末モ差支ナイト思フノデアリマス、修正案ハ、檢事ニ對シテノ強制力ハ原案ノ通り認メ、唯司法警察官ガ被疑者及證

人ノ訊問ヲ爲シ、又被疑者ヲ訊問スルニアラザレバ爲スコトヲ得ザル勾留ニ限ツテノミ、司法警察官ニ強制力ヲ用フルコトヲ許サナイヤウニシヨウト云フノデアリマス、司法警察官ノ中ニモ、憲兵將校或ハ内務系統ニ屬シマスル所ノ高級ノ警察官吏、例ヘバ地方長官デアリマスルトカ、警察部長デアリマスルトカ、監視デアリマスルトカ、其ノ素質ニ於キマシテ、其ノ見識ニ於キマシテ、其ノ學識ニ於キマシテ、之ニ強制力ヲ持チ得ルコトヲ許シマシテモ何等差支ナイ者モ澤山アルノデアリマス、又司法警察官トシテ最モ多クノ働キヲ爲シマス所ノ警部警部補等ノ中ニモ、其ノ素質、識見、技倆ニ於テ、是等ニ強制力ヲ與ヘマシテモ毫末モ差支ナイ者モ澤山アルノデアリマス、併シナガラ今日ノ警察ノ現狀ニ照シマスト云フト、多數ノ警部、警部補等ノ中ニハ、之ニ強制力ヲ與ヘテ被疑者、證人ノ訊問ヲ行ハシメルコトニ於テハ、適格ナラザル者ガ頗ル多イコトヲ經驗上知ツテ居ルノデアリマス、殊ニ況ニ司法警察官ノ職務ヲ行ヒ得ル所ノ巡查部長ニ至リマシテハ、之ニ強制力ヲ與フルコトハ今日ノ是等ノ官吏ノ狀態ニ照シマシテ、決シテ適當デナイト確信ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ特ニ本文ニ於キマシテ、被疑者、證人ノ訊問及ビ之ニ伴フ勾留ダケヲ司法警察官ニ與ヘナイト云フコトニシナケレバナラスノデアリマス、其ダ遺憾デアリマスガ、將來司法警察官ノ教養ガ高クナリマシテ、訓練宜シキヲ得マスルナラバ、之ニ全クニ強制力ヲ持チ得ルコトヲ許スモ毫末モ差支ナイ時期速カニ來ラムコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、次ニ第三十三條ノ本法案ノ手續ニ依ッテ審理致シマシタル第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ許サナイト云フコトニナツテ居ル手續ハ、我が國ノ司法裁判制度ニ於キマシテ、傳統的ノ大原則トシテ用ヒ來リマシタル所

ノ三審制度ヲ破ツテ二審制度ニスルコトニナルモノデアリマシテ、此ノ犯罪ニ爲ニ特ニ三審制度ノ上ニ於テ最モ大切デアリマス何處ニアルカ、裁判所構成法ガ三審制度ヲ用ヒテ居リマス理由ハ、既ニ發案者ヨリ説明ガアリマシタ通り人ノ生命、身體、自由、財産ニ對シテ強大ナル權力ヲ行ヒマスル所ノ裁判ガ、若シモ何カノコトデアリガアッテハナラナイコトデアリマスルカラ、鄭重ノ上ニモ鄭重ヲ盡ス意味ニ於キマシテ三審ノ制度ヲ用ヒテ居ルノデアリマス、ソレヲ本法案ニ於キマシテ、第十六條第一項ニ掲ゲマス罪ナラバ格別デアリマスガ、其ノ以外ノ廣キニ互ツテ之ヲ行フガ如キハ更ニ不都合デアリマス、況ヤ私ハ第一項ノ罪ト雖モ之ニ三審ノ制度ヲ變革シテ二審制度ヲ適用スルコト云フガ如キハ全ク其ノ必要ヲ認メナイノデアリマス、政府當局ノ御説明ニ依リマスルト、斯クノ如キ制度ノ變革ヲ行フ所以ノモノハ、第一ニハ出來ルダケ此ノ種ノ裁判ノ審理ヲ迅速ニスル必要ガアル、第二ニハ、國家機密ノ如キ重大ナル機密ガ審理ヲ重ナル機會ノ多イ中ニ漏レル機會ガアルカラシテ、之ヲ二審ニスルコト云フ御説明デアアルノデアリマス、成ル程審理ノ回數ヲ少クシテ控訴ヲ許サナイナラバ、ソレダケ國家機密ナリ、重要ナル機密ノ外ニ漏レルコトガ減少スルカモ知レマセヌ、併シ此ノ大原則ヲ變革セズトモ、當局ガ注意ヲ致シマシテ、係員ニ訓戒ヲシテ置キマシタナラバ、裁判ノ係員カラ斯様ナ機密ガ外ニ漏レルデアラウト云フヤウナコトハ、十分ニ防ギ得ルト思フノデアリマス、況ヤ二審制度ニスルコトガ審理ヲ迅速ニスル爲デアルト云フガ如キニ至リマシテハ、私ハドウシテモ肯肯スルコトガ出來ナイノデアリマス、成ル程今日裁判ノ現狀ヲ見マスルト云フト、刑事裁判ニ於キマシテモ、民事裁判ニ於キマシテモ、誠ニ

訴訟ノ遲延甚ダシキモノガアルノデアリマス、是ハ獨リ我が國ダケデハナイノデアリマシテ、歐米各國ノ裁判ノ狀況ニ照シマシテモ、訴訟遲延ノ弊ハ到ル處ニ叫バレテ居ルノデアリマシテ、何トカシテ此ノ弊害ヲ救フテ、出來ルダケ審理ヲ迅速ニシタイト云フコトハ、我が國始メ各國ノ希望シ、熱心ニ研究シテ居ル所デアアルノデアリマス、我が國ニ於キマシテモ、兎角民事、刑事ノ裁判ガ遲延スルノデアリマスガ、併シ是ハ局ニ當ル人達ガ十分ノ注意ヲ下シマシテ、人事ノ公正ニ於テ、或ハ局ニ當ル者ノ訓練ニ於キマシテ、十分ニ之ヲ監督ヲ致シテ參リマシタナラバ、今日以上ニ裁判ノ審理ヲ迅速ニスルコトハ必ズ可能デアルト思フノデアリマス、ソレヲ爲サズシテ、必要ナル三審制度ヲ變更シテ、二審制度ニスルコトニ依ツテ裁判ヲ迅速ヲ來サウトスルガ如キハ、已ヲ責メズシテ他ニ累ヲ嫁スルモノデアルト言ツテモ、差支ナイカト思フ位デアリマス、更ニ當局ハ、三審制度ヲ二審ニシテモ、大正十一年以來陪審制度ヲ實施シ、更ニ現行刑事訴訟法ノ改正ニ當ツテ、大審院ノ上告ニ於キマシテ事實審理ノ途ヲ拓イタノデアアルカラシテ、此ノ時以來、我が國ノ刑事裁判ノ原則デアアル三審制度ハ若干變更サレテ居ルノデアッテ、今日改メテ之ヲ變更スルノデハナイノデアアルコト云フ風ニ説明セラアリマス、併シナガラ陪審制度ハ、實施以來ドウ云フモノカ我が國民ノ間ニ歡迎セラレナイ傾ガアルノデアリマシテ、毎年陪審ノ裁判ヲ受ケマスル件數ハ段々ニ低下シテ參リマシテ、昨年ノ如キハ陪審裁判ニ付テラレタル事件ハ僅カニ四件ニ過ギナイノデアリマス、四件ハ數件ノ事件ガアルガ爲ニ、陪審制度ヲ行フコトニ依ツテ三審ノ制度ガ額ツタノデアアルカラ、今更ニ二審制度ニスルコトニ不都合呼バハリハ困ルト云フ御意

見ハ如何ナモノデアリマセウカ、更ニ大審院ニ於ケル上告審理ニ、事實審理ハ許シテ居リマスルガ、是ハ先程松村サンカラモ御説明ガアリマシタ如ク、重大ナル事實ノ誤認アルコトヲ疑フニ足ルベキ顯著ナル事由アルトキ、今一ツハ刑ノ量定甚シク不當ナリト認ムベキ顯著ナル事由アルトキ、斯ウ云フ二ツノ場合ニ限ツテ事實審理ガ開カレルコトヲ認メテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ二ツノ條文ノ適用ニ依リマシテ大審院ニ上告セラレマスル刑事事件ノ多數ノ中、現ニ事實審理ニ付セラレテ、再ビ事實上ノ言渡ヲ受ケマスル件數ハ、實際ニ於テ極メテ少イノデアリマス、上告件數二千件内外ノ中僅カニ百分ノ七内外ノモノガ、事實審理トシテ再ビ審理セラレレルニ過ギナイノデアリマス、然ルニ一方懸デ一審判決ニ對スル控訴事件ノ判決ノ結果ヲ考ヘマスルト、其ノ約半分ニ近イモノガ、控訴審ニ於テ或ハ無罪トナリ、或ハ事實ノ認定ニ誤リアリトシテ、新ナル事實ノ認定ヲ下シ、又ハ刑ガ重キニ失スルコトシテ輕キ刑ヲ言渡サレ、若シハ執行猶豫ヲ言渡サレテ居ルノデアリマス、斯クノ如キ重大ナル影響ノアルベキ二審ヲ止メテ、控訴ヲ止メテ、サウシテ本法案ノ手續ニ於テ直チニ一審判決ニ對シテハ上告ノミヲ許スト云フガ如キ制度ヲ採ルコトハ、人權尊重ノ上ニ於テ、裁判ノ誤判ヲ防ギマスル上ニ於テ、ドウシテモ許スベカラザル所ノ舉動デアルト言ツテモ差支ナイト思フノデアリマス、ソレ故ニ私ハドウシテモ今日司法裁判制度ノ上ニ於キマシテ、此ノ法案ニ於テ一審判決ニ對スル控訴ヲ許サルガ如キ規定ヲ置キマスルコトハ許スベカラザルコトデアルト思フノデアリマスルカラ、之ニ對シテ修正ヲ加ヘテ、現在通り三審ノ制度ニ引戻スコトハ最モ必要デアルト考フルノデアリマス、以上ノ如ク修正ノ各點ニ付テ特ニ發案者ノ説明

以外、私ノ必要デアルト思フ點ヲ申上ゲテ贊成ノ趣旨ヲ述べタノデアリマス、殊ニ第一條ニ付キマシテハ更ニ他ノ議員カラ其ノ理由ヲ述べラル、コトガアルヤウニ承ツテ居ルノデアリマス、此ノ一條ノ體裁ハ誠ニ不當ノモノデアリマシテ、先程發議者ヨリモ御説明ガアリマシタ如ク、樞密院會議、閣議迄ハマダ頭ニ響キガ薄イノデアリマスルケレドモ、其ノ冒頭ニアリマスル所ノ御前會議ヲ援キ來ツテ、此ノ御前會議、樞密院會議、閣議又ハ之ニ準ズベキ會議ニ於ケル會議ノ内容、或ハ其ノ事項ヲ國家機密トシテ、之ニ觸レタルトキニ嚴重ナル刑罰ニ處スル、第三條ニハ、業務上國家機密ヲ知得シ又ハ領有シタル者ガ、之ヲ外國ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキニハ死刑以下ノ刑ニ處スル、第六條ニハ業務上國家機密ヲ知得シ又ハ領有シタル者之ヲ他人ニ漏泄シタルトキニハ五年以下ノ懲役ニ處スルコト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯クノ如ク此ノ第三條ト第六條ニ於テ、業務上國家機密ヲ知得シ又ハ領有シタル者ハ、成ル程或ハ裁判ニ關與致シマスル者又ハ各省ノ關係アル官吏ニ於テモ之ヲ知ルベキ機會ガアリマセウガ、直接ニ、露骨ニ御前會議、樞密院會議又ハ閣議ニ參列シタル者ガ、恰モ本法ノ法律ヲ犯スガ如キ條文ノ作り方ト云フモノハ、他ニ其ノ例ヲ見ザルノミナラズ、斯クノ如キ體裁ノ法文ヲ作ルコトニ依リマシテ、國民ノ我が最高官吏ニ對スル信頼ヲ薄クスル虞ガアルノデアリマス、政府ニ於ケレマシテハ、昨年ノ暮我が國ノ官吏制度ニ大改正ヲ加ヘラレテ、文官任用令、文官分限令ヲ改正サレテ、官吏制度ノ確立ヲ圖ラレタノデアリマスガ、本法案ノ第一條ノ如キ規定ヲ設ケテハ、折角官吏制度ヲ強化スルコト云フ政府ノ御趣旨ヲ裏切リ行爲ニナルノデハナカラウト心配スルノデアリマス、ソレ故ニ斯クノ如キ、畏多クモアリ、忌マハシク

モ感ゼラレル所ノ條文ノ體裁ヲモ改メテ、何人ガ見テモ普通ノ法文同様ニ之ニ對シテ嫌ナ感ジテ起サナイヤウナ法文ヲ作ツテモ、法ノ内容ニ變更ヲ來スコトハナイノデアリマスカラ、第一條ノ如キハドウシテモ之ニ對シテ變更ヲ加ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、要シマスルニ以上申上ゲマシタル修正ノ點ハ、何レモ本法案ニ於テハ重大ナル缺點トシテ到底此ノ儘ニ存スルコトヲ許サナイト思ヒマス故ニ、私共ハ茲ニ此ノ點ニ對スル修正ヲ加ヘテ、成ルベク完全ナルモノトシテ本法案ノ通過ヲ速カニ致シタイト念願シテ居ル次第デゴザイマス、以上申上ゲテ贊成ノ理由ヲ申上ゲタ次第デゴザイマス（拍手）

（松井茂君發言ノ許可ヲ求ム）

○議長（伯爵松平賴壽君） 松井君ハドウ云フコトデスカ

○松井茂君 今ノ修正案ニ對シテ發言ヲ求メタイノデアリマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 御意見ヲ御述ニナルノデカ

○松井茂君 ハア

○議長（伯爵松平賴壽君） 宜シウゴザイマス（松井茂君演壇ニ登ル）

○松井茂君 私人政府ノ原案ニ贊成スルコトモ出來マセズ、不幸ニシテ又委員會ノ修正說ニモ全然贊成モ出來マセズ立場カラ、茲ニ獨立ノ立場トシテ御迷惑ナガラ、此ノ重大ナル所ノ法案ニ對シテ默視スルニ忍ビマセヌノデ、茲ニ一言致シテ置キタイト存ズルノデアリマス、私ハ松村議員ノ述ベラレマシタ所ノ國防保安法案ノ第一條ノ修正說ニハ、心カラ同意ノ意ヲ表スル者デアリマス、其ノ理由ハ只今松村、小原兩議員カラモ御説明ガゴザイマシタノデ明カデゴザイマスガ、特ニ私ガ熱心ニ此ノ一條ニ同意致シマス所以ハ、今更申上ゲル迄モゴザイマセヌガ、我が國ハ淳風美俗ノ國柄デゴザ

イマシテ、所謂道徳國家デアアルノデアリマス、法律デモ警察デモ道徳ヲ維持スル手段トシテ茲ニ存在シテ居ルノハ今更申上ゲモナイノデアリマス、ソコデ斯クノ如キ重要ナル所ノ法案ヲ議スルニ當リマシテハ、立法工作上、餘程我が國ノ淳風美俗ヲ基礎トシテ法案ノ御立テ方ニ注意ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス、然ルニ此ノ法案ハ、一見シテ忽チ人ヲシテ恐怖ノ念ヲ起サシムルモノガアリマシテ、殊ニ國民ノ第一線ニ立チ、而モ其ノ最重要ノ地位ニ居ル所ノ最高官吏ヲ非國民視スルガ如キ所ノ誤解ヲ、少シデモ與ヘルト云フコトニ相成リマシテハ、我が國ノ如キ所ノ國體上實ニ由タシキ大事デアリマス、國體上世道人心ノ上ニ影響ヲ及スコトハ實ニ甚大ナルモノガアルノデアリマス、殊ニ御前會議ノコトナドヲ此ノ法文中ニ明記スルガ如キコトハ、日本ノ傳統的精神ニ反スルコトハ最も大ナルモノガアルノデアリマス、修正說ハ、御前會議以下ノ列記事項ヲ削リマシテ、サウシテ「國家機密トハ國防上外國ニ對シテ秘密スルコトヲ要スル外交、財政、經濟其ノ他ニ關スル重要ナル事項及之ヲ表示スル圖書物件」云々、斯ウ云フ修正案デアリマスガ、是モ觀方ニ依レバ一見頗ル不完全ノヤウナ感ジガナイデハゴザイマセズ、ガ何物ナリト云フ概念ダケハ此ノ修正說ニ於テ與ヘラレルノデアリマス、殊ニ第二項ニ於キマシテ、「前項ノ事項及圖書物件ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウ修正シマス以上修正說ハ、原案ニ對比シマシテハ一般民ニ對シテ餘程心持ヲ柔カニシタカノ如キ感ヲ與ヘルノデアリマス、元來國家機密ナドト云フヤウナ言葉ノ具體的ノ説明ト云フモノハ、ソレハナカ／＼出來ルモノデヤアリマセズ、ソレハ無理デス、安寧秩序ト云フ言葉ヲ昔カラ度々申シマスケレドモ、安寧秩序ト云

フ内容ハ時代ニ依ッテ解釋ガ違フノデアリマス、日本ノ安寧秩序ト、「ドイツ」ノ安寧秩序トハ違ヒマス、又日本モ時代ニ依ッテ安寧秩序ノ内容ハ餘程變ヘテ行カナケレバナラス、是ハ當然ノコトデアリマス、國家機密モ是ト同様デアリマス、故ニ之ヲ完全無缺ニ定メザイマセズ、ソレヲ望ムノハソレハ無理デアリマス、殊ニ修正案ハ、其ノ解釋ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムト云フコトニ歸著スルノデアリマスカラ、勅令ノ内容ニ於キマシテ出來ルダケ深切ニ各官憲ガ之ヲ指定スルト云フコトハ、最も適當ナリ方デアッテ、法ガ活キテ來ヨウト思フノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ此ノ修正案ハ最も時宜ニ適シタル立法方法デアアルト考ヘルノデアリマス、私ハ本法ノ第一條ハ骨子デゴザイマスル故ニ、之ニ對シテハ最初ヨリ非常ニ重キヲ置イテ居ル者ノ一人デアリマス、私ハ又今日ノ如キ國防國家ノ時代ニ於キマシテハ、國民モ亦平素トハ違ヒマスルカラ、立法工作上ニ付キマシテモ餘程深キ考慮ヲ拂ハネバナラスト思フノデアリマス、就中問題トナッテ居リマスルノハ、先刻來モ度々御話ノアリマシタ如クニ、第八條ノ末段ノ問題デアリマシテ、是ハ修正說モ出マシテ、私モ實ハ此ノ問題ニ付テハ非常ニ頭ヲ痛メマシテ、一時ハ同意シヨウカトモ考ヘマスルシ、又多年斯ウ云フ方面ニ多少關係シテ居リマスル關係上カラ、ドウモ「虞アリ」ヤウナ言葉ハ、警察ナドニハ能クアル言葉デアリマシテ、非常ニ運用上ハ妙デアリマスルガ、又危險ノアルト云フコトモ能ク存ジテ居リマス、隨分此ノ八條ノ問題ニ付キマシテハ頭ヲ悩マシタノデアリマス、ソコデ是ガ一條ダト、國民ノ疑怖心ガ餘程去ルト言ヒナガラ、虞アリト云フノハ疑怖心ガ失張り去ラナイ、茲ニ私ハ苦痛ガアツタデス、矛盾ガアルヤウニ……、一條ハサウ云フ工合ニヤ

ル、虞アリニ贊成ヲシテハ何ダカ矛盾スルヤウニ思ツタノデアリマス、併シ段々考ヘマシタガ、ドウモ茲ニ運用ニ付テ色々條件ヲ附ケテ、サウシテ是非此ノ政府ノ原案ニ私ハ一個トシテ贊成スル決心ヲ起シマシタ、又此ノ八條ノ末段ノ此ノ問題ト同時ニ、私ノ頭ヲ非常ニ痛メマシタノハ、第十七條以下ノ司法警察官ノ勾引、訊問、勾留等ノ權限ヲ、付與スベキカ否カト云フコトヲ慮心坦懷ニ、國民ノ一人トシテ實ハ非常ニ考ヘテ見マシタ、是迄ノ經驗上、行政執行法ノ運用ノ評判ノ惡イコトモ能ク存ジ上ゲテ居リマス、併シナガラ今日ノ高度國防國家ニ於キマシテ、斷ジテ職權濫用ハ殊ニ許スコトハ出來マセズ、併シナガラ國家ハ強クナケレバナラス、殊ニ斯ウ云フ時節ナラ警察力モ強クナケテハナリマセズ、ソコデ非常ニ私ノ頭ヲハ悩マシタ問題デアリマス、私ハ忌憚ナク申上ゲマスガ、常ニ警察官ニ接スル折ガ多イノデアリマシテ、ドウモ世間デハ評判ガ惡イゾ、餘程君、職權濫用ト云フコトハ氣ヲ付ケナイト權力ヲ使用スル職權濫用ヲヤルト段々判ラレルカラ、詰リ差引警察ノ損ニナルノダト云フコトヲ能ク言ッテ居ル一人デアリマス、ソコデ委員會ニ於テモ、私等ニ對シマシテモハ餘程警察ヲ愛シテ居ル至情カラ御忠告ノ方モアリマシタ、此ノ案ハ修正案ニ贊成ニナッタ宜カラウト云フヤウナ好意ノ御忠告モアリマシタ、斯ウ云フヤウナコトカラ、私ハ非常ニ此ノ問題デ實ハ頭ヲ悩マシタノデス、ソコデ結局第八條ノ末段ト、是等ノ二ツノ問題ニ對シテ、私ハ政府案ノ方ニ同意シタ所以ハ、決シテ實ハ簡單デナイノデス、私ノ氣持ハ貴重ナ時間ヲ費シテ、度々私ハ此ノ本會議ニ於キマシテモ、豫算委員會ニ於テモ、將來色々斯ウ重大國家ニナッテ來ルト、警察ガ大切ニナッテ來ル、此ノ時ニ警察ノ組織ヲ待遇ヤ

色々ナ問題が良クナッテ行カナイト、大變困ルゾト思フ所ヘ、今度國防法案が出タト云フ事態ニツツカリマシテ、ソレデ一層感ヲ深クシタノデアリマス、強力ナル所ノ國家ノ治安機關ヲ今日作リ上ゲルト云フコトハ、時代ガ遅レテ居ルノデアリマス、是ハ私ガ度々本議會ニ於テ糾糾シタノモソレナンドアリマス、殊ニ私ハ國防法案が出ルト云フコトヲ、治安法案が出ルト云フコトヲ聞キマシテ、益々感ヲ深クシマシタカラ、誠ニ御迷惑ダトハ萬々察シテ居ルニ拘ラズ、先般豫算委員會ニ發言ヲ求メマシテ、近衛首相及平沼内務大臣ニ向ヒマシテ、國防保安法案が出テモ何ニモナリマセズ、一方ニ治安ノ機關ガ餘程強イ一絲索レヌ所ノ方策ガ立ッテ居ラナケレバイケマセズ、内務大臣ハ今内地ダケノ警察デアル、臺灣、朝鮮デハ總督ガ各、警察權ヲ持ッテ居ル、ソレデ三元ノニナッテ居ル、總理大臣ガ警察ノ中心ヲ持ッテ一旦緩急アレバ忽チ命令一下此ノ事ヲ行ハネバナラス、我が國バカリデヤアリマシス、時代ノ要求ニ應ジナイ是デヤ……、ソレデヤ其ノ實行ハ誰ガヤルカト云フト、矢張り内務省ガシカリシナケレバナラスト云フ問題、ソコデ官制ヲ作りマシテ、總理大臣若シハ總理大臣ノ名ニ於テ、内務大臣ガ一面ニ付キマシテ全國ノ、此ノ日本ノ領土全體ノコトニ對シテノ指揮權ヲ持タナケレバナラス、是ガ此ノ國防法案ヲ實行スル上ニハ、最も緊要ナ問題ト固ク信ジテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デゴザイマスカラ、此ノ必ズ戰爭ガアリマスト、何レノ國ニモ、我が國デモ思想問題ニ伴ッテ騷擾事件ガ起ル、起ルコトヲ覺悟シナケレバナリマセズ、騷擾事件ガアレバ必ズ思想問題ト立チ竝ビマシテ防禦問題ト云フモノガ必ズ之ニ伴ヒ、且防空問題ト云フモノモ是ト必ズ關係ノアルモノデアアルコトハ、今更申上ゲル迄モナイノデアリマス、

要スルニサウ云フヤウナ問題ヲ一纏メニ致シマシテ、強力ナル所ノ治安機關ノ設備ヲ造ルコトガ最も必要デアル、而シテ此ノ國防保安法案ハ、處罰スル時ニハ是ハ司法省ノ關係ニナリマスケレドモガ、平素ノモノノ行政上ノ性質ハ全ク内務省系統ノ是ハモノデアアルコトハ一點ノ疑ガナイノデアリマス、中心ハソコニ持ッテ置カナケレバナラスノデアリマス、斯ウ考ヘマスト、此ノ私ノ心配ヲシテ居ル所ノ八條ノ末段並ニ司法警察官ニ權力ヲ附與スルト云フ問題ト、治安ノ機關ヲ立派ニ造リ上ゲルト云フ問題ハ關聯シテ居ルノデアリマス、私ハ若シモ、斯ウ云フ問題ニ付テ早ク實行致シマセト、悔ヲ百歳ニ貽シハシナイカト云フコトヲ國家ノ爲ニ憂ヘテ居ル者ノ一人デアリマス、現ニ御承知ノ如クニ「ドイッ」ハ大分以前カラ、「ヒットラー」ガ總統ニナリマシテカラ以來、多年ノ問題デアリマシタ所ノ各聯邦ノ警察權ヲ打ッテ一丸ト致シマシテ、一元ノニ致シタノデアリマス、殊ニ國防保安ニ直接關係ノ深イ所ノ「ゲシュタポ」ノ組織ノ如キハ、實ニ到レリ毒セリノモノデアアルト云フコトハ、今更申上ゲル迄モナイノデアリマス、又最近「ロシヤ」ニ於キマシテハ、内務省カラ治安省ヲ分離致シマシテ、茲ニ治安大臣ヲ置イテ居ルノデアリマス、餘所ノ國ノコトハドウデモ宜シイ、我が國ハ警察國家デハナイ、我が國ハ我が國ノ長イ間ノ歴史ガアリマス、之ヲ三考シテ、又今日ノヤウナ時局ニハ時局相當ノ方策ヲ講ズルト云フコトガ急務中ノ急務ナンドアリマス、我が國ノ警察ハ其ノ統一組織ニ於キマシテ、又警察官ノ廉恥心ト云フ點ニ於キマシテモ、殊ニ特高警察官ノ如キハ是迄大ノ貢獻ヲ致シテ居ルコトハ、涙ダマシイモノガアルノデアリマス、又刑事警察ノ如キモ、決シテ各國ニ後レテハ居ラヌノデアリマス、併シ先刻小原議員ヨリモ申サレマシタ通り、

時ニハ職權濫用ノコトモアリマシテ、ソレガドウモ實ニ我々モ憂慮ニ堪ヘナイ苦痛ノ一ツデアリマス、然ルニ警察官ノ待遇トカ、素質トカ、教養ト云フヤウナ問題ノ如キハ先刻松村議員カラモ、教養ノ問題ハ殊ニ御話ガアリマシタ如ク、最も急務中ノ急務ナンドデアリマス、ソレガウマク行カナイデ、國防保安法案ノ制定ヲ致シマシテモ、如何ナルモノデアラウカト云フコトヲ特ニ感ズル次第デアリマス、以上中央治安機關ノ強化及警察官ノ向上問題、斯ウ云フヤウナ實行ヲ熱望的ニ私ハ希望條件ト致シマシテ、茲ニ第一條ノ修正說ニ同意スルト同時ニ、第一條以外ノ政府ノ原案ニ對シマシテハ贊成ノ意ヲ表スル次第デゴザイマス

○議長(伯爵松平賴壽) 他ニ御發言モナイト認メマスカラ、先ヅ第一條ノ修正案ヲ問題ニ供シマス、第一條ノ修正案ノ表決ニ付キマシテハ、伯爵黒木三次君外十九名ヨリ、記名投票ヲ以テ表決ヲ爲スノ要求ニ接シマシタ、故ニ本院規則第百十八條ニ依リマシテ、記名投票ヲ以テ表決ヲ致シマス、本院規則第百十九條ニ依リマシテ、本修正ヲ可トスル諸君ハ白色票ヲ、本修正ヲ否トスル諸君ハ青色票ヲ御投票ヲ請ヒマス、尙念ノ爲申上ゲマス、投票ハ議席ニ備ヘテアリマスル名刺ヲ御使用ヲ願ヒマス、諸君ノ氏名ノ點呼ハ之ヲ省略致シマシテ、公爵島津忠重君ヨリ順次此ノ演壇ニ御登リ下サレ、御投票アラムコトヲ望ミマス

(投票執行)

○議長(伯爵松平賴壽) 投票漏ハゴザイマセスカ……投票漏ハナイト認メマス、是ヨリ開票ヲ致シマス、書記官ヲシテ投票ヲ計算致サセマス

(書記官投票ヲ計算ス)

○議長(伯爵松平賴壽) 記名投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數二百四十票、白色票ヲ投ジタル者ガ七十七票、青

色票ヲ投ジタル者百六十三、即チ修正ヲ否トスル者百六十三、多數デアリマス、故ニ第一條ノ修正案ハ否決セラレマシタ

(參照)

賛成 七十七名
反對 百六十三名
贊成者氏名
公爵島津 忠重君 公爵一條 實孝君
公爵德川 家正君 公爵島津 忠承君
公爵若倉 俱榮君 公爵二條 彌基君
侯爵井上 三郎君 侯爵久我 通顯君
關屋貞三郎君 長岡半太郎君
松井 茂君 水野鍊太郎君
犬塚勝太郎君 織田 萬君
宇佐美勝夫君 小野塚喜平次君
光行 次郎君 有吉 忠一君
姉崎 正治君 小原 直君
河井 彌八君 出淵 勝次君
入江 貫一君 男爵小池 正晃君
有田 八郎君 下條 康麿君
石渡莊太郎君 内田 重成君
岡 喜七郎君 男爵辻 太郎君
建部 遼吾君 川村 竹治君
太田 政弘君 山川 端夫君
長谷川勉夫君 男爵井上 清純君
男爵伊江 朝助君 男爵安場 保健君
男爵奥田 剛郎君 男爵肝付 兼英君
男爵八代五郎選君 男爵村田 保定君
中村純九郎君 橋本圭三郎君
倉知 鐵吉君 坂野鉄次郎君
三浦 新七君 田所 美治君
岡田 文次君 澤田 牛麿君
赤池 濃君 次田大三郎君
松村 義一君 長岡隆一郎君
古島 一雄君 土方 久徵君
稻畑勝太郎君 兒玉 謙次君
田澤 義鋪君 澁澤 金藏君
米山 梅吉君 三橋四郎次君
下出 民義君 熊谷三太郎君

小坂 梅吉君 松本勝太郎君
岩田 市造君 平沼 亮三君
塩田 團平君 片倉兼太郎君
出光 佐三君 大西虎之介君
大谷 五平君 諸橋久太郎君
佐藤助九郎君 中野 敏雄君
柴田兵一郎君

反對者氏名

公爵桂 廣太郎君 侯爵佐佐木行忠君
伯爵松本 宗隆君 伯爵林 博太郎君
伯爵柳原 義光君 伯爵兄玉 秀雄君
伯爵樺山 愛輔君 伯爵二荒 芳德君
伯爵黒木 三次君 伯爵酒井 忠正君
伯爵山本 清君 伯爵柳澤 保承君
伯爵橋本 實斐君 伯爵徳川 宗敬君
伯爵大木 喜福君 伯爵大井 成元君
子爵梅小路定行君 子爵青木 信光君
子爵冷泉 爲男君 子爵安保 清種君
子爵前田 利定君 子爵西大路吉光君
子爵清岡 長言君 子爵野村 益三君
子爵井上四郎君 子爵今城 定政君
子爵西四辻公亮君 子爵加藤 泰通君
子爵立見 豊丸君 子爵立花 種忠君
子爵秋月 種英君 子爵大河内輝耕君
子爵八條 隆正君 子爵伊東二郎九君
子爵保科 正昭君 子爵岡部 長景君
子爵松平 保男君 子爵谷 儀一君
子爵松元 春朝君 子爵松平 忠壽君
子爵米田 國臣君 子爵松平 乘純君
子爵河瀬 眞君 子爵西尾 忠方君
子爵波多野二郎君 子爵富小路隆直君
子爵裏松 友光君 子爵秋田 重季君
子爵植村 家治君 子爵戸澤 正巳君
子爵織田 信恒君 子爵北小路三郎君
子爵大岡 忠綱君 子爵實吉 純郎君
子爵大島陸太郎君 子爵梅園 篤彦君
子爵安藤 信昭君 子爵京極 高修君
子爵北條 萬八君 子爵柳澤 光治君
子爵舟橋 清賢君 子爵松平 康春君

子爵土岐 章君 子爵綾小路 護君
子爵高木 正得君 子爵三島 通陽君
子爵本多 忠晃君 子爵入江 爲常君
子爵仙石 久英君 子爵牧野 康熙君
子爵酒井 忠英君 子爵上原七之助君
子爵池田 政銀君 子爵由利 正通君
子爵錦小路頼孝君 子爵水野 勝邦君
子爵京極 高銳君 田中館愛橘君
小山 松吉君 男爵千田 嘉平君
平塚 廣義君 男爵東久世秀雄君
宮城長五郎君 吉田 茂君
河原田稼吉君 廣瀬 久忠君
賀屋 興宣君 安井 英二君
藤原銀次郎君 坂西利八郎君
男爵小畑大太郎君 男爵中川 良長君
伍堂 卓雄君 村田 省藏君
田邊 治通君 男爵前田 勇君
男爵淺田 良逸君 男爵山中秀二郎君
男爵井田 磐楠君 男爵久保田敬一君
男爵大藏 道俱君 男爵今園 國貞君
男爵矢吹 省三君 男爵大森 佳一君
男爵渡邊 汀君 河田 烈君
横山 助成君 長 世吉君
男爵柴山 昌生君 男爵飯田精太郎君
男爵伊藤 文吉君 男爵山川 建君
男爵中村 謙一君 男爵近藤 弓彦君
男爵北島 貴孝君 男爵關 滋彌君
男爵三須 精一君 男爵松平外與麿君
男爵稻田 昌植君 男爵中御門經民君
男爵坊城 俊賢君 男爵深尾隆太郎君
男爵渡邊 修二君 男爵杉溪 由言君
男爵加藤 成之君 男爵岩村 一木君
男爵神山 嘉瑞君 男爵山根 健男君
男爵北大路信明君 男爵西 健男君
男爵島津 忠彦君 男爵水谷川忠麿君
男爵宮原 旭君 男爵明石 元長君

山岡萬之助君 宮田 光雄君
黒田 英雄君 竹内 可吉君
有賀 光豐君 藤沼 庄平君
大塚 惟精君 唐澤 俊樹君
太田 耕造君 堀 啓次郎君
瀧川 儀作君 野村 徳七君
野村茂久馬君 大澤徳太郎君
田部長右衛門君 佐々木嘉太郎君
中島徳太郎君 中山 太一君
米原 章三君 松井貞太郎君
二瓶泰次郎君 齋藤万壽雄君
飯塚 知信君 野田六左衛門君
岩元 達一君

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○子爵植村家治君 賛成
○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第二、蠶絲業統制法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、八條子爵

蠶絲業統制法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和十六年二月二十六日
委員長 子爵八條 隆正
貴族院議長伯爵松平頼壽殿
〔子爵八條隆正君演壇ニ登ル〕
〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著ク〕
○子爵八條隆正君 只今議題トナリマシタ蠶絲業統制法案ニ付キマシテ、特別委員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ去ル二月二十二日以來四日間ニ互リ開會致シマシテ、本案ガ我が國蠶絲業ノ統制ニ關スル劃期的立法デアリ、對外貿易並ニ養蠶農家ヲ初メ蠶絲關係業者ニ重大ノ關係ヲ有シマスルニ鑑ミマシテ、慎重審議ヲ重ネマシタ結果、昨二十六日ノ委員會ニ於キマシテ討論ヲ經、採決ノ結果全委員異議ナク衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘラ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ガナケレバ、其ノ他ノ修正案全部ヲ問題ニ供シマス、修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
〔起立者少數〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 少數ト認メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○議長(伯爵松平頼壽君) チョット御待チ下サイ、マダ早イヤウデスカラ……只今、其ノ他ノ修正案全部ヲ問題ニ供シテ、起立ニ諮ヒマシテ少數ト認メマシタ、故ニ修正案ハ全部否決セラレマシタ
○議長(伯爵松平頼壽君) 次ニ問題ニ供シマスルノハ、修正意見ノ提出ノアリマシタ簡條ト御承知ヲ願ヒマス、原案通りデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス
○議長(伯爵松平頼壽君) 次ニ残り全部ヲ問題ニ供シマス、全部、原案通りデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認メマス

レマシタル、衆議院送付案ヲ可決致シマシタ
ノデアリマス。本法案ノ目的トスル所ハ、過
日本議場ニ於キマシテ農林大臣ヨリ御説明
ガアリマシタガ、現下ノ國際情勢ニ對應致
シマシテ、現ニ最も多ク海外輸出ニ依存シ
テ居ル蠶絲業ニ對シ、萬一ノ事態ガ生ジタ
ル場合ニ於テモ一舉ニ大ナル動搖ヲ來サシ
メザルヤウニ、豫メ準備ヲ致シマスルト共
ニ、海外依存ヲ脱却シテ、國內ニ於ケル諸
種ノ纖維資源ノ充足ニモ向ハシメ、又從來生
絲ノ價格ノ變動ニ依リ、極メテ不安定デア
リマシタ蠶絲業ノ經營ヲ確固トシタ基礎ノ
上ニ安定セシメマス爲ニ、其ノ生産配給
消費ヲ通ジテ蠶絲業ノ全體ヲ綜合的ニ統制
スル體制ヲ確立セムトスルモノデアリマス、
而シテ本案ノ主タル内容ハ一、蠶種、繭、
生絲等ノ蠶絲類ノ用途別計畫、各生産者ニ
對スル生産ノ割當等、計畫生産制ノ確立、
二、日本蠶絲統制株式會社ノ設立、此ノ
會社ノ蠶絲類ノ一手買入及一手販賣ニ依ル
配給統制、三、蠶絲類ノ賣買價格ノ決定、
四、繭及生絲ニ關スル檢定及検査制度ノ擴
充、五、桑園ノ新設、又ハ擴張ノ許可制度
實施、六、絲價安定施設特別會計ノ資金ノ
擴充等ヲ規定致シテ居ルデアリマス、此
ノ政府ノ提出ノ原案ニ對シマシテハ、衆議
院ニ於テ修正ガ加ヘラレテ居リマスルガ、
ソレハ第二十九條第二項ト致シマシテ、「蠶
絲業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ
職ヲ退キタル後五年間日本蠶絲統制株式會
社ノ役員ト爲リ又ハ其ノ給與ヲ受クル事務
ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ
特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在
ラズ」とノ一項ヲ加ヘラレタノデアリマス、
是ヨリ質疑應答ノ主ナルモノヲ御紹介致シ、
御參議ノ御參考ニ供シヨウト思ヒマス、其
ノ第一ハ桑園ニ關スル問題デアリマス、桑
園ニ付キマシテハ本法實施ト共ニ政府ハ桑

園ノ面積ヲ減少シ、將來ノ新設、擴張ヲ許
可制度トシ、大體ニ於テ桑園面積ノ増加ヲ
抑止スルノ方策ヲ執ラムトスルノデアリマ
スガ、之ニ關シマシテ種々ノ御質問又ハ意
見ガ出タノデアリマス、即チ桑園整理ノ目
的ハ如何、又桑園整理ノ結果繭ノ生産ニ及
ス影響如何、即チ繭ノ減產ヲ來スベシト思
ハレルガ、繭ハ生絲トシテ外貨獲得ト同時
ニ現時國內纖維資源不足ノ際、國內需要充
足ノ爲ニ寧ロ増產スベキニ非ズヤトノ御意
見モアッタノデアリマス、又桑園整理ノ方法
如何等ニ付テノ御質問ガアリマシタ、是等
ノ質問ニ對スル政府ノ答辯ハ桑園整理ハ現
在整理ヲ要スル不良ノ桑園モアルガ、今回桑
園整理ヲ爲サムトスル目的ハ主トシテ食糧
増產計畫ノ爲デアッテ、或程度能率ノ劣タ
桑園ヲ田畑ニ轉換シ、米、麥、甘藷、馬鈴薯等
ノ増產ヲ圖ラムトスルノデアアル、又繭ノ生
產額ニ付テハ一時的ニ多少減少スルコトハ
考ヘラレルガ、肥料管理、飼育方法ノ改善ニ
意ヲ注イデ、大體ニ於テ現狀ヲ維持シ、將來
段當リ收穫額ノ増加ヲ圖リタイトノコトデ
アリマシテ、又桑園整理ハ主トシテ食糧増
產ノ爲デアアル、從ツテ桑園ヲ廢シ田畑ト成
スモ後作不良ナルトキハ桑園整理ノ效果ガ
ナイノデアアル、故ニ桑園ノ整理ハ後作ノ適
不適ヲ考ヘテ、實行スルモノデアアルカラシ
テ全國一律ニ平均割當ヲ爲スベキモノデハ
ナイトノ答辯デアリマシタ、第二ハ本法ハ
原則ト致シマシテ統制會社ニ依リ蠶絲ノ一
手買入、一手販賣ニ依リ統制ヲスルコトニ
ナツテ居リマスルガ、輸出生絲ハ例外ト云フ
統制ヨリ除外シ、輸出ハ現行ノ通り放任ス
ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、之ニ
關シマシテ輸出生絲モ國內生絲ト共ニ統制
會社ニ於テ一元の統制ヲ爲シ其ノ價格ヲ輸
出生絲ト國用生絲トニ、二本建ト爲スガ宜
イデハナイカトノ質問ガアリマシタガ、之
對スル政府ノ答辯ハ生絲ハ供給潤澤ノ傾向

ガアリ、統制會社ガ一手ニ物ヲ持ツ結果ハ
需要者ニ推サレテ、價格ハ維持シ難ク、漸次
低落シ、外貨獲得ノ必要ナルノトキ、逆結果
ガ現ハレル虞ガアル、又會社ガ一元統制的
ニ輸出生絲ヲモ買取ルコトトスルニハ其
ノ買入價格ハ各絲ノ格ニ依リテ買値ヲ定ム
ル結果、生産者ハ採算上最も有利ナル絲ヲ
作り、種類、品質ガ或種ニ偏シテ、爲ニ輸
出困難トナル虞ガアル、尙價格一定致シマ
スレバ最も優良ナル絲ヲ作ラムトスルノ努
力ヲ減ジマシテ、品質ノ低下ヲ來ス虞ガアル、
故ニ生絲ノ輸出ハ現在ノ方法ニ依ルヲ
適當ト考フトノコトデアリマシタ、第三ニ
輸出生絲ノ取扱ニ關聯シテ、生絲ノ清算取
引市場ノ存廢如何、又輸出生絲ノ生産數量
ガ限定セラレル結果、投機思惑ガ多クナリ
ハセヌカトノ質問ガアリマシタガ、之ニ對
シマシテハ輸出生絲ハ前述ノ如ク從來ノ方
法ニ依テ取引ヲ行ハシムル結果、清算取引
市場ハ之ヲ存続スルコトニナルガ、又絲價
安定措置ヲ強化シテ、輸出生絲ノ幅幅ハ相
當ニ縮小サレル故ニ、思惑的投機ノ對象ト
ナルヤウナ虞ハ少イト云フ答辯ガアリマシ
タ、第四ニハ蠶絲關係業者ノ失業問題ニ付
テノ質問デアリマスガ、本法ニ依ル蠶絲業
統制ノ結果、中小製絲業者、輸出商、問屋
又ハ繭、生絲ノ中間商人等ニ失業其ノ他ノ
不安ガアルガ、現在ノ狀況ニ急激ナル變化
ナキヤウ御意ヲ要スベシトノ意見、又其ノ
對策ニ付テノ質問ガアリマシタガ、此ノ點
ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ全く同感デ
アル故ニ、各業者ニ不安又ハ失業等ノ是ナ
キヤウ、極力避ケタイト思フ、輸出問屋ハ
取扱數量ガ少クナリ、營業縮小ノ心配アル
模様デアアルガ、國用絲ノ検査モ、主トシテ
橫濱神戸ノ國立検査所ニ於テ検査セシムル
方針デアアルヲ以テ、此ノ關係ヨリシテモ、
問屋ノ仕事ハ著シク減少セヌモノト思ハレ
ル、又繭商人生絲商人ニ付テモ失業業者ヲ出

シタクナイノデ、今後は等ノ業者ヲ利用シ
テ、多クノ利益ヲ得セシムルト云フコトハ
出來ナイガ、職場ハ出來得ル限り殘シタイ
ト思フトノコトデアリマシタ、第五ハ、繭
ノ短纖維用トシテノ利用ニ關スル問題デア
リマス、即チ短纖維用繭ハ生絲用ノ繭ト異
テ、廉價ヲ以テ配給セネバナラヌガ、其ノ
結果養蠶農家は負擔ヲ強ヒルコトハナラ
ナイカ、又繭纖維ヲ羊毛棉花等ノ代リトシ
テ、廣ク實用纖維トシテ使用スル爲ニハ、
將來繭ノ生産費ヲ低下セシメナケレバナラ
ヌト思フガ如何等ノ質問ガアリ、又國內ニ
於テ纖維不足ノ際、繭ノ生産額ヲ計畫的ニ
限定スルノ必要ハナイ、寧ロ増產シテ纖維
ノ充足ニ充ツベキデアルトノ意見モアリマ
シタ、之ニ對シマシテ、政府ニ於テハ、會
社ガ繭ヲ買上ゲル時ニハ、繭ノ生産費ヲ基
準トシタル價格ヲ以テ買上ゲルノデアアルガ
故ニ、養蠶業者ノ利益ハ保證サレテ居リ、會
社ハ長纖維用短纖維用共ニ同値ニテ買入
レ、「プール」計算ニテ處分スルコトデアアル
カラ、養蠶家は不利ヲ與フルモノデハナイ、
又短纖維用ノ繭ハ特殊繭デアッテ、飼育容易
ノモノデアアルカラ、從ツテ當初ハ多少斟酌ヲ
セネバナラヌガ、元來長纖維用繭ノ生産ニ
比シテ生産費ハ低廉ナルベキモノデアアル、
今後努力ニ依ッテ相當安クナル見込デアアル、
又國內需要ニ應ジ、短纖維用繭ヲ増產スル
ノ必要ハ同感デアアルガ、現在ニ於テハ、設
備ノ關係上急激ニ大量の生産ハ不可能デア
ルガ、將來ノ問題トシテハ、出來ルダケ低
廉ニ且多量ニ生産スルコトヲ考ヘテ居ル
トノ答辯デアリマシタ、第六ハ、支那蠶絲業
トノ調整ノ問題デアリマスガ、日本ノ蠶絲
統制ヲ強化スル場合、支那ノ蠶絲業ガ有利
ナル地步ヲ以テ競争スルコトトナツタナラバ、
日本ノ統制ニ破綻ヲ來ス虞アリトシテ、政
府ノ之ニ對スル所見ヲ質サレマシタガ、政
府トシテモ支那ノ蠶絲業ハ我が蠶絲業ノ強

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(佐賀松平齋壽) 休憩前ニ引續キ
マシテ開會致シマス、日程第三、木材統制

思想ノ涵養ニ不安ヲ與ヘ、
 治山治水ニ惡影
 響ヲ與ヘルコトノナイヤウニ、
 特ニ慎重ナ

アリマシタ、第二ニ日本木材株式會社ニハ政府出資ヲ爲スベキデハナイカ、又親會社ニ配當ヲ保證スルナラバ、子會社ニモ配當ノ保證ヲ爲スベキデハナイカトノ質疑ニ對シマシテハ、政府ハ現下ノ財政事情等ニ鑑ミテ、日本木材株式會社ニ政府出資ヲ爲スコトハ困難ナルガ、民間出資ノミヲ以テ十分成立シ得ル見込アルガ、又之ニ對シ配當保證ヲ行フコトニ依ッテ、親會社、子會社間ノ配當調整ニ付キ、善處シテ實效ヲ擧ゲタイ旨答辯ガアリマシタ、第三ニ本法案ノ實施ニ依ッテ、既存ノ業者ハ其ノ營業ノ基礎ヲ失ヒ、窮況ニ陥ルノデハナイカトノ質疑ニ對シマシテ、政府ハ既存ノ業者ハ一面會社ノ出資トナルト共ニ、之ニ吸收サレルモノガアルノ外、會社ノ株ノ協力機關トナルベキモノデアリ、尙會社ノ取扱ハナイ木材ニ關シテハ既存業者ノ活動ニ俟ツベキモノガ多イデアッテ、本法案ノ實施ニ依ッテ是等既存業者ノ營業ニ急激ナル混亂ヲ來タサナイヤウ十分留意シタイ、殊ニ消費地ニ於ケル木材業者ノ統制ニ關シテハ、地方木材株式會社ニ準ズル株式會社又ハ組合等ニ依ッテ、木材荷受配給統制機構ヲ調整セシメルモノデアル旨ノ答辯ガアリマシタ、第四ニ、本法案ハ現在アル木材ヲ統制スルコトヲ目的トシテ居テ、積極的ニ木材資源ノ増殖ヲ圖ルコトヲ目的トシテ居ラスヤウニ考ヘラレ

備ニ對スル政府ノ所見如何、トノ質疑ニ對シマシテ、政府ハ日本木材株式會社及地方木材株式會社ノ陣容ノ整備ニ當ッテ、中央地方ノ業者ノ中ヨリ最モ卓越シタル者ヲ集メタイト考ヘテ居ル旨ノ答辯ガアリマシタ、第六ニ、國策會社ガ多額ノ手數料ヲ取ル爲ニ、其ノ統制ヲ受クルモノハ非常ニ迷惑ヲ蒙ムル場合ガ多イガ、政府ハ木材會社ノ手數料ヲ尙低廉ニスル意思ガアルカトノ質疑ニ對シマシテハ、政府ハ本會社ノ手數料ハ會社運營業上必要ナル最小限度ニ於テ之ヲ徵收スルコトトシ、出來ルダケ其ノ引下ヲ圖ル考デアル旨ノ答辯ガゴザイマシタ、最後ニ、内外地國有林民有林ヲ通ジテ伐採ノ均衡ヲ保持スル必要ガアルト思フガ如何、トノ質疑ニ對シマシテ、政府ハ内外地及官民ヲ通ジテ採ノ均衡ヲ保持シ、森林生産ノ保護ヲ圖ルコトニ關シテハ、政府モ其ノ必要ヲ認メテ居リ、統一アル林政ノ實施ニ基キ適當ナル施策ヲ講ジタイ旨ノ答辯ガアリマシタ、以上ノ外木材會社ノ組織並ニ運營業、其ノ他本法案ノ運用ニ付キマシテ、尙色々ト質問應答ガ行ハレタノデアリマスガ、是等ハ長クナリマスカラ、速記録ニ讓リタイト存ジマス、斯ク致シマシテ討論ニ入りマシタ處、一委員ヨリ、戰時經濟ニ於テ木材ガ軍用材ヲ始メ各種用材トシテ、生産擴充、住宅營團等ニ必要缺クベカラザルモノデアリ、從ッテ木材需給ノ圓滑ヲ圖ル爲ニ木材統制ノ必要ナルコトヲ認メルガ故ニ、本案ニ贊意ヲ表スルモノデアアルガ、日本木材株式會社並ニ地方木材株式會社ノ運營業ニ當ッテハ、地方ノ事情ヲ十分ニ考慮シテ、業者ニ對シ不安ナカラシムルコトヲ切望スル、殊ニ地方木材統制株式會社ノ設立ニ關シテハ、行政區域ニ準據スル適切ナル配置ガ望マシイ、而シテ會社ノ組織並ニ監督ニ關シテハ、十分ニ注意ヲ拂ハレ、特ニ法案第二條ニ關スル勅令施行ノ際ニ於テハ、當局ノ言明ニ依ッテ既

ニ之ヲ諒トスルモノデアアルケレドモ、尙立木價格並ニ伐採ノ査定ニ留意セラレ、生産ノ確保ニノミ重點ヲ置イテ國土計畫上治山治水、森林資源ノ培養ニ對シテ百年ノ大計ヲ誤ラザルヤウ、殊更ニ愛林思想ノ涵養ニ意ヲ用ヒラレタイトノ趣旨ヲ述ベラレマシテ、贊成ノ意ヲ表サレタノデアリマス、次デ採決ノ結果、原案通り全會一致可決スベキモノト決定致シマシタ、尙一言附加ヘマシタ、只今茲ニ原案ト申上ゲマシタノハ、衆議院ノ修正送付案デアリマシテ、法案中ノ第十五條ノ末項ニ「木材事業ヲ監督スル官廳ノ官吏タリシ者ハ其ノ職ヲ退キタル後五年間日本木材株式會社ノ役員トナルコトヲ得ズ但シ主務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ」ト加ヘ、第三十四條第四項ノ次ニ「地方木材株式會社ノ社長及副社長ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クルモノトシ其ノ任期ヲ四年トス」ヲ加ヘ又第六十二條第二項ノ次ニ「創立總會ニ於テハ第十五條及第三十四條ノ規定ニ準ジ社長、副社長、理事及監事ノ選任ヲ行フベシ」ト加ヘラレタモノデ、其ノ他之ニ附隨スル字句ノ改訂ニ對シ衆議院ニ於テハ修正追加シテ居ルノデアリマス、之ニ對シ政府トシテハ貴族院ニ於テ衆議院ノ同修正送付案ヲ可決サレマスナラバ、政府モ亦同意ヲ表スルモノデアルトノコトデアリマシタ、以上簡單ナガラ御報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(伯爵松平賴壽君) 本日委員長ヨリ報告書ノ提出セラレマシタ昭和十五年度歲入歳出總豫算追加案第二號、昭和十五年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案第二號、昭和十五年度歲入歳出總豫算追加案第三號、昭和十六年度歲入歳出總豫算追加案第一號、昭和十六年度各特別會計歳入歳出總豫算追加案第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件

追第一號、臨時陸軍材料資金豫算追加案臨
材第一號、是等ノ八案ヲ此ノ際議事日程ニ
追加シ、一括シテ議題ト爲シ會議ヲ開キ、
委員長ノ報告ヲ煩シタイト存ジマス、御異
議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
ママス、委員長井上子爵

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第二號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第三號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第四號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第五號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第六號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第七號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第八號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第九號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十一號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十二號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十三號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十四號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十五號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十六號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十七號)

一昭和十五年歲入歳出總豫算追加案
(第十八號)

七百四十萬餘圓デアリマシテ、差引三千八
百六十萬餘圓ノ歳出超過トナツテ居リマス、
此ノ歳出超過額ハ昭和十五年豫算歳出ノ
節約ニ依ル所ノ歳入超過額ノ中ヨリ充當ス
ルモノデアツテ、而シテ歳入追加額ノ主要ナ
ル事項ハ、森林收入ノ増加千七百四十萬
圓デアリ、又歳出追加額ノ主要ナルモノハ、
主要食糧農産物増産確保施設ニ要スル經費
ノ増加二百九十萬餘圓、重要肥料供給確保
施設ニ要スル經費ノ増加千九百餘萬圓、臨
時米穀管理施設ニ要スル經費ハ六百餘萬圓、
鐵鋼原料ノ補償ニ要スル經費ノ増加千八百
餘萬圓、石炭増産對策ニ要スル經費ノ増加
三百七十餘萬圓、轉廢業對策ニ要スル經費
總額二百餘萬圓等デアリマス、第二ハ昭和
十五年歲入特別會計歳入歳出追加豫算案特
第二號デアリマス、是ハ大藏省預金部、關
東局、帝國大學、官立大學、學校及圖書館、
通信事業、帝國鐵道、朝鮮總督府、臺灣總
督府、樺太廳及郵便年金ノ各特別會計ニ關
スルモノデアリマス、第三ハ昭和十五年歲
入歳出總豫算追加案第三號デアリマシテ、
本案ニ計上シテアリマスル金額ハ歳入九十
餘萬圓、歳出八百九十餘萬圓、差引八百十
餘萬圓ノ歳出超過トナツテ居リ、是亦昭和十
五年豫算歳出節約ニ伴フ歳入超過額ヨリ
充當スルモノデアリマス、而シテ歳入追
加額ハ、輸出補償收入ノ増加ヲ計上致シテ
居リ、又歳出追加額ハ、衆議院議員歳費ノ
増加二十餘萬圓、大政翼賛會補助ニ要スル
經費六十餘萬圓、北支那開發及中支那振興
特殊會社補助金六百九十餘萬圓、農業保險
實施ニ要スル經費ノ増加百餘萬圓ヲ計上致
シテ居リ、而シテ歳入追加額ハ、依リ
マシテ、昭和十五年歲入一般會計豫算ノ總額ハ、
歳入六十一億三千六百八十餘萬圓歳出六十
億七千三百七十餘萬圓トナルノデアリマス、此
ノ歳入ノ額ニ前同會議決セル臨時軍事費豫
算ノ追加額及過日議決致シマシタ臨時軍事費

豫算追加第一號ノ額ヲ加ヘマスレバ、百十
六億三千三百七十餘萬圓ニ達シ、是ヨリ一
般會計及臨時軍事費特別會計間ノ重複勘定
トナツテ居リマスル一般會計ヨリ臨時軍事費
特別會計ヘノ繰入額六億圓ヲ控除致シマス
レバ、其ノ純合計額ハ百十億三千三百七十
餘萬圓ト相成ルノデアリマス、第四ハ、昭和
十五年歲入特別會計歳入歳出追加案特別第
三號デアリマス、是ハ農業再保險特別會計
ニ屬スルモノデアリマシテ、再保險金支拂
ニ要スル經費ノ増加ヲ計上致シタモノデア
リマス、第五ハ、昭和十六年度歳入歳出總
豫算追加案第一號デアリマスガ、是ハ歳入
歳出共一億三千三百八十餘萬圓デアリマ
ス、而シテ歳入追加額ノ内譯ハ、普通歳入
ガ、港灣改良費納付金ノ増加百餘萬圓、輸出
補償收入ノ増加四百八十餘萬圓、其ノ他百
二十餘萬圓、計七百八十餘萬圓デアリ、公債
金ガ一億二千四百六十餘萬圓トナツテ居
リマス、又歳出追加額ノ主要ナル事項ヲ申
上ゲマスレバ、兵備改善ニ要スル經費ノ増
加一億七千七百八十餘萬圓、航空防空兵力
充備ニ要スル經費ノ増加九千四百五十餘萬
圓、國防充備費ノ追加三千九百九十餘萬圓、
艦艇製造費ノ追加八千七百七十餘萬圓、水陸
整備費ノ追加一億七千二百七十餘萬圓、軍
需品整備費ノ追加四千四百十餘萬圓、食糧増
產確保施設等ニ關スル經費三千四百餘萬圓、
重要肥料供給確保ニ關スル經費ノ増加千八
百五十餘萬圓、臨時米穀管理施設ニ要スル
經費千九百六十餘萬圓、石炭増産對策等ニ
要スル經費ノ増加三千五百六十餘萬圓、轉
廢業對策ニ關スル經費總額二千二百十餘萬圓、
國民學校及青年學校教員臨時手當補助ニ要
スル經費三千八百萬圓、大政翼賛會ノ補助
ニ要スル經費八百萬圓、國庫豫備金ノ増加
一億五千萬圓等デアリマス、本案計上額ヲ
昭和十六年度總豫算ノ額ニ加ヘマスレバ、
昭和十六年度一般會計豫算ノ總額ハ、歳入

歳出共各七十九億九千五百十餘萬圓トナリ、
之ヲ今期議會ニ提出セラレマシタ追加豫算
ヲモ含メマシタ前年度豫算額ニ比較致シマ
スレバ、歳入ニ於テ十八億七千八百二十餘
萬圓、歳出ニ於テ十八億二千三百三十餘萬圓
ノ増加トナツテ居リマス、此ノ昭和十六年度
一般會計豫算ノ總額ニ、今期議會ニ於テ議
決致シマシタ臨時軍事費豫算追加第二號
計上額四十八億八千八萬圓ヲ加ヘマスレバ百
二十八億七千五百十餘萬圓ニ達シマスガ、
是ヨリ一般會計ヨリ臨時軍事費特別會計ヘ
ノ繰入額六億七千萬圓ヲ控除致シマス、昭和
十六年度ニ於ケル一般會計ト臨時軍事費
トノ純合計額ハ百二十二億五千十餘萬圓ト
ナリ、前年度ノ純合計額ニ比較致シマシテ
十一億七千三百三十餘萬圓ノ増加トナル次第
デアリマス、第六ハ昭和十六年度各特別會
計歳入歳出豫算追加案特別第一號デアリマス
ガ、是ハ造幣局、國債整理基金、公債金、
金資金、政府出資、關東局、陸軍造兵廠、陸
軍製鐵廠、海軍工廠資金、海軍火藥廠、海
軍燃料廠、帝國大學、官立大學、學校及圖
書館、米穀供給調節、農村再保險、損害保
險、國營再保險、通信事業、朝鮮總督府、
臺灣總督府、臺灣官設鐵道用品資金、樺太
廳及南洋廳ノ各特別會計ニ關スルモノデア
リマス、第七ハ臨時陸軍材料資金豫算追加
案、臨材第一號デアリマシテ、是ハ事變地
ニ於ケル軍需品ノ材料及原料購入ニ要スル
經費ノ増加ヲ計上シテ居リマス、最後ニ
豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス
ヲ要スル件、追第一號ハ臨時軍事費豫算
追加第二號ニ關聯スル軍ノ需要充足ノ
爲ノ豫算外契約ノ外、河川其ノ他災害復
舊土木費補助、外國爲替損失補償金、國
民更生金庫補助及損失補償、開墾助成金、
用排水幹線改良事業費補助、重要肥料供給
確保施設助成金、輸出補償金、中小商工
業者轉廢業共助資金利子補助、石炭買取價

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審查シ總
テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也
昭和十六年二月二十七日

委員長 子爵井上匡四郎
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔子爵井上匡四郎君演壇ニ登ル〕

○子爵井上匡四郎君 只今議題トナリマシ
タ昭和十五年歲入歳出總豫算追加案第二號
外七案ニ付キマシテ、委員會ニ於ケル審查
ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、先ヅ
追加豫算各案ノ大要ヲ御紹介致シマス、第
一ハ昭和十五年歲入歳出總豫算案第二號
デアリマス、本案ニ計上致シテアリマスル
金額ハ、歳入千八百七十餘萬圓、歳出五千

格補償金ニ關スルモノ等デゴザイマス、尙昭和十六年度ニ於ケル公債ノ發行豫定額ハ今回ノ追加豫算ニ於テ、一般會計ノ分ガ歳入補填公債十一億二千四百六十餘萬圓、政府出資特別會計分ガ七千六百三十餘萬圓、合計十二億百餘萬圓デアリマスノデ、之ヲ本豫算及臨時軍事費豫算追加臨第二號ニ於ケル發行豫定額ニ加ヘレバ、其ノ總額ハ七十五億七千四百九十餘萬圓ナリ、昭和十五年度ノ發行豫定額ニ比較致シマシテ五億五千三百餘萬圓ノ増加トナツテ居ル次第デアリマス、豫算委員會ハ去ル二十四日午前十時ヨリ開催致シマシテ、先ヅ政府ノ説明ヲ求メ、爾來連日開催致シマシテ、本日午前討論ニ入り、八案ヲ一括シテ議題ト致シ、一委員ヨリ賛成ノ御意見ガアリマシタ、又一委員ヨリ希望決議ノ動議ガアリマシテ、之ニ賛成者ガアリ、動議ガ成立致シマシタ、先ヅ豫算案全部ニ付テ採決致シマシタ結果、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、次デ希望決議案ニ付キ採決致シマシタガ、是亦全會一致ヲ以テ可決致シマシテ、是ヨリ委員會ニ於ケル質疑等ノ主要ナルモノノ概要ニ付テ御報告ヲ申上ガマス、經濟新體下ニ於テハ、産業統制團體ノ持つ一般の機能ニ付テハ質疑デアリマス、此ノ質疑ノ事項ハ數項ニ分レテ居リマスガ、之ニ對シテ政府ノ答辯ヲ一括シテ御報告ヲ申上ガマス、各産業團體ノ基本的大綱ニ付テハ政府ガ之ヲ決定スル、而シテ其ノ決定ニ當ツテハ統制團體ノ調査ヲ參考トシ、又出來ルダケ其ノ立案ヲ基礎トシテ其ノ實行ヲ圓滑ナラシムトス、其ノ監督ニ付テハ大綱ニ止メ、出來ルダケ營業者ノ自主的ノ協力團體トシテノ職責ヲ果サシムルヤウ致サセタイト考ヘテ居ル、而シテ其ノ生産ニ對スル具體的ノ實施計畫ヲ遂行シテ行ク場合ニ於テハ、當該團體トシテハ業主ニ於テ其ノ實施計畫ヲ圓滑ニ實施スル責ニ任ジ、最善ノ努力ヲ

爲サシムルヤウニスル、其ノ監督ハ總動員法ニ依リ勅令ヲ制定スル場合、其ノ勅令上ノ監督内容ニ付、篤ト調査研究ノ上決定セムト思フテ居ル、其ノ生産ニ付テハ數量ノ基本ニ付テ、政府ノ決定シ、其ノ決定セシ數量ニ基キ、各業者間ニ於テ如何ニシテ之ヲ分擔シ、圓滑ニ生産ヲ遂行スルカト云フコトハ、當該團體ニ於テ調査シ決定スル、價格ニ付テハ政府ガ最後ノ決定ヲ爲ス、又各統制團體ハ其ノ所屬ノ企業者又ハ各團體ニ對シ、統制團體ノ機能ヲ發揮スル意味ニ於テ強力ナル指導權ヲ持タネバナラス、之ニ付テハ或程度迄總動員ニ基ク勅令ニ於テ規定スル必要ガアル事項モ生ジテ來ルト思フガ、大體ニ於テハ當該團體ノ統制規定ニ於テ、其ノ組織員ノ行爲ニ關スル規律ヲ定メ得ルト考ヘテ居ル、次ニ生産擴充ニ關スル物資、勞務、資金ノ供給ニ付テハ、其ノ當該産業ニ關スル限り、其ノ團體ハ其ノ實施上ノ責任ヲ持チ、而シテ物資、勞務、資金ニ付テハ、他ノ部門ト横ノ調整ヲ爲スコトガ必要デアル、是ハ政府自ラ調整ニ當ルコトガ必要ト考ヘル、此ノ意味ニ於テソレゾレノ計畫ヲ政府ガ立ツルコトニナルト考ヘテ居ル、次ニ物動計畫ヲ決定スルニ當リ統制團體ノ首腦部ヲ如何ニ關與セシムルカトノ點ニ付キマシテハ、物動計畫ノ實行性ヲ確保スル點ニ於テ、統制團體ノ首腦部ニ其ノ調査立案ヲ委嘱シ、出來ル限リ之ヲ參考トシテ物動計畫ヲ決定スル要ガアル故ニ、當該産業ニ關スル限り、物動計畫ニ關スル準備的數字ハ之ヲ知ラシムル必要ガアル、次ハ重要産業團體ニ對スル統制ノ具體的實施ニ付キマシテ、特ニ鐵、石炭、非鐵金屬ニ付テハ現狀及將來ノ計畫ニ付テハ質疑應答ガアツタノデアリマスガ、餘リ詳細ニ互リマスカラハ省略致シマス、次ハ大政翼贊會ト憲法第四條トノ關係ニ付テハ質疑デアリマス、質疑者ハ此ノ關係ニ付キマシテ

今少シ明瞭ニシテ置キタイ點ガアル故ニ質疑スルノデアル、是ハ既ニ言明ヲ得タル同會ノ改組刷新ニ影響ヲ及スモノガアルト考ヘルカラ質問スルノデアルト前提セラレマシテ、大政翼贊會ガ何等法令ニ依ラズシテ統治權ノ行使ニ關與シテ居ルト云フコトハ、憲法第四條ニ違反スルモノナラザルカトノ質疑ニ對シ、政府ハ、違反スルモノニ非ズトシテ、其ノ理由トシテハ大政翼贊會ハ唯政府ノ事實上ノ補助機關ノ意味ヲ關與スルニ過ぎナイ、帝國議會ガ統治權行使ニ協賛ヲ與フルト云フコトハ違フテ何等法令ノ效果ハ少シモナイノデアル、全然事實上ノ唯作用ニ止マルノデアルカラ統治權行使ニ關與スルモ憲法第四條ニ違反スルモノデナイト云フ説明デアルガ、質疑者ハ、憲法第四條ハ統治權ノ行使ハ必ズ憲法ノ條規ニ依ラナケレバナラスト云フコトデアルカラ、或機關ヲ設ケテ統治權ノ行使ニ關與セシムル場合ハ憲法ニ根據ヲ持ツ法令ニ依ラネバナラス、此ノ憲法ニ根據ヲ持ツ法令ニ依ラネバナラスト云フコトハ、其ノ統治權ノ行使ニ關與スル效果ガ法的ノ效果ヲ生ズルヤウナ場合ニ限ルノデアツテ、何等法令ノ效果ヲ生ゼズ、唯事實上ノ作用ニ影響ヲ及スニ過ぎナイ場合ハ必ズシモ憲法ニ根據ヲ持ツ法令ニ基カナクテモ宜シイト云フ趣旨デアルカト云フ意味ノ質疑デアリマシタ、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ、統治權ノ行使ハ憲法ノ條規ニ依ツテ之ヲ行フ、大政翼贊會ノ行動ハ所謂職分奉公、萬民翼贊デアアル、其ノ翼贊ト云フコトハ廣イ意味デ憲法ノ條規ニ從フ、翼贊ハ最重要ナルモノデアルガ、萬民翼贊ハ總テ國民ガ其ノ職分ニ依リ翼贊シ奉ルト云フ意味デ、大政翼贊會ハ此ノ方面ノコトニ關與スル、此ノ方面ニ於テハ固ヨリ之レ根據ヲ持ツ法規ヲ要シナイ、質疑者ハ更ニ進ンデ、大政翼贊會ガ如何ナル行爲ヲ爲スカハ今暫ク措キ、統治

權ノ行使ニ付大政翼贊會ヲ政府ガ利用セラレ、廣キ意味ニ於テ矢張り統治權行使ニ關與ヲ持チ、或役割ヲスルト云フコトヲ假ニ前提トシテ、其ノ役割ノ範圍ガ唯事實上ノ範圍ニ止ツテ、法的ノ效果ヲ生ジナイモノデアルナラバ憲法第四條ニ違反セズトノ意見ナリヤ、之ニ對シテ政府ハ、關與ト云フ意味ハ統治權行使ノ一ツノ形式ニナル、ソレハ法令ニ定メタル機關デナケレバ出來ナイ、唯事實上ハ事實ニ於テ影響ノアルコトハ、是ハドウ云フ事柄デアリマシテモ、色々世ノ中デ議論スルコトモ是モ事實上或ハ起ルカモ知レマセヌ、其ノ意味ノ統治權行使ニ參與スルト云フコトハ考ヘテ居ラス、大政翼贊會ハ統治權行使ノ内容ニナル形式ヲ踏ムト云フコトデハ、是ハ性質ニ反スルト思フト云フ答辯デアリマシタ、質疑者ハ此ノ政府ノ答辯ハ諒解シ難ネル旨ヲ述ベラレデ、更ニ政府ハ八百萬圓ヲ費シ大政翼贊會ヲ設ケラレルト云フコトハ、是ハ廣イ意味ニ於テ政治ノ便宜ニ出ヅル、即チ國務遂行ノ便宜ニ供セラル、ト云フコトハ疑ナイコトデアル、而シテ此ノ便宜ニ供スルト云フコトガ、是ガ何等カ大政翼贊會ノ協力ガナケレバ國務ノ或部分ガ法律上行ヘナイト云フヤウナ法的ノ效果ガアルナラバ、憲法第四條ニ依ツテ何等カ法律上ノ根據ガナケレバナラス、之ニ反シ此ノ大政翼贊會ノ強力ナ法的ノ效果ヲ生ゼズ、唯事實上ノ行爲ヲ生ズルニ止マルノデアレバ、是ハ何等憲法第四條ニ反スル所デナイト云フノデアルカト云フ質問デアリマス、之ニ對シ結局統治權行使ノ内容ニナリマセヌモノデアリマシテモ、是ハ國家統治權ノ行使ニ影響ヲ及スノデハゴザイマセヌ、是ハ社會ニ於ケル各種ノ團體ノ行動ニ付キマシテモサウ云フコトガアラウト存ジマス、是ハ差支ナイト申シタノデアリマス、質疑者ハ自分ノ問フ所ニ對シ、明瞭ニ答辯ナキ旨ヲ述べラレデ、是以上質疑應答

ヲ繼續スルコトノ無益ナルヲ述べ、以後兩
様ノ意味ニ於テ自分ハ質疑ヲ繼續スルト述
ベラレテ、只今迄ノ政府ノ答辯ニ依レバ、
大政翼賛會ハ政府ノ政策、其ノ他國務ノ遂
行ニ協力スルノデアルガ、併シナガラ其ノ
協力ハ何等法律上ノ效果ハナイノデアッテ、
唯事實上ノ效果、作用ガアルノミデアッテ、
其ノ點ガ帝國議會ノ場合ト大變違フ、從ッテ
何等法律上ノ根據ヲ必要トセス、此ノ解釋
ニ付キマシデハ、質疑者ハ特ニ法制局長官
ノ同意ヲ得ラレテ質疑ヲ繼續セラレタノデ
アリマス、而シテ質疑者ハ斯クノ如キ解釋
ヲ採ルコトハ、憲法第四條ヲ全然無意味ニ
スルモノナリト思フ、法律上何等カノ效果
ヲ生ズルト云フ爲ニハ、其ノ行為ガ何等カ
法令ニ基イタ行爲デナケレバ絕對ニアリ得
ナイト考ヘル、單純ナ法令ニ依ル事實上ノ
行為ガサウ云フ法的ノ效果ヲ生ズルコトハ
ナインデアッテ、故ニ若シ法的ノ效果ヲ生ズ
ル場合ニハ、憲法第四條ガ働クノデアアルト
シマスレバ、換言スレバ統治權ノ行使ニ關
シ、法令ニ基イタ行爲ヲスルニハ法令ニ依
ラナケレバナラヌト云フ意味ニナル、法的
ノ效果ヲ生ズルノハ法令ニ基イタ行爲ニシ
テ初メ法的ノ效果ヲ生ズルノデアアルカラ、
若シ法的ノ效果ヲ生ズル場合ノミガ憲法
ノ條規ニ依ルコトヲ要求スルモノデアアルト
云フコトニナレバ法令ニ依ッテ行爲ハ法令
ニ依ラネバナラヌト云フコト同ジコトニ
ナッテ、憲法第四條ハ全然無意味トナルト考
ヘル、從ッテ憲法第四條ハ決シテサウ云フ
意味デハナイ、法的效果ヲ生ジヤウト生ジ
マイト、ソレハ問フ所デハナイ、苟クモ統
治權ノ行使ニ關係スルモノアルナラバ、其
ノ行使ノ全體ガ法令ニ基カナケレバナラ
ヌ、唯事實上ノ效果ヲ生ズルコトデアッテ
モ、苟クモ統治權ノ行使デアッタナラバ、
法令ノ規定ニ根據シナケレバナラヌト云フ
コトガ憲法第四條ノ趣旨デアルト自分ハ考

ヘルガ如何ト云フ質疑デアリマス、此ノ質
疑ニ對シ、法制局長官ハ左ノ如ク答辯ヲサ
レテ居リマス、此ノ問題ハ大政翼賛會ガ如
何ナルコトヲスルノデアアルカト云フコトヲ
頭ニ入レテ考ヘナイト説明ガ出來ナイ、大
政翼賛會ノ目的ハ一億一心、職域奉公ノ國
民組織ヲ作り上ゲルト云フコトガ大政翼賛
運動ノ眼目デアアル、此ノ國民運動發展ノ
中心ガ必要デアアル、是ガ大政翼賛會デア
ル、即チ戰時施設ガ全國隅々迄行渡リ、其ノ效
果ヲ作り出ス所以デアアル、政府デ色々ノ施
設ヲスル場合ニ民間ノ方デハ臣道實踐體制
ヲ作り出スコトニ色々働キヲスルト云フコ
トハ即チ法的效果ヲ伴フ行為デハナイノデ
アッテ、斯クノ如キモノヲ國民運動トスルコ
トハ少シモ差支ナイ、其ノ意味ニ於テ大政
翼賛會ハ其ノ働キノ上カラ見テ法律上差支
ナイト思フ、是ヨリ質疑者ハ法制局長官ト
ノ間ニ大政翼賛會ノ行為ニ關シ大政翼賛會
ノ政策樹立ニ關シ、其ノ政治性ニ付テ議論
ガ繰返サレマシタ、政府ハ終始大政翼賛會
ノ政策樹立ハ會ノ本旨ニアラザル旨ヲ繰返
サレタニ對シマシテ、質疑者ハ大政翼賛會
ノ現況ニ言及セラレマシテ、中央協力會
議ニ於ケル政策局長等ノ演說ヲ引用セラレ、
頗ル強度ノ政治性ヲ有スルコトヲ現實的事
實ニ於テ主張サレタルニ對シマシテ、政府
ハ大政翼賛運動規約第一條「本運動ハ全國
民ノ運動ニシテ、之ヲ大政翼賛運動ト稱ス」
云々ト云フガ如キ頗ル抽象的ノ觀點ヨリ之
ニ應酬セラレマシタ、續イテ再び質疑者ハ
大政翼賛會ノ本分ナラズト雖モ政策ヲ樹立
シ政府ニ進言スル場合ニ於ケル質疑者ト政
府トノ間ニ其ノ觀念ニ付テ議論ガ繰返サレ、
政府ハ飽ク迄、大政翼賛會ノ研究樹立セル
政策ハ單ニ政府ノ參考ニ止マルト主張セラ
レ、質疑者ハ、政府ノ言フガ如ク無關心ナモ
ノデアアルナラバ、政府ハ何ノ要アッテ之ヲ用ユ
ルカ、ソナナコトデハ初メヨリ國費ヲ以テ措置

スベキ價值ノナイモノデアアル、政府ノ答辯ニハ
同意シ兼ネルト云フ意味ヲ終始表示セラレマ
シタ、又地方協力會議ハ各府縣ニ支部ヲ設
ケテ居ル、其ノ支部長ト地方長官トノ關係
ニ付テハ憂慮ニ堪ヘナイ、地方長官ハ其ノ
地方ヲ 陛下カラ御預リシテ氣持デ以テ職
務ニ從事シテ居ルノデアアル、然ルニ其ノ地
方ノ一億一心、職域奉公ノ運動ガ地方長官
ノ手ニ依ラズ、又町村長モ信賴セラレザル
建前ニ於テサウ云フ運動ガ行ハレル現狀ニ
於テ如何ニシテ地方行政ノ圓滑ヲ期シ得ベ
キデアアルカ、又大政翼賛會ハ生活指導部ヲ
作ッテ種々良イコトヲシテ居ラレル、併シ其
ノ中ニ挺身隊ト云フヤウナモノヲ組織シ、
之ヲ訓練シテ居ラレル、是ハ或ハ私生活ニ
迄立入ルガ如キコトガアレバ將來警察トノ關
係ニ於テ非常ニ憂慮スベキ狀態ニ立到ルト
思フガ如何ト云フヤナ質問デアリマシタ、
是等ニ對シテハ政府ハ何レモ質疑者ト憂慮
ヲ共ニセラレマシテ、適當ニ之ヲ處置スル
ト云フヤウナ御答辯デアリマシタ、其ノ他
追加豫算案中ニ多額ノ豫備金ガ計上セラレ
テアル件ニ付テハ質疑、都市防空ニ關スル
質疑、殊ニ火災防止ニ關シテ又防空資材ニ
對スル特殊取扱ニ關スル質疑、國策會社ガ
不成績デアアル、ソレニ對スル政府ノ所說、
考、外國爲替損失補償ニ關スル質疑、特別
都制ニ關スル質疑等ガアッタノデアリマスガ、
是ハ速記録ニ讓リマス、是ヨリ希望決議案
ニ付テ申上ゲマス、希望決議案ノ案文ヲ朗
讀致シマス

大政翼賛會ハ其性格ニ鑑ミ之レニ適應ス
ルヤウ速ニ部局等ノ機構ヲ改廢シ人的構
成ニ留意シ其純化ヲ計リ以テ翼賛運動ノ
方向ヲ明瞭ニシ又其行動ニ就テハ徒ラニ
經濟組織及國民ノ私生活ニ對スル脅威壓
迫ヲ加フルカ如キコトナカラシメントコ
ヲ望ム

提案者ハ此ノ希望決議ニ付キマシテ下ノ
如キ趣旨ヲ演說セラレマシタ、自分ハ大
政翼賛會ニ對シ徒ニ非議、批判ヲスル
モノデハナイ、又政府ニ對シテ勿論、反對
攻撃ヲスルモノデハナイ、此ノ非常時ヲ克
服センガ爲ニ完全ニ翼賛運動ガ行ハレテ行
クト云フコトヲ希望スルモノデアアル、而シ
テ此ノ希望決議ノ内容ハ自分個人ノ意思ノ
ミデナクシテ、大體數日來豫算會ニ現
ハレタル質疑應答ノ中ニ現レタル其ノ趣
旨ヲ要約シタル積リデアアル、又大政翼賛會
ハ其ノ設立當時外界ノ批判ヲ嚴格ニ避ケラ
レタ警保局長ノ通牒等ガ出テ居ッテ、嚴格
ニ批判ヲ避ケラレタ其ノコトガ今日累ヲ
爲シテ居ルノデハナイカト思フ、又議會ニ
於テ種々大政翼賛會ノコトガ議論サレテ居
ル中ニ翼賛會ノ言動ガ聊カ不謹慎ノ感ガア
ルヤウデアアル、現ニ有馬總長ハ議會ニ於テ
如何ナルコトガ議論サレヨウトモ、翼賛會
ハ翼賛會ノ行クベキ途ヲ行クノデアアルト云
フコトヲ言ウタト云フコトガ、或雜誌ニ出
テ居タト云フコトデ、衆議院ニ質問ガ出テ
居ル、之ニ對シ内務大臣ハ、政府ハ政府ノ
方針ヲ以テ監督セラレルト云フノデアアルカ
ラ、間違ハナイコト自分ハ信ズル、如何デ
アラウトモ、政府ト議會、翼賛會ト云フ三
ツヲ並ベテ、之ヲ圖解シテ論說シテ居ルヤ
ウナモノヲ屢見ルガ、議會デ翼賛會ノコ
トヲ論議シテ居ル間ニ、斯クノ如キコトガ
其ノ首腦部ノ間カラ出ルト云フコトハ、是
ハ憂慮ニ堪ヘナイ、故ニ自分ハ議會ニ於ケ
ル言論ヲ政府ヲ通ジ、又世間ニ此ノ議會内
ノ論議ヲ明カニシタイト云フコトガ、此ノ
希望決議ノ趣旨デアアルノデアアル、希望決議
ノ内容ヲ詳細ニ述べル必要ハナイガ、其
ノ大要ハ大政翼賛會ハ政策ヲ樹テ、之ヲ實
行スルモノデハナイ、下意上達ノ場合モ參
考ニ供スルニ止ル、故ニ政府ノ補助機關ナ
リト云フノデアアルガ、自分ハ大政翼賛會ノ
議會部ガ設立サレル時ニ、其ノ御世話ヲシ

タノデアルガ、其ノ時ドウモ議會トノ關係ニ付テハ明瞭ニ兼テ居テ、畢竟種々ノ政策ガ議會ニ掛ラナイ前ニ翼賛會デ議案等ヲ審議スルコト云フコトハ、何カ疑義ガアリサウニ其ノ時モ考ヘ、今尙自分ハ考ヘテ居ル、又翼賛會ノ政策局及ビ企畫局ニ付テモ自分ハ疑義ヲ解キ得ナイ、政府ハ、併シ憲法ハ嚴シテ存在シ、違憲ナカラシメルコト云フノデアルカラ、必ズ是等ニ付テハ改廢セラル、モノト自分ハ信ズル、ドウカ將來憲法上ノ疑義ヲ生ズルコトガナイヤウニ、又法律上ノ取締等ガ起ラザルヤウニ善處セラレムコトヲ望ム、政府ハ大政翼賛會ノ政策ハ參考ニスルト言ハレルガ、併シ大政翼賛會ノ政策ハ、國民ノ心理ニ映ルコトハ頗ル重大デアルト思フ、翼賛會ノ首腦部ハ何トカ深甚ノ注意ヲ拂ッテ貰ヒタイ、又現實ノ政治ニ影響ヲ及サナイト言フガ、大政翼賛會ハ政治ノ高度ニ進メラレ、又其ノ會ハ非常ニ強大ニナレバ其ノ聲モ大ニナリ、之ヲ宣傳スル場合ニ於テハ政治ニ影響スルコトガ少ナイト思フ、此ノ點ハ自分ハ今尙サウ感ジテ居ル、ドウカ斯クノ如キ感ジガ起ラナイヤウニ改組シテ戴キタイ、又大政翼賛會ノ構成員ヲ純化セラレタイ、隨分イカガハシイト云フカ、或種ノ運動ヨリ轉向セラレタ人、又ハ其ノ疑アルヤノ人モ中ニアル、會ノ構成當時新人ヲ糾合サレタ、新人ハ口ヲ開ケテ革新ヲ唱ヘル、革新ハ必要デアアル、然レドモ求メテ革新ヲ叫ブ必要ハ何處ニアリヤ、舊人ト新人ノ差ハ何處ニアアルカ、自分ハ正道實踐、職域奉公ハ必ズシモ新人ニ非ズト雖モ、之ニ專念セラレ、コトト思フ、又求メテ新人ヲ入レムトスルガ爲ニ、往々ニシテ疑アル人ヲ入ル、コトニナル、故ニ純化ニ付テモ此ノ點ニ付テ十分御留意ヲ願ヒタイ、次ハ私ノ生活ノ脅威、壓迫ガ起リ易イト思フ、政府ハ節米、勤儉貯蓄ヲ獎勵シテ居ラレ、翼賛會ノ生活指導部ガ或ハ行キ過ギテ、老人、子供ハ一日一

食デ宜イカ云フヤウナ行キ過ギタコトヲサレルコトヲ心配スル、又サウ云フ事例ガ屢、アルノデアル、或個人ガ山ヲ賣ル契約ヲシタガ、村民ガ其ノ下草ヲ採ル爲ニ、公益優先ノ理念ニ依テ山林ノ賣買ヲ中止シナケレバナラナイト云フヤウナ事例ガ起リテ居ルノデアル、私的警察權ノ如キモノガ或ハ恐レベキ結果ヲ生ズルノデハナイカト云フ自分ハ憂ヒヲ持ツ、何卒宜シク斯ウ云フコトノナイヤウニ取締ヲ願ヒタイ、又翼賛會ノ豫算ハ隨分餘裕ガアルヤウニ考ヘル、例ヘバ會場ノ如キモ、東京會館ヲ二十四萬圓デ以テ借りテ居ラレ、同館ハ東京市民ノ總テノ階級ノ者ガ之ヲ利用シテ居ル所デアル、何モ此ノ堂々タル建物ノ必要ハナイノデアラウ、又金錢上之ヲ借りルコトガ利益デアルトシテモ、國民ノ心理ニ影響スルコトハ決シテ宜シクナイト思フ、本部ガ斯クノ如キ堂々タル構ヘラヌラバ、支部モ亦必ズ之ニ倣ッテ行クデアラウ、臣道實踐、職域奉公ノ運動ハ、願ハクバ手辨當デ勵クヤウナ御方ニ御願ヒシタイト思フ、又有爲ノ人士ニシテ喜ンデ御務メスル人ガアルト思フ、自動車ノ使ヒ拂ヒノ如キモ大分大マカノヤウニ聞イテ居ル、何トカ斯クノ如キコトニ付テハ監督ヲシテ戴キタイ、又疑ハシキ人ハ之ヲ純化シテ、採用ノ場合ニ於テハ適當ノ方法ヲ立テテ採用スルヤウナコトニ願ヒタイ、又此ノ希望ハ、成ルベクハ此ノ議會開會中ニ政府ガ適當ニ處理セラレムコトヲ自分ハ望ムノデアル、之ガ實ニ一億一心ノ實ヲ舉グル所以デアルト自分ハ考ヘルノデアル、最後ニ提案者ハ、昨今言論ノ自由ガ非常ニ壓迫セラレテ居ルヤウデアル、是ハ政府ノ機密、軍機等ニ關スルコトハ勿論デアアルガ、然ラザル部分ニ於テモ非常ニ壓迫サレテ居ルヤウデアアル、大政翼賛會ノ論議ノ如キハ、政府モ之ヲ聽カレ方ガ宜シイノデハナイカ、又出來ルダケ國民ニ之ヲ知ラシメルコトガ政治ノ要諦ト思

フ、近衛總理ハ過般各種ノ會合ニ於テ時局ヲ詳シク述べラレタ、是ガ國民及ビ議會ニ非常ニ影響ヲ與ヘテ、皆政府ノ努力ニ付テ發奮シテ居ル、議會モ此ノ一月ヲ餘シテ終了セムトスルヤウナ狀態デアル、願ハクバ今後モ法局ノ推移、國際情勢ノ變化等ハ國民ガ關心ヲ持ツモノデアルカラ、機會アル毎ニ國民ニ知ラシメルヤウニシテ戴キタイ、國民ト共ニ難局ヲ突破スルヤウニセラレタイ、民ト共ニ憂ヒ、民ト共ニ進ムト云フ念ヲ以テ進ンデ行カレタト云フ趣旨ノ御演説ガアリマシタ、之ニ對シテ贊成ノ演説ガアリマシタ、其ノ趣旨ハ大體ニ於テ大政翼賛會ハ其ノ設立ノ當初ニ於ケル聲望ノ非常ニ宜カッタデアアル、自分モ非常ニ之ニ贊成シタノデアアル、併シナガラ出來タ後ノ動キハ非常ニ了解ニ苦シム、幹部、構成員ノ色々ノ機會ノ言動ハ社會ノ疑惑ヲ起シ、矯激ナルモノガアリ、寒心ニ堪ヘヌ、從ッテ世間デハ新體制運動ニ付テ種々ノ批判ヲ抱クヤウニナリ、頗ル不安ト不滿ガ滿チテ居ル、高度國防國家ノ要諦ハ國民ノ和ニアル、併シナガラ不幸ニシテ今日ハ果シテ億兆一心ト云フ如キ實ヲ舉ゲテ居ルカドウカ、却テ一部ニ不平不滿ノ感ガアルト思フ、是ハ早く近衛公ノ大政翼賛會設立當時ノ聲明ニ戻ッテ、而シテ國民ヲ早く一致團結シテ此ノ難局ヲ突破スルヤウニシテ戴キタイト云フ趣旨ノ陳述デアリマシタ、前ニ申シマシタ如ク、此ノ決議案ハ全會一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、ソレニ對シテ平沼內務大臣ハ政府ヲ代表シテ、下ノ如キ御言明ガアリマシタ、「只今ノ御決議ニ對シマシタハ政府ニ於キマシテモ其ノ御趣旨ニ鑑ミマシテ、今後ト雖モ益々大政翼賛會ノ監督ノ意ヲ用ヒマシテ、萬遺憾ナキコトヲ期スル所存デアリマス、之ヲ以テ私ノ報告ヲ終リマス」

是ヨリ採決ヲ致シマス、先ヅ問題ニ供シマスルノハ、昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案第三號及昭和十六年度歳入歳出總豫算追加案第一號ト御承知ヲ願ヒマス、兩豫算案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔起立者多數〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 過半数ト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 次ニ問題ニ供シマスルノハ、昭和十五年度歳入歳出總豫算追加案第二號、昭和十五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案第二號、昭和十五年度特別會計歳入歳出豫算追加案第三號、昭和十六年度各特別會計歳入歳出豫算追加案第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第一號、臨時陸軍材料資金豫算追加案臨時第一號ノ六案デアリマス、是等ノ各豫算案ハ豫算委員長報告通り御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 衆議院ヨリ回付ノ刑法中改正法律案ヲ此ノ際議事日程ニ追加シテ議題ト爲シ、會議ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 刑法中改正法律案、政府提出、衆議院回付、會議

刑法中改正法律案

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

昭和十六年二月二十七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

（衆議院同付案ト本院ヨリ同院ニ送付シタ
ル案ト比照シ衆議院ノ修正ニ係ル部分ノ
ミヲ印刷シ其ノ修正ナキ部分ハ印刷ヲ略
ス小字及「ハ」ハ衆議院ノ修正ナリ）

第四條第三號中「第百九十七條ノ罪」ヲ

「第百九十七條乃至第百九十七條ノ四ノ

罪」ニ改ム

第九十六條ノ三 偽計若クハ威力ヲ用ヒ

又ハ談合ニ依リ公ノ競賣又ハ入札ノ公

正ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ二年

以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處

ス

公正ナル價格ヲ害スル目的ヲ以テ談合シタル者亦同シ

第百九十七條ノ四 公務員其地位ヲ利用

シ他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付

轉旋ヲ爲シ又ハ爲シタルコトニ關シ賄

賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若クハ約束シ

タルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス

第百九十七條ノ五 犯人又ハ情ヲ知リタ

ル第三者ノ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收

ス其全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハ

サルトキハ其價額ヲ追徴ス

第百九十八條 第百九十七條乃至第百九

十七條ノ四ニ規定スル賄賂ヲ供與シ又ハ

其申込若クハ約束ヲ爲シタル者ハ三年以

下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

○議長（伯爵松平賴壽君） 別ニ御發言モナ

ケレバ採決ヲ致シマス、衆議院回付案ニ同

意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

（起立者無シ）

○議長（伯爵松平賴壽君） 起立者ナシト認

メマス、仍テ衆議院ノ回付案ニ同意ヲセザ

ルコトニ相成リマシタ、就キマシテハ議院

法第五十五條ニ依リ兩院協議會ヲ開クコト

ヲ求メネバナリマセス、而シテ兩院協議委

員ヲ議院法第五十六條ニ依リマシテ選舉セ

ネバナリマセス、御異議ガナケレバ此ノ際

議事日程ニ追加シテ兩院協議委員ノ選舉ニ

移リタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセ

スカ

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナシト認

メマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ

兩院協議委員選舉ニ付キマシテハ、委員ノ

數ヲ十名トシ其ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ

動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長（伯爵松平賴壽君） 戸澤子爵ノ動議

ニ御異議ゴザイマセスカ

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナシト認

メマス、委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀致

サセマス

（佐藤書記官朗讀）

刑法中改正法律案兩院協議委員

公爵鷹司 信輔君 伯爵酒井 忠正君

子爵前田 利定君 織田 萬君

中川 健藏君 河原田稼吉君

内田 重成君 男爵矢吹 省三君

男爵奥田 剛郎君 山岡萬之助君

○議長（伯爵松平賴壽君） 報告ヲ致サセマ

ス

○議長（伯爵松平賴壽君） 報告ヲ致サセマ

ス

（佐藤書記官朗讀）

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和十四年度第一豫備

金支出ノ件

昭和十四年度特別會計

第一豫備金支出ノ件

昭和十四年度特別會計

豫備費支出ノ件

昭和十五年度第二豫備

金支出ノ件

昭和十五年度特別會計

第二豫備金支出ノ件

昭和十五年度特別會計

豫備金外豫算超過及豫

算外支出ノ件

○議長（伯爵松平賴壽君） 只今御報告ヲ致

シマシタ 昭和十四年度第一豫備金支出ノ

件、昭和十四年度特別會計第一豫備金支出

ノ件、昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ

件、昭和十五年度特別會計豫備金支出ノ件、昭和

十五年度特別會計第二豫備金支出ノ件、昭和

十五年度特別會計豫備金外豫算超過及豫

算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、是等ノ六件

ヲ此ノ際議事日程ニ追加シ、一括シテ議題

ニ致シ會議ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマ

セスカ

○議長（伯爵松平賴壽君） 御異議ナシト認

メマス、河田大藏大臣

（異議ナシト呼フ者アリ）

昭和十四年度第一豫備金支出ノ件

昭和十四年度特別會計第一豫備金支出

ノ件

昭和十四年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十五年度第二豫備金支出ノ件

昭和十五年度特別會計第二豫備金支出

ノ件

昭和十五年度特別會計豫備金外豫算超

過及豫算外支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ

因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十六年二月二十七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

（各案ハ浩瀚ニ付掲載ヲ略ス）

（國務大臣河田烈君演壇ニ登ル）

○議長（伯爵松平賴壽君） 只今追加上程セラ

レマシタ 昭和十四年度第一豫備金支出ノ

件、外五件ニ關スル事後承諾ヲ求ムル件ニ

付、簡單ニ御説明申上ゲマス、先ツ昭和十

四年度一般會計第一豫備金ノ豫算額ハ三千

萬圓デゴザイマスガ、昭和十四年勅令第六

百三十一號ニ依リ、第一豫備金ヨリ補充致

シマシタ主ナル事項ハ軍事扶助費、警察費

連帶支弁金等デゴザイマシテ、其ノ總額ハ

二千九百九十七萬餘圓デゴザイマス、各特

別會計ニ於キマシテモ、其ノ第一豫備金又

ハ豫備費ヨリ豫算超過ノ支出ヲ爲シタルモ

ノガゴザイマス、次ニ昭和十五年度一般會

計第二豫備金ノ豫算額ハ八千萬圓デゴザイ

マスルガ、其ノ支出ノ主ナル事項ヲ舉ゲマ

スレバ、食糧増産應急施設諸費、臨時米穀

管理施設費、企業院假廳舍其ノ他火災應急

竝ニ復舊及新營費、外各種災害ニ關スル經

費、農産物其ノ他販賣統制應急施設費、

臨時物資販賣統制斡旋費、轉廢業對策施設

諸費、臨時家族手當、教員臨時家族手當補

助等デゴザイマシテ、其ノ總額ハ七千九

百九十九萬餘圓デゴザイマス、各特別會計

ニ於キマシテモ、其ノ第二豫備金ヲ以テ豫

算外ノ支出ヲ致シタルモノト、豫備金外ニ於

テ其ノ歲入金又ハ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超

過又ハ豫算外ノ支出ヲ致シタルモノノガゴザ

イマス、何卒御審議ノ上速カニ御承諾ヲ與

ヘラレムコトヲ希望致シマス

○議長（伯爵松平賴壽君） 別ニ御質疑ガナ

ケレバ特別委員ノ指名ヲ朗讀致サセマス

（佐藤書記官朗讀）

昭和十四年度第一豫備金支出ノ件外五件

（承諾ヲ求ムル件）特別委員

公爵山縣 有道君 子爵八條 隆正君

大塚勝太郎君 河井 彌八君

男爵小池 正晃君 三浦 新七君

松村 義一君 金杉英五郎君

佐々木長治君

○議長（伯爵松平賴壽君） 明日ハ午後一時

ヨリ開會致シマス、議事日程ハ決定次第彙

報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ

散會致シマス

午後六時三十二分散會